

令和5年度

遠野の教育



遠野市教育委員会

遠野市教育委員会関係機関 共通ロゴマーク
(平成27年7月10日制定)



子育て総合支援センター、保育協会、総合食育センター、教育委員会の4つの教育機関を4枚の葉で表し、4つの教育機関に共通する「育」の字を中央に配しました。

幸せの四つ葉のクローバーのように、「遠野の子どもたちが幸せに育つように」という思いを込めています。

《表紙写真の紹介》

コロナウイルス感染症の影響により中止されていた児童交流事業が、3年ぶりに行われました。

上段：愛知県大府市児童訪問団

(市役所における歓迎式の様子 令和4年8月23日)

下段：兵庫県福崎市児童訪問団

(土淵小学校との児童交流の様子 令和4年8月29日)

(遠野市教育委員会事務局 撮影)

遠野市民憲章

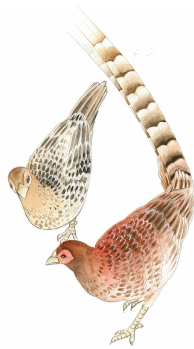
わたくしたちは、悠久の時を越えて継承してきたうるわしい郷土と、伝統ある文化に誇りを持ち、このすばらしい宝^{たから}玉を、さらに「永遠^{にほん}の日本のふるさと遠野」として、創造・発展させるため、ここに、この憲章をさだめます。

わたくしたちは

- 1 豊かな自然を愛し、平和で住みよいまちをつくります。
- 1 心と体をきたえ、温かい家庭と明るいまちをつくります。
- 1 創意をあつめ、産業と交流の元気なまちをつくります。
- 1 恵まれた文化を活かし、夢を育む学びのまちをつくります
- 1 共に考え支えあって、未来を望む協働のまちをつくります。



市の木「いちい」



市の鳥「やまどり」



市の花「やまゆり」

遠野市民歌

作詞・作曲 船越由佳

深き霞 天にほどき

そびゆる蒼き早池峰

希望を乗せ 風よ飛び立て

朝露ゆらし 彼方へ

透きとおる夏に

憧れを追いかけて

黄金^{こがね}の秋

遥かな明日を祈った

いとしき人よ ほほえむ人よ

いつも心で寄り添い合えば

瞳に光る まばゆき遠野

燃ゆる残照 水面に抱き

流るる清き猿ヶ石

木々よ眠れ 夢を受け継ぎ

遠き未来へ語ろう

雪明かりの冬

銀河をかすめる流星^{ほし}

芽吹く春に

願いはかなうと信じた

優しき友よ 変らぬ友よ

いつも心で名前を呼べば

めぐる季節に きらめく遠野

今日も日は沈み

ひとつずつ灯はともり

そしてまた日は昇る

やまゆり照らして

いとしき人よ 優しき友よ

いつも心で君を想えば

瞳に光る まばゆき遠野

【目 次】

1	遠野市の状況	1
	遠野市の概況と特性、遠野市の人口構造	1
	遠野市の沿革、面積と土地利用、気象の状況	2
2	遠野市の教育行政	3
	(1) 第2次 遠野市総合計画（後期基本計画）	3
	(2) 第2期 遠野市教育振興基本計画	4
	(3) 令和5年度遠野市教育行政推進の基本方針	8
	(4) 教育委員会及び関係機関等	14
	(5) 教育委員会の関係付属機関	15
	(6) 遠野市教育委員会機構図（令和5年4月1日現在）	17
	(7) 総合教育会議	18
	(8) 各種事業の推進	19
3	学校教育	20
	(1) 令和5年度遠野市「学校教育指導指針」	20
	Ⅰ 遠野市「学校教育目標」	20
	Ⅱ 遠野市「学校教育目標達成に向けた視点」	20
	Ⅲ 遠野市「学校教育目標達成に向けた取組の重点」	21
	Ⅳ 遠野市「学校教育目標達成に向けた取組の重点」に係る指標等	22
	Ⅴ 遠野市学校教育指導指針に係る学校教育構想図	24
	(2) 事業・具体的取組・関連事業等	25
	Ⅰ 全体像	25
	Ⅱ 主要事業	26
	i 学校経営の質的向上	26
	ii 確かな学力の育成	27
	iii 豊かな人間性の育成	28
	iv 特別支援教育の充実	30
	v 健やかな体の育成	31
	Ⅲ 遠野市授業づくりスタンダード	32
	(3) 遠野市教育研究所	33
	(4) 学校保健	40
	(5) 奨学資金	42

(6) 学校一覧	43
(7) 市立小・中学校、県立高等学校要覧	44
遠野市立遠野小学校	44
遠野市立遠野北小学校	45
遠野市立綾織小学校	46
遠野市立小友小学校	47
遠野市立附馬牛小学校	48
遠野市立土淵小学校	49
遠野市立青笹小学校	50
遠野市立上郷小学校	51
遠野市立宮守小学校	52
遠野市立達曾部小学校	53
遠野市立鱒沢小学校	54
遠野市立遠野中学校	55
遠野市立遠野東中学校	56
遠野市立遠野西中学校	57
岩手県立遠野高等学校	58
岩手県立遠野緑峰高等学校	59
(8) 参考資料	60
① 遠野市生徒指導推進協議会組織図	60
② 遠野市教育相談ネットワーク	61
③ いじめ問題への対応について	62
4 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）	63
5 学校教育課の運営方針と計画	65
6 学校総務課の運営方針と計画	67
7 未来づくりサポート室の運営方針と計画	69
8 学校給食センターの運営方針と計画	70
9 社会教育行政（市民センター生涯学習スポーツ課）の運営方針と計画	72
10 文化行政（市民センター文化課 / こども本の森運営企画室）の運営方針と計画	74
11 少子化対策・こども・子育て支援（健康福祉部子育て支援課）の運営方針と計画	77

1 遠野市の状況

○ 遠野市の概況と特性

遠野市の市域は、東西、南北ともに約38km、総面積は825.97㎢となっています。

本県を縦断する隆起準平野といわれる北上高地の中南部に位置し、標高1,917mの早池峰山を最高峰に、標高300m～700mの高原群が周りを取り囲み、東は釜石市と上閉伊郡大槌町に、南は奥州市と気仙郡住田町に、西は花巻市に、北は宮古市に接しています。

市域の中央に遠野盆地があり、中心市街地が形成されています。また、北上川の支流である猿ヶ石川は、早瀬川、小友川、宮守川、達曽部川など大小多くの河川と合流しながら西走し、それらの河川沿いを中心に耕地と集落が形成されています。

冷涼な気候と豊かな自然環境を生かした農林業を基幹産業とし、米を中心に、野菜、ホップや葉たばこなどの農産物と畜産を組み合わせた複合経営がされており、日本一の乗用馬生産地として知られています。

また、四季が織り成す豊かで美しい広大な自然は、日本の原風景として全国の多くの人々に親しまれて、令和2年6月に発刊110周年を迎えた柳田國男の『遠野物語』に代表される、地域に息づく豊富な有形・無形の資源を生かした、歴史と文化によるまちづくりに取り組んでいます。

幹線交通網として、花巻市と釜石市を結ぶJR釜石線及び国道283号が市域を東西に横断するほか、鱒沢地区、小友地区を通り北上市以西方面と大船渡市方面を結ぶ国道107号、住田町から市の東部を南北縦断して宮古市を結ぶ国道340号（平成30年11月29日復興支援道路として全線開通）、綾織地区から達曽部地区を経て盛岡市方面を結ぶ国道396号などがあります。

また、釜石市から秋田県秋田市までを結ぶ総延長211kmの「東北横断自動車道釜石秋田線」が平成31年3月9日に全線開通しました。

（出典：第2次遠野市総合計画 後期基本計画及び2021 遠野市勢要覧【統計編】）

○ 遠野市の人口構造

国勢調査による遠野市の人口は、平成22年が29,331人、平成27年では28,062人、令和2年では25,366人と人口減少は加速化傾向にあります。

また、国立社会保障・人口問題研究所による将来見通しでは、少子高齢化が進行し、令和12年には年少人口（0～14歳人口）比率が9.9%、生産年齢人口（15～64歳）比率が46.3%、高齢人口（65歳以上）比率が43.8%になるものと推測されています。

こうした人口減少・少子高齢化の流れの中において、遠野市で暮らす人々がよりよい生活を築いていくためには、地域資源を生かした産業の振興と雇用の確保を図り、市民所得の向上、定住人口・交流人口の拡大等に取り組むとともに、保健・医療・福祉に関する施策の充実や、学校・家庭・地域の連携協力のもと、保育・教育に関する施策の推進を図り、遠野の未来を担う子どもたちを安心して産み、育てることができる環境の整備に引き続き取り組んでいくことが求められます。

遠野市の沿革

	遠野市	宮守村
明治初期	30あまりの小村	上宮守村、下宮守村、達曾部村、上鱒沢村、下鱒沢村の5村
町村制 (明治22年)	遠野町、松崎村、綾織村、小友村、附馬牛村、土淵村、青笹村、上郷村の1町7村	宮守村、達曾部村、鱒沢村の3村
昭和の大合併	遠野市(昭和29年12月1日)	宮守村(昭和30年2月11日)
平成の大合併	遠野市(平成17年10月1日)	

	人口(人)			0～14歳 (人)	15～64歳 (人)	65歳以上 (人)	世帯数 (世帯)
	男	女	合計				
平成25年	14,209	15,378	29,587	3,223	16,171	10,193	10,795
平成26年	14,107	15,203	29,310	3,180	15,850	10,280	10,875
平成27年	13,863	14,967	28,830	3,065	15,376	10,389	10,845
平成28年	13,779	14,750	28,529	3,005	14,979	10,545	10,886
平成29年	13,576	14,522	28,098	2,927	14,615	10,556	10,890
平成30年	13,259	14,245	27,504	2,815	14,138	10,551	10,809
平成31年	12,964	13,935	26,899	2,717	13,688	10,494	10,749
令和2年	12,711	13,667	26,378	2,618	13,313	10,447	10,759
令和3年	12,481	13,415	25,896	2,535	12,916	10,445	10,716
令和4年	12,271	13,058	25,329	2,404	12,472	10,453	10,679
令和5年	12,026	12,880	24,906	2,315	12,256	10,335	10,743

資料：住民基本台帳（各年3月31日現在）

面積と土地利用の状況

(単位：km²)

	総面積	田	畑	宅地	山林	牧場	原野 雑種地	その他
面積	825.97	38.72	28.35	9.97	428.38	18.70	56.31	245.54
構成割合	100.0%	4.7%	3.4%	1.2%	51.9%	2.3%	6.8%	29.7%

資料：総務部税務課「土地に関する概要調査報告書」（令和4年1月1日現在）

近年の気象の状況

	気温(℃)			日照時間 (h)	降水量 (mm)
	最高極	最低極	平均		
平成30年	34.9	-17.9	9.9	1,700.3	1,121.5
令和元年	34.1	-13.0	10.0	1,716.5	1,018.5
令和2年	33.7	-13.2	10.3	1,482.3	1,276.0
令和3年	34.2	-22.3	10.1	1,489.2	1,339.5
令和4年	32.6	-18.7	9.9	1,622.5	1,109.5

資料：盛岡地方気象台

2 遠野市の教育行政

(1) 第2次 遠野市総合計画（後期基本計画）

少子高齢化、高度情報化社会の急速な進展や国際化の潮流など社会が大きく変化する中、地球温暖化による異常気象にともなう自然災害の増加・拡大化や新型コロナウイルス感染症への対応など、市民を取り巻く環境も大きく変化しています。

このように先行きの見えない状況の変化に柔軟に対応し、地域の特性や資源を生かしながら、市民と行政が協働・連携し、将来予測をしっかりと持ったまちづくりを推進するため、平成27年6月に「第2次遠野市総合計画 基本構想(平成28年度～令和7年度)」を策定し、令和2年12月には令和3～7年度の5ヵ年を計画期間とする「後期基本計画」を策定しました。

遠野市の教育行政は、「第2次遠野市総合計画 基本構想」及び「後期基本計画」の各大綱、政策及び施策に基づき各種事業を推進します。

第2次 遠野市総合計画（後期基本計画）の体系

◀ 基本理念 ▶ 遠野スタイルの創造・発展

◀ 将来像 ▶ 永遠の日本のふるさと遠野

▷ 教育行政関連大綱 / 政策 / 施策

大綱2	健やかに人が輝くまちづくり
政策1	健康づくりの推進
施策1	健康づくり活動の推進
政策3	子育て支援の推進
施策1	少子化対策・子育て支援
施策2	児童・母子等福祉の充実
大綱4	ふるさとの文化を育むまちづくり
政策1	ふるさと教育の推進
施策1	就学前教育の充実
施策2	学校教育の充実
政策2	生涯学習の推進
施策1	社会教育の充実
施策2	芸術文化活動の推進
政策3	ふるさと文化の継承・創造
施策1	文化的資料の保存と活用
施策2	文化財の保護
施策3	歴史の継承と人づくり

(2) 第2期 遠野市教育振興基本計画

遠野市教育委員会では、平成28年3月に「第2期 遠野市教育振興基本計画」を策定しました。この計画は、遠野市が目指すべき将来像の実現に向けたまちづくりの基本方針として策定された「第2次遠野市総合計画」（計画期間：平成28年度から令和7年度までの10年間）との整合性を図りながら、遠野市の教育振興に関する基本理念と基本方針を定めるとともに、その達成に向けた各種施策とその展開の方向性について示すものです。

<p>【計画期間】 平成28年度から令和7年度までの10年間 (第2次遠野市総合計画(前期/後期基本計画)と連動)</p> <p>【計画の位置づけ】 ・教育基本法第17条第2項の規定に基づく「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」 ・「基本理念」及び「基本方針」を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定に基づき首長が策定する「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」として位置づける。</p> <p>【第2次遠野市総合計画(前期/後期基本計画)との連動】 第2次遠野市総合計画との整合性を図り、同計画の基本構想に定める5つの大綱のうち、下記の2つの大綱に関わる基本計画に登載の政策・施策を推進する。 ・大綱2「健やかに人が輝くまちづくり」 (健康づくり、生涯スポーツ、少子化対策、子育て支援など) ・大綱4「ふるさとの文化を育むまちづくり」 (就学前教育、学校教育、生涯学習、芸術文化、文化財の保護など)</p>
--

第2期 遠野市教育振興基本計画の体系

◀ 基本理念 ▶ ふるさとの文化を生かし、
『夢』と『誇り』を育む学びのまちづくり

▷ 基本方針 / 政策

1	ふるさと教育の推進	政策 (1) 就学前教育の充実 (2) 学校教育の充実 (3) 高等学校への支援
2	生涯学習の推進	政策 (1) 社会教育の充実 (2) 芸術文化活動の推進
3	ふるさとの文化の継承・創造	政策 (1) 文化的資料の保存と活用 (2) 文化財の保護 (3) 歴史の継承と人づくり
4	健康づくりの推進	政策 (1) 健康づくり活動の推進
5	子育て支援の推進	政策 (1) 少子化対策・子育て支援 (2) 児童・母子等福祉の充実

基本理念

ふるさとの文化を生かし、 『夢』と『誇り』を育む 学びのまちづくり

教育基本法の理念に基づき、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進します。

遠野市における最上位の計画に位置づけられ、市の目指すまちづくりの目標とその実現に向けた政策を示す「遠野市総合計画」の基本理念に基づき「学びのまちづくり」を進めます。

少子高齢化の進行など、社会環境の大きな変化の中で、新しい時代を切り拓いていく心豊かでたくましい人間を育てていくことを目指し、すべての人が安全、安心でゆとりある子育てができる支援と環境整備を、地域を含めた社会全体で進めます。

市民一人ひとりが、郷土の豊かな自然や文化にふれあい、希望をもって学ぶことを通して、郷土への愛着や誇りを培うとともに、未来を拓く知恵と豊かな人間性を身に付けていくことを目指します。

誰もが生涯にわたり、学ぶことができる環境を整備するとともに、芸術文化活動やスポーツなどに親しむ機会を充実させ、潤いのある生活と明日への活力を生み出すことを目指します。

基本方針

1 ふるさと教育の推進

【市総合計画大綱4】

《教育環境の充実を図り、学校・家庭・地域と協力して、

生きる力を育む教育を進めます》

子どもたちが安心して教育を受けられ、個性や能力を發揮できる教育の環境づくりを進めるとともに、知育・徳育・体育をバランスよく育成し、明日の遠野を担う子どもたちが、生きる力を身に付け、郷土に誇りを持ち、夢を育むことができる教育の実現を、学校・家庭・地域の連携、協力のもと推進します。

さらに、学校給食では、地産地消拠点としての総合食育センターによる安心安全な給食の提供を推進します。

2 生涯学習の推進

【市総合計画大綱4】

《いつでも、どこでも、だれもが学習できる環境と
優れた芸術に触れる機会の充実に努めます》

市民がいつでも自由を選択して学習できる「生涯学習社会」を目指し、市民のニーズに応じた学習機会の拡充を進めます。

芸術振興においては、遠野物語ファンタジーに代表される市民協働の理念のもと、優れた芸術に触れる機会の充実を図り、潤いのある生活と豊かな感性を備えた人材育成に努めます。

3 ふるさとの文化の継承・創造

【市総合計画大綱4】

《誇りあるふるさとの文化を大切にする心を育み、次世代につなげます》

文化財の保護を通じて国指定重要文化財千葉家住宅や遠野遺産、郷土芸能などの文化的資産を次世代に継承するとともに、図書館・博物館を拠点施設として、『遠野物語』をはじめとした郷土の歴史や民俗資料の収集・調査研究を進めながら遠野市史編さんに取り組み、その成果を広く発信して、文化によるまちづくりを進めます。

4 健康づくりの推進

【市総合計画大綱2】

《生涯にわたり健康で豊かな生活をおくるための食習慣形成と
スポーツライフを応援します》

健康づくり総合プログラムの推進を図るとともに、子どもの体力、運動能力の向上に努めます。

さらに、市民への夢と感動を与える競技スポーツやスポーツ少年団活動の促進を図りスポーツの普及、振興に努めます。

また、地域の食文化への理解を深め、生きる力を育む「食育」の推進を図ります。

5 子育て支援の推進

【市総合計画大綱2】

《子どもを産み育てることに夢がもてるまちづくりを推進し
「子育てするなら遠野」の構築を目指します》

子育て支援においては、病児等保育の充実をはじめとする多様なニーズに対応した保育サービスを行うとともに、児童館や児童クラブの充実により、子どもの健全育成の強化を図るなど、総合的な「わらすっこプラン」を推進します。

また、遠野市わらすっこ条例の理念のもと児童の福祉を増進するとともに、市民が安心して子どもを産み育てる環境を整え、仕事と子育ての両立の支援に努めます。

基本方針と計画の体系

基本方針	政 策	施 策
1 ふるさと教育の推進	(1) 就学前教育の充実	① 家庭や地域での教育
		② 教育・保育の充実
	(2) 学校教育の充実	① 教育内容の充実
		② 教育環境の充実
		③ 学校給食の充実
		④ 学校と家庭、地域との連携の充実
	(3) 高等学校への支援	① 魅力ある高校づくり応援事業の推進
2 生涯学習の推進	(1) 社会教育の充実	① 総合推進体制の整備
		② 家庭や地域教育の充実
		③ 成人教育の充実
		④ 高齢者教育の充実
		⑤ 青少年の健全育成と活躍推進
	(2) 芸術文化活動の推進	① 芸術文化団体の育成と支援
		② 芸術文化活動の振興
3 ふるさとの文化の継承・創造	(1) 文化的資料の保存と活用	① 博物館活動の推進
		② 図書館活動の推進
	(2) 文化財の保護	① 文化財調査・保護
		② 郷土芸能伝承活動の推進
		③ 遠野遺産の認定と保護活動の推進
	(3) 歴史の継承と人づくり	① 市史編さん事業の推進
		② 歴史や文化を継承・発信する人づくり
		③ 本と文化と子育ての融合
	4 健康づくりの推進	(1) 健康づくり活動の推進
② スポーツの振興		
③ 食育の推進		
5 子育て支援の推進	(1) 少子化対策・子育て支援	① 少子化対策・子育て支援総合プランの推進
		② 子育て支援の充実
	(2) 児童・母子等福祉の充実	① 保育環境の充実
		② 児童の健全育成
		③ ひとり親家庭等への支援の充実
	* 関連する政策・施策として追記	

(3) 令和5年度遠野市教育行政推進の基本方針

令和5年3月遠野市議会定例会
令和5年2月21日（火）

令和5年3月遠野市議会定例会の開会に当たり、令和5年度の「遠野市教育行政推進の基本方針」について申し述べます。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが不透明な中、感染対策を行いながら、子どもたちの学びを止めない体制を維持するため、学校、家庭、地域、関係機関等が連携・協力し、教育活動を継続してまいりました。

社会が大きく変化し、将来の変化を予測することが困難な時代を迎えるにあたり、遠野市の未来を担う子どもたちのために、本市の教育振興基本計画に掲げる基本理念「ふるさとの文化を生かし『夢』と『誇り』を育む学びのまちづくり」の下、本市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」の実現を目指し、子どもたちの豊かな成長を支えていくことが重要であると認識しております。

このような背景を踏まえ、令和5年度の主要な施策の概要について「遠野市総合計画後期基本計画」大綱4「ふるさとの文化を育むまちづくり」及び「遠野市教育振興基本計画」に沿って申し上げます。

大綱4、政策の第1は「ふるさと教育の推進」、第2は「生涯学習の推進」、そして第3は「ふるさとの文化の継承・創造」であります。

政策の第1「ふるさと教育の推進」については、「就学前教育の充実」と「学校教育の充実」の2つの施策に取り組んでまいります。

まず施策の1つ目、「就学前教育の充実」についてであります。

幼児期は、子どもの健全な心身の発達を図りつつ、生涯にわたる人格形成と生きる力の基礎が培われる重要な時期であることを踏まえ、生活や遊びを通じて人との関わりを大切にし、健康な体づくりや探求心、コミュニケーション能力などを育む教育を推進してまいります。

保育園、幼稚園及び認定こども園と家庭との緊密な連携の下、学校教育や生涯にわたる学習とのつながりを見通しながら、地域性豊かな教育と保育を計画的に推進してまいります。

また、特別な支援を必要とする子どもとその家庭への支援として、「療育教室」、「幼児ことばの教室」、「臨床心理士による出張心理相談」等の療育支援事業を実施するとともに、小学校への円滑な就学支援についても、関係機関等との連携を強化し取り組んでまいります。

次に施策の2つ目、「学校教育の充実」については、4つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「教育内容の充実」についてであります。5つの重点を掲げ、本市の学校教育目標達成に向けて取り組んでまいります。

重点の1つ目は「学校経営の質的向上」であります。

学校が保護者や地域の信頼に応え、子どもの健やかな成長を図っていくためには、校長のリーダーシップの下、それぞれの学校で定めている「めざす児童生徒の姿」を家庭・地域と共有し、「生きる力」を育むために協働していくことが肝要であります。

地域に開かれた教育課程の実現を目指し、学校運営協議会及び学校部会による基本方針の承認・実践・評価・改善のサイクルを通じて、地域と共にある学校経営の質的向上を図ってまいります。

また、地域人材及び地域資源を教育活動に積極的に取り入れることにより、地域の特色を生かした魅力ある学校づくりの実現に努めてまいります。

さらに、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、ICTの効果的な活用も進めながら、教職員の働き方改革を実践し、児童生徒と向き合う時間を確保するなど、必要な改革を推進してまいります。

重点の2つ目は「確かな学力の育成」であります。

学習指導要領では、義務教育9年間の学びの連続性、系統性のある学習指導を通じて、各教科の知識・技能を習得させるとともに、思考力・判断力・表現力及び学びに向かう力を育むことが求められています。

各中学校区の小中学校が連携して授業改善を図るという第2次学力向上の取組は、令和4年度で後期3年目となり最終年を迎えております。令和5年度においても、学力検査等の分析や日常における的確な実態把握により、学校規模や習熟度に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、ICT環境を利用したオンライン交流学习、AIドリル等を利用した個別学習や家庭学習の習慣化を図るため、指導の工夫に努めてまいります。

また、市教育研究所主催の各種事業・研修会を通じて、教職員の指導力及び授業力の向上を図り、「令和の日本型学校教育」を実現できる人材の育成にも努めてまいります。

令和5年度の新たな施策として、児童生徒の学力向上や学習習慣の定着を図るため、学習ボランティア等の活用による小学校の「放課後学習教室」、中学校の学習支援に向けた事業の企画など、授業以外の学習サポートの実施を検討してまいります。

加えて、遠野高等学校と遠野緑峰高等学校の生徒一人ひとりの進路選択と未来の可能性をさらに広げ、支援するための、高校生を対象とした「学習支援センター」の開設に向けて、調査及び研究を実施いたします。

グローバル人材の育成については、実用英語技能検定を活用した英語力向上事業の推進、児童生徒が生きた英語に触れる機会を保障するための外国語指導助手の中学校区配置、小学校英語専科教員の配置を実施し、重層的な指導体制の下、英語によるコミュニケーション能力の育成に努めてまいります。

重点の3つ目は「豊かな人間性の育成」であります。

「遠野市わらすっこ条例」に掲げる理念の下、一人ひとり互いの良さを認め合える学校、学級づくりに努めるとともに、いじめや偏見、差別の無い社会実現のための人権教育の推進、また、道徳教育や復興教育を中心とした自他の生命を大切に作る心の育成などを基軸とし、学校行事における体験活動など、あらゆる教育活動を通じて豊かな心を育む教育を推進してまいります。

また、市内の小中学校は、児童生徒数が減少しており、市内の半数以上の小学校が複式学級を有しています。小規模校ならではの、きめ細かな指導や異学年での学び、近隣学校との交流授業を通し、他者への思いやりの心や畏敬の念の醸成を図り、心豊かな児童生徒の育成に努めてまいります。

発達段階に応じたキャリア教育の充実のため、「遠野市キャリア・パスポート」を効果的に活用し、小学校から高等学校までをつなぎ、子どもの成長にそった体系的、系統的な「ふるさと教育」を、地域の協力を得ながら進めてまいります。

児童生徒交流においては、児童生徒が歴史的つながりを肌で感じ、郷土の歴史や文化、自然の良さを学ぶ機会となるよう八戸市、大府市、福崎町、西米良村との児童生徒交流の受入及び派遣事業に取り組んでまいります。

令和4年8月に改訂された「新生徒指導提要」により、積極的な生徒指導の充実と発達支援的な生徒

指導に取り組んでいくことが大切であるとされました。

いじめや不登校など生徒指導上の諸課題については、未然防止、早期発見、早期対応が最も重要であると言われてしています。各学校における教育相談体制の強化及び教育相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家の積極的な活用を促しながら、児童生徒個々の置かれている状況や抱えている問題、悩みなどに応じて適切に対応してまいります。

不登校への対応については、市役所東館庁舎に設置している適応指導教室に加えて、東中学校区及び西中学校区にジョイントスクールの設置を検討し、専任相談員による通級児童生徒のニーズに応じた学習支援の充実や通級児童生徒の段階的な学校復帰や進路実現に向けた支援に取り組んでまいります。

重点の4つ目は「健やかな体の育成」であります。

健やかな体の育成につきましては、学校及び家庭の協力を得て新型コロナウイルス感染症対策の徹底を継続するとともに、児童生徒の健康の保持増進と体力向上の推進に努めてまいります。

生活習慣病予防においては、各種検診の実施による疾病の早期発見や望ましい生活習慣を目指し、肥満の予防、う歯罹患率改善に向けた学校保健活動を支援するとともに、遠野市学校保健会と連携しながら、児童生徒の健康づくりを推進してまいります。

体力向上については、日常の授業を通じた体力・運動能力の向上や、一日60分以上の運動やスポーツに親しむことを目標として各学校で実施している業間運動等の取組を継続し、児童生徒の日常的な運動の機会を確保してまいります。

部活動については、「遠野市における部活動の基本方針」に基づき、部活動の果たす機能を大切にしながら、心身の健全な発達に資する活動となるよう支援するとともに、令和4年11月に発足した「遠野市部活動検討委員会」により、子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を確保しつつ、教員の負担軽減を図りながら実現できる部活動の地域移行のあり方を検討してまいります。

近年のスポーツにおける本市児童生徒の活躍は目覚ましく、多くの市民に感動を与え、後に続く子どもたちの夢や目標となっていくことから、今後も関係団体と連携した技術指導を実施し、児童生徒の競技力の向上を積極的に支援してまいります。

重点の5つ目は「特別支援教育の充実」であります。

特別支援教育については、インクルーシブ教育の理念に基づき合理的配慮が必要な子どもたちやその発達特性について、就学前からの把握に努めるとともに、保護者との合意形成を大切にされた教育相談の充実を図り、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた教育の場を提供し、自立や社会参加に向けた教育を進められるよう指導や支援を行ってまいります。

特別な支援を必要とする幼児児童生徒への早期から一貫性のある指導・支援を行うため、家庭、医療、福祉等との一層の連携を図るとともに、就学前から高等学校卒業まで、切れ目ない支援の充実を図ってまいります。

また、専門家による発達相談に係る訪問指導や通常学級に在籍する個別の支援が必要な児童生徒をサポートする特別支援教育支援員を配置するなど、児童生徒個々のニーズに応じたよりきめ細かな支援を行ってまいります。

「聴覚に障がい」がある児童の学習環境の充実を図るため、聴覚をサポートする入出力支援システム等、ICTを活用した授業支援を進めるとともに、「言葉に障がい」がある児童への発音指導等による改善を図るため、ことばの教室設置校での指導及び専任の講師による巡回指導を継続してまいります。

さらに、病気等の理由によりやむを得ず登校できない児童生徒に対し、一人一台端末を利用したオンライン授業を行うなど、ICTを活用した学習支援の充実を図ることで、全ての児童生徒の学びの保障に努めてまいります。

方針の2つ目、「教育環境の充実」についてであります。

学校施設については、「遠野市学校施設長寿命化計画」に基づき計画的に施設改修を進めるとともに、児童生徒の安全を確保するため、学校施設点検を定期的に行いながら、施設の修繕や危険な樹木の伐採

等を実施してまいります。

また、老朽化した学習机及び椅子の更新を計画的に進め、児童生徒が木の温もりに直接触れ、森林資源の利活用や環境保全の理解を深める学習の機会として活用してまいります。

通学対策については、児童生徒の通学時の安全を確保するため、関係機関等との連携による通学路合同点検結果に基づき、必要な安全対策を講じるとともに、登下校時における見守りの一層の強化を図ってまいります。

また、老朽化したスクールバスを順次更新し、車両の安全性を確保するとともに、昨今、問題となっている送迎用バスへの児童の置き去り事故等が発生しないよう安全運行の徹底に努めてまいります。

台風や大雪などの自然災害等においては、防災関係機関と連携の上、タイムラインに基づいた休校措置や登下校における安全対策等の措置を講じるとともに、学校や保護者等への適切な情報提供に努め、児童生徒の安全確保に万全を期してまいります。

経済的な理由により学びを止めないための支援としては、就学援助制度により学用品費やクラブ活動費などの支給を継続するとともに、オンライン学習に係る費用を定額給付とし、保護者の経済的負担の軽減に努めてまいります。

また、奨学金制度については、引き続き、経済的事由により修学が困難である優秀な学生への学資の貸与に努め、より一層活用される制度となるよう検証を進めてまいります。

方針の3つ目、「学校給食の充実」についてであります。

学校給食については、学校給食衛生管理基準を遵守し、食材納入業者や調理・配送業者及び各学校との連携を密にし、安全・安心で栄養バランスの取れた「おいしい給食」を提供し、心身の健全な発達に努めてまいります。

また、遠野市産直連絡協議会等の協力の下、季節に応じた遠野産の食材を積極的に給食メニューに取り入れ、地産地消を進めてまいります。

「生きる力」を育む食育の推進を図るため、栄養教諭との連携により、学校を訪問して成長期にある児童生徒に食に関する正しい理解と適切な判断力を養う授業を実施するとともに、郷土の食文化や地域の農産物への理解を深め、生産者や学校給食に関わる人たちへの感謝の心を育む「交流すまいる給食」を実施してまいります。

方針の4つ目、「学校と家庭、地域との連携の充実」についてであります。

令和4年度は、学校運営協議会制度、いわゆるコミュニティ・スクールの充実を図るため、試行の年として取り組んでまいりました。令和5年度は、地域の人材や資源を活かしたふるさと教育の充実やこれまでの学校と地域の連携を基盤とした子どもを育む取組の推進、エリアコーディネーターによる学校と地域の新たなつながりの創出をさらに進めてまいります。

また、学校運営協議会制度の幅広い理解の推進と、地域運営組織の教育部会や地域教育協議会を始めとした地域の既存団体との連携及び協働体制の強化に向け、コミュニケーションを図りながら取組を進めてまいります。

政策の第2、「生涯学習の推進」については、「社会教育の充実」と「芸術文化活動の推進」の2つの施策に取り組んでまいります。

まず施策の1つ目、「社会教育の充実」については、4つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「家庭や地域教育の充実」であります。

地域の人材や資源を活かした社会教育講座の開催など、「集い、楽しみながら学ぶとともに、行動し、変えていく」といった「人づくり」の取組を推進し、地域課題の解決と、地域における教育力の向上に努めてまいります。

また、「情報メディアとの上手な付き合い方」や「家庭でのコミュニケーション」など、家庭教育の課題に即した「家庭教育ゼミナール」を開催し、家庭における教育力の向上に努めてまいります。

さらに、児童生徒の学習内容の定着を図るため、遠野市PTA連合会と連携協力し、家庭学習の質と量の向上を目指してまいります。

方針の2つ目、「成人教育の充実」であります。

生涯学習の理念に基づき、社会教育に関係する団体や趣味のサークルの情報、知識を有する講師の情報を発信するとともに、市民のニーズに応じた講座をはじめとし、生涯にわたって学び続けることの楽しさを育むことができるよう、関係機関との連携・協働の下、取組を進めてまいります。

方針の3つ目、「高齢者教育の充実」であります。

人生100年時代と言われる中、高齢者が生きがいを感じ、活力ある生活を送れるよう、年代等に配慮した学習活動の推進を図るとともに、高齢者が持つ幅広い経験や知識、技能を次世代の人づくりに活かせるよう支援してまいります。

方針の4つ目、「青少年の健全育成と活躍推進」であります。

子どもたちが元気に安心して暮らせるよう、地域や関係機関と連携を図りながら、青少年の非行防止と健全育成活動に取り組んでまいります。

また、従来の郷土学習の取組に加え、海外の文化や語学に触れる機会を設けるなど、将来、国際的に活躍できるグローバルな人材育成プログラムを構築してまいります。

次に施策の2つ目、「芸術文化活動の推進」についてであります。

子どもたちの創造性やコミュニケーション能力などを育むため、国や県、さらには市内の文化芸術関係団体と連携して、小中学生を対象に「青少年劇場」「いわて芸術家派遣事業」など、優れた芸術に接する機会を提供してまいります。

政策の第3、「ふるさとの文化の継承・創造」については、「文化的資料の保存と活用」、「文化財の保護」、「歴史の継承と人づくり」の3つの施策に取り組んでまいります。

まず施策の1つ目、「文化的資料の保存と活用」については、2つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「博物館活動の推進」であります。

『遠野物語』や遠野の歴史・文化をテーマとした特別展・企画展を開催し、『遠野物語』の理解を深める学習機会を提供するとともに、遠野まちなか・ドキ・土器館においては、小中学生の郷土学習や、市民・観光客の学習交流施設としての役割を果たしてまいります。

また、市内の児童生徒向けに出前授業や展示解説を行う博物館教室を通年で開催し、学校との連携に努めてまいります。

方針の2つ目、「図書館活動の推進」であります。

「第4次遠野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの読書に親しむ機会の推進を図るため、効率的な移動図書館車の運行、小中学校・児童館・福祉施設等への積極的な図書貸出を行うとともに、本に関する企画展、図書館教室及び児童向けの映画会を開催し、更なる読書の普及と利用しやすい図書館を目指してまいります。

次に施策の2つ目、「文化財の保護」については、3つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「文化財調査・保護」であります。

文化財の調査や記録、修理及び修繕については、継続的に取り組むとともに、市民協働による文化財の継承活動をより一層推進してまいります。

特に、令和5年3月に国指定史跡となった「鍋倉城跡」については、我が国の貴重な史跡として永久的に保護していくため、保存と活用に関する計画の策定を進めてまいります。

方針の2つ目、「郷土芸能伝承活動の推進」であります。

郷土芸能の伝承を推進するため、担い手による積極的な活動を支援し、郷土芸能団体相互の連携を強化し、発表機会を提供してまいります。

今後も、しし踊りなどの遠野の郷土芸能を継承する活動を支援するとともに、指定された無形民俗文化財の全国事例の調査を進めてまいります。

方針の3つ目、「遠野遺産の認定と保護活動の推進」であります。

地域の宝である遠野遺産を広く周知することで遠野らしい文化・風景を次世代に継承する人づくり、まちづくりに生かすよう検討してまいります。

施策の3つ目、「歴史の継承と人づくり」については、3つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「市史編さん事業の推進」であります。

市史編さん委員会、各専門部会は、「資料編」「通史編」「民俗編」の調査成果を活用した市民向けの市史講座等を開催しながら、遠野の歴史に理解を深める機会の提供と人づくりに努めてまいります。

方針の2つ目、「歴史や文化を継承・発信する人づくり」であります。

遠野の文化を発信する講座を開催するとともに、昔話を継承する子ども語り部の認定や「遠野語り部1000人プロジェクト」で認定された語り部の発表の機会を設け、次世代への文化伝承を担う人づくりに努めてまいります。

方針の3つ目、「本と文化と子育ての融合」であります。

「こども本の森遠野」には、全国から多くの親子連れなどが訪れています。民俗学の原点と言われている『遠野物語』が誕生したこの地で、ふるさとの歴史や文化を学び、やがて世界に羽ばたく子どもたちが育まれる場所となるよう、図書館事業と連携しながら取り組んでまいります。

以上、令和5年度の遠野市教育行政推進に関する基本方針と主要な施策の概要について、申し述べました。

「だれ一人取り残さず、一人ひとりが輝く教育」を目指し、遠野で育ち、遠野で学び、遠野で暮らしてよかったと思える教育を推進してまいります。

学校と家庭と地域と行政の4者が連携協力し、「こどもまんなか社会」を目指し総がかりで「遠野の子ども」を育ててまいります。

また、就学前から高等学校まで学びを止めない教育の推進として、学校の教育力、家庭の教育力、地域の教育力の3つの力をもって子どもの健全育成を目指してまいります。

議員各位、並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、令和5年度に向けた教育行政推進の基本方針といたします。

(4) 教育委員会及び関係機関等

(令和5年4月1日現在)

① 教育委員会（教育長及び委員）

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	佐々木 一人	令和4年4月1日	令和7年3月31日
委員(教育長職務代理者)	菊池 崇	令和2年4月1日	令和6年3月31日
委員	菊池 和子	令和4年11月26日	令和8年11月25日
委員	藤山 重理子	令和2年11月26日	令和6年11月25日
委員	小玉 淳浩	令和4年11月28日	令和5年11月25日

② 教育委員会事務局・教育機関・関係機関

機関名	所在地	電話
遠野市教育委員会事務局	遠野市東館町8-12	☎0198-62-4412 F A X 0198-62-2789
遠野市教育研究所	同上	同上
遠野市学校給食センター	遠野市松崎町白岩31-44-1	☎0198-62-2032 F A X 0198-62-6523
遠野市民センター	遠野市新町1-10	☎0198-62-4411 F A X 0198-62-3302
遠野市勤労青少年ホーム	同上	☎0198-62-4413 F A X 0198-62-0210
遠野市少年センター	同上	同上
遠野市立図書館	遠野市東館町3-9	☎0198-62-2340 F A X 0198-62-5758
	宮守ゆうYOUソフト館 遠野市宮守町下宮守30-37-5	☎0198-67-2012
遠野市立博物館	本館 遠野市東館町3-9	☎0198-62-2340 F A X 0198-62-5758
	遠野蔵の道ギャラリー 遠野市中央通り4-28	☎0198-62-2680
	遠野まちなか・ドキ・土器館 遠野市新町5-3	☎0198-62-7820
	加守田章二陶房跡 遠野市青笹町糠前9-5-3	—
遠野市中央公民館	遠野市新町1-10	☎0198-62-4411 F A X 0198-62-0210
遠野市遠野地区公民館	同上	同上
遠野市綾織地区公民館	遠野市綾織町下綾織字且の鼻26	☎0198-62-2838 F A X 0198-62-2838
遠野市小友地区公民館	遠野市小友町16-105-1	☎0198-68-2001 F A X 0198-68-2001
遠野市附馬牛地区公民館	遠野市附馬牛町下附馬牛11-40-1	☎0198-64-2001 F A X 0198-64-2001
遠野市松崎地区公民館	遠野市松崎町白岩字薬研淵1-3	☎0198-62-2885 F A X 0198-62-2885
遠野市土淵地区公民館	遠野市土淵町土淵6-5-3	☎0198-62-2837 F A X 0198-62-2837
遠野市青笹地区公民館	遠野市青笹町青笹13-3-1	☎0198-62-2836 F A X 0198-62-2836
遠野市上郷地区公民館	遠野市上郷町板沢11-5-4	☎0198-65-2022 F A X 0198-65-2022
遠野市宮守地区公民館	遠野市宮守町下宮守29-77	☎0198-67-2115 F A X 0198-67-2157
遠野市達首部地区公民館	遠野市宮守町達首部15-31-1	☎0198-69-5055 F A X 0198-69-5055
遠野市鱒沢地区公民館	遠野市宮守町下宮守29-77	☎0198-67-2115 F A X 0198-67-2157
遠野市健康福祉部子育て支援課 (遠野市子育て総合支援センター)	遠野市東館町8-12	☎0198-62-2111 F A X 0198-62-9422

③ 岩手県立学校

学校名	所在地	電話
遠野高等学校	遠野市六日町3-17	☎0198-62-2823 F A X 0198-62-2805
遠野緑峰高等学校	遠野市松崎町白岩21-14-1	☎0198-62-2827 F A X 0198-62-2828
花巻清風支援学校遠野分教室小学部	遠野市東館町11-28(遠野小学校内)	☎0198-62-3351 F A X 0198-62-3351
花巻清風支援学校遠野分教室中学部	遠野市松崎町白岩11-30(遠野中学校内)	☎0198-62-2211 F A X 0198-62-2239

④ 幼稚園・保育所

幼稚園・保育所名	所在地	電話
認定こども園めぐみ 遠野聖光こども園	遠野市中央通り3-10	☎0198-62-2150 F A X 0198-62-4493
光の園幼稚園	遠野市東穀町14-7	☎0198-62-3341 F A X 0198-62-3341
遠野保育園	遠野市材木町3-21	☎0198-62-2034 F A X 0198-62-2034
神明保育園	遠野市六日町8-22	☎0198-62-2036 F A X 0198-62-2036
綾織保育園	遠野市綾織町下綾織字且の鼻37-36	☎0198-62-2812 F A X 0198-62-2812
岩滝保育園	遠野市小友町16-105-3	☎0198-68-2333 F A X 0198-68-2333
附馬牛保育園	遠野市附馬牛町下附馬牛11-31-2	☎0198-64-2330 F A X 0198-64-2330
白岩保育園	遠野市松崎町白岩13-42-1	☎0198-62-2395 F A X 0198-62-2395
松崎保育園	遠野市松崎町駒木24-50	☎0198-62-2826 F A X 0198-62-2826
土淵保育園	遠野市土淵町土淵3-53-3	☎0198-62-2458 F A X 0198-62-2458
青笹保育園	遠野市青笹町青笹11-22-4	☎0198-62-2022 F A X 0198-62-2022
上郷保育園	遠野市上郷町板沢11-6-2	☎0198-65-2030 F A X 0198-65-2030
認定こども園 宮守保育園	遠野市宮守町下宮守26-87-2	☎0198-67-2130 F A X 0198-67-2130
達首部保育園	遠野市宮守町達首部15-31	☎0198-67-6131 F A X 0198-67-6131
鱒沢保育園	遠野市宮守町下鱒沢33-218-1	☎0198-66-2210 F A X 0198-66-2210

(5) 教育委員会の関係付属機関

① わらすっこ支援委員会（事務局：健康福祉部・子育て支援課）

職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	松田 希実	令和4年8月25日	令和6年7月31日
副委員長	菊池 健也	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	阿部 茜	令和5年7月1日	令和6年7月31日
委員	大里 悠斗	令和5年7月1日	令和6年7月31日
委員	太田 晋	令和4年12月22日	令和6年7月31日
委員	沖舘 玲子	令和5年7月1日	令和6年7月31日
委員	菊池 一郎	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	菊池 和恵	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	菊池 桃心	令和5年7月1日	令和6年7月31日
委員	菊池 洋二	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	佐藤 賀多子	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	新張 一枝	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	樋口 恵	令和5年7月1日	令和6年7月31日
委員	松田 富子	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	松田 隼人	令和4年8月25日	令和6年7月31日

② 市民センター運営協議会（事務局：市民センター/市民協働課）

職名	氏名	就任年月日	任期
会長	石直 典高	令和4年6月1日	令和6年5月31日
職務代理	佐々木 正二	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	箱山 勇	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	松田 篤	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	阿部 優一	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	運 萬 勇	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	奥寺 啓蔵	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	菊池 正明	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	八重樫 正昇	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	佐々木 和子	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	小友 善衛	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	菊池 文正	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	熊谷 義弘	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	海老 糸子	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	村上 洋子	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	高橋 淳	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	新田 光志	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	佐々木 芳夫	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	中浜 清輝	令和5年6月1日	令和6年5月31日
委員	林 英道	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	菊池 寿	令和4年6月1日	令和6年5月31日

③ 文化財保護審議会（事務局：市民センター/文化課）

職名	氏名	就任年月日	任期
委員	菅原 伴耕	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	林 英道	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	岩崎 真幸	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	菊池 恭二	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	熊谷 常正	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	小向 裕明	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	小笠原 晋	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	竹原 明秀	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	熊谷 賢	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	佐々木 栄洋	令和5年4月1日	令和7年3月31日
委員	菊池 正彦	令和5年4月1日	令和7年3月31日

④ 奨学生選考委員会（事務局：教育委員会事務局/学校総務課）

職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	新里佳子	令和5年5月1日	令和6年3月31日
委員	三浦芳昌	令和5年5月1日	令和6年3月31日
委員	菊池都代子	令和5年5月1日	令和6年3月31日
委員	沖舘玲子	令和5年5月1日	令和6年3月31日
委員	佐々木誠	令和5年5月1日	令和6年3月31日
委員	佐々木友彦	令和5年5月1日	令和6年3月31日
委員	多田宜史	令和5年5月1日	令和6年3月31日

⑤ いじめ問題調査委員会 * 事案発生に応じて適宜設置（過去の設置実績なし）

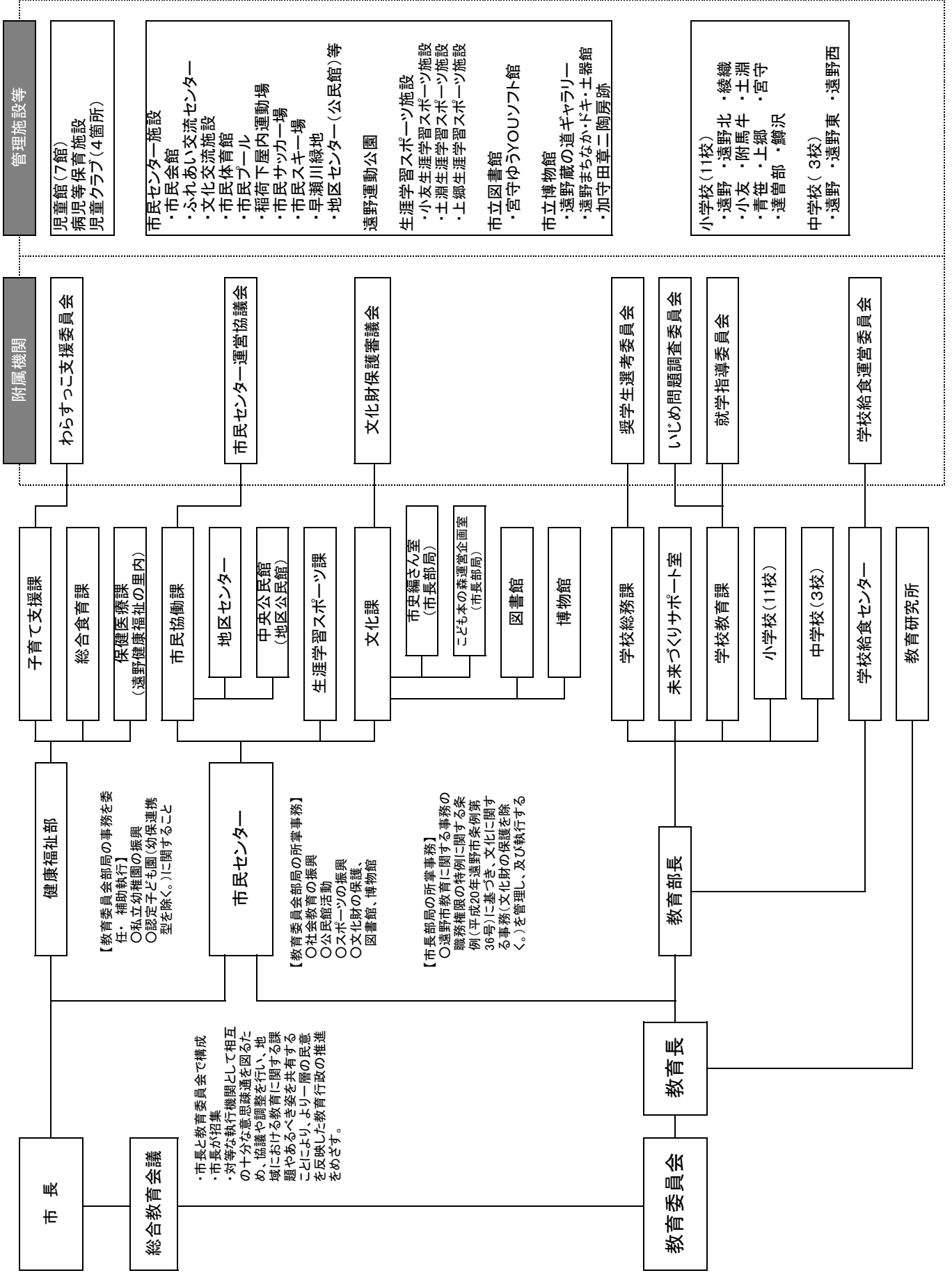
⑥ 就学指導委員会（事務局：教育委員会事務局/学校教育課）

職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	佐々木美紀	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	菊池春夫	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	木元康生	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	熊谷恵美	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	高橋美恵子	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	菊池佳奈子	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	加藤正志	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	小鎚弥奈子	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	平山朱子	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	小山田逸美	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	後藤昌子	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	菊池寿子	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	菊池幸枝	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	高野美穂	令和5年4月1日	令和6年3月31日
委員	千葉陽子	令和5年4月1日	令和6年3月31日
アドバイザー	小野寺輝子	令和5年4月1日	令和6年3月31日

⑦ 学校給食運営委員会（事務局：教育委員会事務局/学校給食センター）

職名	氏名	就任年月日	任期
会長	多田宜史	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	北湯口美和子	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	菊池俊彦	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	佐々木幹夫	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	照井福子	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	小井口幹	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	立花弥代子	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	菅野公子	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	福地千津子	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	新田依子	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	高橋淳	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	菊池純子	令和5年7月1日	令和7年6月30日
委員	松山和弘	令和5年7月1日	令和7年6月30日

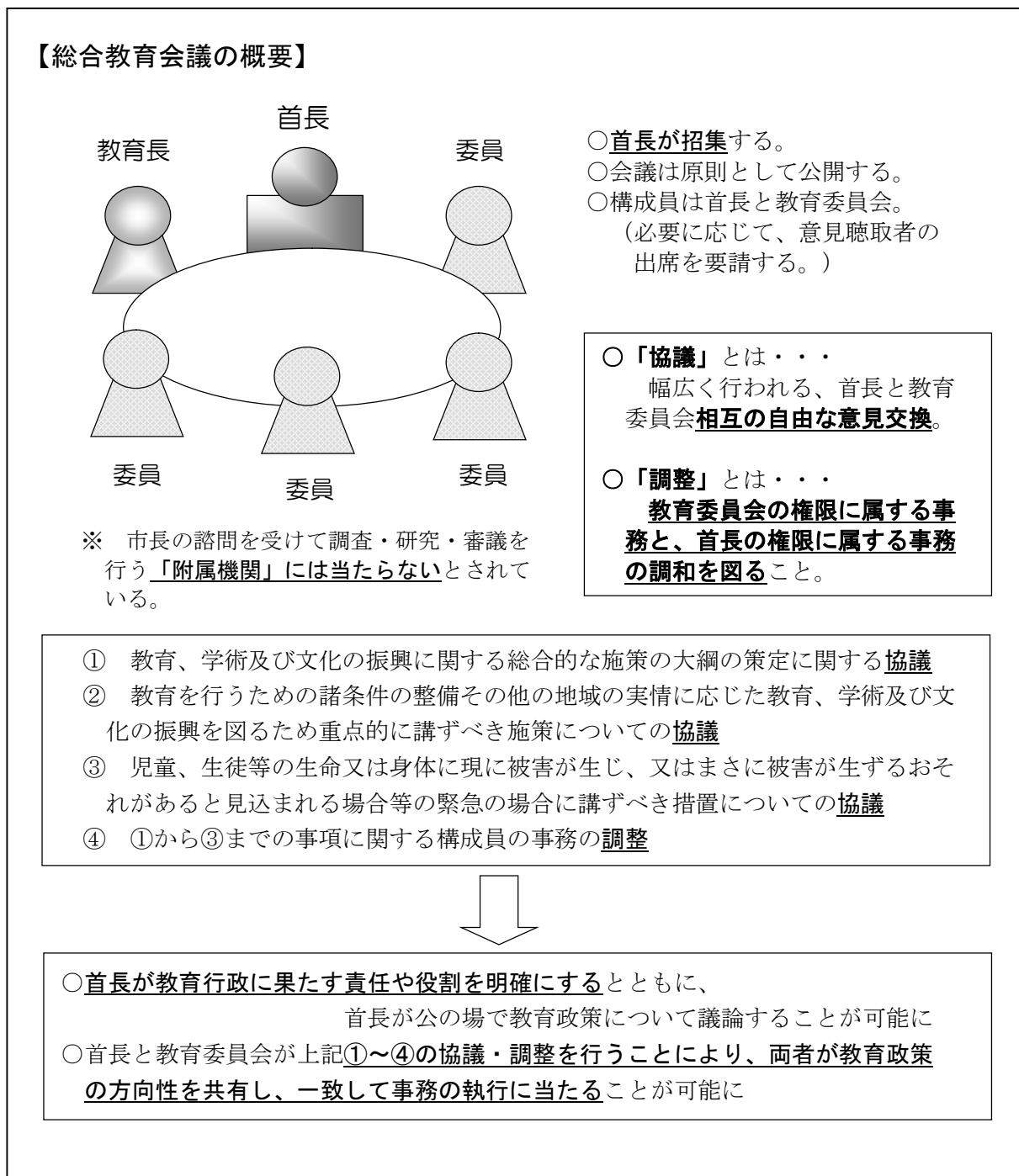
(6) 遠野市教育委員会機構図（令和5年4月1日現在）



(7) 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）の一部改正（平成27年 4月 1日施行）に伴い、地方公共団体の長（首長）は、同法第 1 条の 4 第 1 項の規定により、「総合教育会議」を設けることとされました。

総合教育会議は、首長と教育委員会とで構成され、両者が対等な執行機関として相互の十分な意思疎通を図るため、下の図に掲げる協議や調整を行い、地域における教育に関する課題やあるべき姿を共有することにより、より一層の民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。



(8) 各種事業の推進

教育環境分野においては、第2期遠野市教育振興基本計画の基本方針に基づき、明日の遠野を担う子どもたちが安全かつ健康に、また、心豊かに安心して学校生活を送ることができる教育環境づくりのため、教材の充実、就学援助等の取組を推進するとともに、学校施設の計画的な整備や維持補修の適切な実施、スクールバスの安全な運行体制の構築等に取り組んでいます。

学校教育分野においては、『知・徳・体のバランスのとれた人間形成～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～』の実現に向け、「基礎的な知識・技能の習得及び課題解決のための思考力等の育成」「豊かな心の育成」「健やかでたくましい心身の育成」の3点を重点課題とした取組を行っています。

生涯学習分野においては、市民協働の視点を重視しながら、地域における教育・学習・文化の活動拠点である市民センター及び地区センター（地区公民館）の機能の充実に努めるとともに、市民による芸術活動の推進に取り組んでいます。

スポーツの振興・健康づくり分野においては、市民の健康の増進と生涯スポーツ社会の実現に向け、「健康づくり総合プログラム」を実践するとともに、競技スポーツやジュニアスポーツのレベルアップを図るなどの取組を行っています。

文化行政分野においては、遠野市の豊かな地域資源や文化を後世に継承するため、文化財の保全や郷土資料・民俗資料の調査・研究を行い、その成果を広く発信する取組を行っています。

これらの取組に加え**子育て分野**においては、市政の重要課題として位置づけている「少子化対策・子育て支援」の推進のため、市健康福祉部との連携のもと、各種事業に取り組むとともに、幼児期から小学校、中学校、高等学校に至るまでの総合的な教育環境の整備に資するため、市内の県立高等学校とも一層の連携を図りつつ、「地域資源を生かした高等学校のさらなる魅力化」にも取り組んでいます。

市内県立高校支援分野においては、少子化及び人口減少が深刻な問題となっている県内過疎地域における適正な教育環境を維持するため、県内各市町村とも連携しながら、全国一律ではない岩手県ならではの高校少人数学級導入及び教員定数の確保、並びに新たな判断基準に基づく小規模高等学校の存続を求める要望等に加え市独自の高校魅力化推進事業の取組を行っています。

3 学校教育

(1) 令和5年度 遠野市「学校教育指導指針」

I 遠野市「学校教育目標」

**知・徳・体のバランスのとれた人間形成
～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～**

「遠野や日本・世界の発展に貢献する人材」とは、グローバル社会にあつて、世界で通用する人材のことであり、次のような人間となることを指す。

- ① 幅広い知識と柔軟な思考力を身に付けた人間。
- ② 価値観や言語の違う人々とも理解し合えるコミュニケーション能力を身に付けた人間。
- ③ よく考え、自信を持って自分の意見を発信できる人間。
- ④ 自分の特性にあつた進路を選択し、社会で活躍できる人間。
- ⑤ 夢や希望を持ち、難問課題を克服するために努力できる人間。
- ⑥ 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心を持った人間。
- ⑦ 心身ともに健康で、たくましく未来を切り拓いていく人間。

【遠野市「学校教育目標」設定の理由】

1. 時代背景から

社会情勢

これからの社会は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代である。知識基盤社会の特質としては、①知識には国境がなく、グローバル化が一層進む ②知識は日進月歩であり、競争と技術革新が絶え間なく生まれる ③知識の進展は旧来の「一時代の支配的な物の見方」の転換を伴うことが多く、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断が一層重要になる、等が挙げられる。

このような社会では、知識を更新する能力が重要であり、激しい変化に柔軟に対応できる力が求められる。

2. 遠野市内児童生徒の実態

(「R4 県学習状況調査」における児童生徒質問紙等から)

【長所】

- (1) 県と比較して、「自分にはよいところがある」と感じている児童生徒の割合が高い。
- (2) 地域行事への参加率及び地域に貢献したいという気持ちを強く持っている児童生徒が多い。
- (3) 授業内での話し合い活動を通じて、互いに考えを深めたり、広げたりしようとする児童生徒の割合が高い。
- (4) 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と考えている児童生徒が多い。

【課題】

- (1) 自分の弱点を克服するための取組や、発展的な学習への取組に対して、積極的とは言えない状況がみられる。
- (2) 家庭学習では自分で計画を立て、与えられた宿題に真剣に取り組んでいるが、県と比較して取組時間が短い傾向にある。
- (3) 小中学校ともに、スマホや携帯電話の所持率が増加傾向にある。

II 遠野市「学校教育目標達成に向けた視点」

1. 基礎的な知識・技能の習得及び課題解決のための思考力等の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかでたくましい心身の育成

Ⅲ 遠野市「学校教育目標達成に向けた取組の重点」

1. 学校経営の質的向上

- (1) 評価・公表・改善のサイクルによる学校経営の充実
- (2) 研修の機会の積極的な活用
- (3) 課題の解決に向けた組織的で継続的な取組の推進
- (4) 授業力や学級経営力などの実践的指導力を高める人材育成の推進
- (5) 保護者や地域の人材及び地域資源の積極的な活用
- (6) 校長のリーダーシップによる特色ある学校づくりの推進
- (7) 社会に開かれた教育課程による学校経営の充実

2. 確かな学力の育成

- (1) 「中学校区ごとの2つの視点」に基づいた授業改善の継続と質的向上の推進
- (2) 「できた・わかった」を実感させるための授業の在り方に関する研究の継続推進
- (3) 個の実態に応じた学習支援の在り方及び授業づくりに関する取組の推進
- (4) 家庭学習の量と質の向上に係る実践研究の推進
- (5) 諸調査の分析結果に基づいた組織的な学校取組の推進
- (6) 各中学校区での授業交流会及び全教員対象とした研修会の継続実施
- (7) 特定教科集中対策事業の継続による特定教科への対策
- (8) 児童生徒が活きた英語に触れることができる機会の保障

3. 豊かな人間性の育成

- (1) 豊かな感性を育み、命や思いやりを大切にする心の教育の推進
- (2) 「特別の教科 道徳」に係る研修会の充実
- (3) 郷土の歴史、文化及び自然の良さを見つめ直す機会の確保
- (4) いじめ、問題行動及び不登校等への迅速かつ組織的な対応の強化
- (5) 個々の課題に応じた教育相談体制や指導体制への支援の充実
- (6) P T A等との連携による「ネット依存」の防止に向けた啓発活動の実施
- (7) 組織的な推進体制による道徳教育の充実
- (8) 生徒指導の機能を生かした教育活動及び学級経営の推進
- (9) 発達段階に応じたキャリア教育の充実
- (10) 岩手の復興教育の充実
- (11) 文化行事奨励事業の推進

4. 健やかな体の育成

- (1) 「遠野市における部活動の在り方に関する方針」による活動の充実
- (2) 齲歯率と肥満傾向が高い現状を改善するための取組支援
- (3) 体力及び運動能力の向上並びに健康教育の推進
- (4) 児童・生徒の永久歯の齲歯率の改善

5. 特別支援教育の充実

- (1) 特別支援学級新設校との連携による学習環境の整備
- (2) 通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援のための体制整備
- (3) 聞こえ及び言葉の障がいを持つ児童への指導の充実

Ⅳ 遠野市「学校教育目標達成に向けた取組の重点」に係る指標等

指標	●遠野市教委の具体的推進方策指標 ○県教委の具体的推進方策指標	◆いわて幸福関連指標 表記がないものの単位はいずれも%	2023 目標値	根拠となる調査等
◆将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合			小 88.5 中 76.5	全国学調
○自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合			小 75.0 中 65.0	県学調 児童生徒質問紙調査
◆自己肯定感をもつ児童生徒の割合			小 85.0 中 80.0	全国学調
○学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合			小 91.0 中 91.0	県学調 児童生徒質問紙調査
○地域住民などによる見守り活動が行われている学校の割合			85.0	文科調査及び 県教委保健体育課調べ
●第2次遠野市総合計画 後期基本計画 みんなで取り組むまちづくり指標の 偏差値 【※】			小 52.2 中 48.9	標準学力検査
●◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合			小 84.9 中 81.2	県学調 児童生徒質問紙調査
●◆授業で自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合			小 84.7 中 84.0	県学調 児童生徒質問紙調査
●○教育課程全体で「話すこと」「書くこと」等の言語活動の充実を図っている 学校の割合			小 100 中 100	県学調 学校質問紙調査
●○児童生徒の資質・能力の向上に向けて、「確かな学力育成プラン」に基づい て組織的に取り組んでいる学校の割合			小 100 中 100	県学調 学校質問紙調査
○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに幼児児童の姿を共有し、 授業に生かしている小学校の割合			小 75	県学調 学校質問紙調査
○授業等で ICT 機器を活用し、児童生徒に ICT 活用について指導できる教員の 割合			80	学校における教育の情報化の 実態等に関する調査
●○諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目し た授業改善を行っている学校の割合			小 100 中 100	県学調 学校質問紙調査
●○学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいる児童生徒の割合			小 70 中 65	県学調 児童生徒質問紙調査
○中学校3年生において、求められている英語力を有している生徒の割合			中 46.0	英語教育実施状況調査
◆人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合			小 70 中 68	県学調 児童生徒質問紙調査
○多様な意見を認め合うことに価値を感じている児童生徒の割合			小 77 中 81	県学調 児童生徒質問紙調査
○学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割 合			小 85 中 85	県学調 児童生徒質問紙調査
○「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合			小 90 中 85	県生涯学習文化財課調査
○様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味がわいたと感じている児童生徒の割合			小 72 中 69	県学調 児童生徒質問紙調査

○話し合いの場で、互いの良さを生かしながら解決方法を決めている児童生徒の割合	小 84 中 84	県学調 児童生徒質問紙調査
○いじめはいけないと思う児童生徒の割合	100	全国学調
○認知したいじめが解消した割合	100	学校教育室調べ
○スマートフォンやインターネットを使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合	小 100 中 100	県学調 児童生徒質問紙調査
◆体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	小男 70.0 小女 80.0 中男 75.0 中女 90.0	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査
○運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	89	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査
○毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合	小 85 中 85	全国学調
○喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	100	保健体育課調べ
○部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合	95.0	保健体育課調べ
○「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	100	いわて特別支援教育推進プラン 進捗状況調査

- ・指標は「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプラン指標一覧表から本市の取組の重点に合わせて抽出している。
- ・目標値は県の数値に準じているが、 は本市として設定した目標値。
- ・網掛けは重点項目。

数値目標 () は実績値

まちづくり指標		単位	R3	R4	R5	R6	R7
1	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	52.1 (50.1)	52.1 (49.5)	52.2 ()	52.2 ()	52.3 ()
2	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	48.8 (48.6)	48.8 (48.1)	48.9 ()	48.9 ()	49.0 ()

【みんなで取り組むまちづくり指標】（第2次遠野市総合計画 後期基本計画 R3～R7）

- ・前期基本計画（H28～R2）の実績値をもとに設定

遠野市学校教育指導指針に係る学校教育構想図

遠野市「学校教育目標」 知・徳・体のバランスのとれた人間形成

～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～

「生きる力」の育成（学習指導要領の理念）

確かな学力【知育】

○知識・技能 ○思考・判断・表現力 ○学ぶ意欲 など

豊かな人間性【徳育】

○自律心 ○他人を思いやる心 ○感動する心 など

健やかな体【体育】

○たくましく生きるための健康・体力 など

児童生徒の学習意欲を高め、安心で安全な学校生活を送るため、個性を生かした質の高い教育を提供

【遠野市学校教育目標達成に向けた取組の重点】

1. 学校経営の質的向上 【知育・徳育・体育】

- 評価・公表・改善のサイクルによる学校経営の充実
- 研修機会の積極的な活用
- 課題の解決に向けた組織的・継続的な取組の推進
- 授業力や学級経営力などの実践的指導力を高める人材育成の推進
- 保護者や地域の人材及び地域資源の積極的な活用
- 校長のリーダーシップによる魅力ある学校づくりの推進
- 社会に開かれた教育課程による学校経営の充実

2. 確かな学力の育成 【主として知育】

- 「中学校区の2つの視点」に基づいた授業改善の質的向上の推進
- 「できた・わかった」を実感させる授業の在り方に関する研究推進
- 個の実態に応じた学習支援の在り方と授業づくりに関する取組に係る推進
- 家庭学習の量と質の向上に係る実践的取組の推進
- 調査研究の推進結果に基づいた組織的な学校区での授業交流及び全教員対象とした研修会の継続による「特定教科集対策事業」の充実
- 「特定教科集対策事業」の推進
- 児童生徒が英語に触れることができる機会の保障

3. 豊かな人間性の育成 【主として徳育】

- 豊かな感性を育み、命や思いやりを大切にする心の教育の推進
- 「特別の教科 道徳」に係る研修会の充実
- 郷土の歴史、文化及び自然の良さを見つめ直す機会の確保
- いじめ、問題行動、不登校等への迅速かつ組織的な対応の強化
- 個々の課題に応じた支援の充実
- P.T.A.等との連携による「ネット依存」の防止に向けた啓発活動の実施
- 組織的な推進体制による道徳教育の充実
- 生徒指導の機能を生かした教育活動及び学級経営の推進
- 発達段階に応じたキャリア教育活動の充実
- 若手の復興教育の充実
- 文化行事奨励事業の推進

4. 健やかな体の育成 【主として体育】

- 「遠野市における部活動の在り方に関する方針」による活動の充実
- 齧歯率と肥満傾向が高い現状を改善するための取組支援
- 体力及び運動能力の向上並びに健康教育の推進
- 児童生徒の永久歯の齧歯率の改善

5. 特別支援教育の充実 【主として知育】

- 特別支援学級新設校との連携による環境の整備
- 通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援のための体制整備
- 聞こえ及び言葉の障がいを持つ児童への指導の充実

- 「まなびフェースト」の設定
- 学校評価の実施
- 学校懇談会
- 教務主任会議
- 魅力ある学校づくり事業

- 指導主事の派遣
- 授業力向上のための「一人一授業」「相互研修」
- 外国語指導助手招へい事業
- 特定教科集対策事業
- 教育研究所事業
- ※

- 道徳地区公開講座
- JFAこころのプロジェクト
- 遠野わらすこ「夢の教室」
- 文化行事奨励事業
- 令和・南部藩寺子屋交流事業
- 生徒指導主事会議
- 遠野市いじめ防止等対策委員会

- 「遠野市における部活動の在り方に関する方針」の周知
- 部活動指導員の配置

- 特別支援教育支援員の配置
- 学習指導講師の配置
- 就学指導委員会
- 就学指導担当者会議

右記は、主として「第2次遠野市総合計画後期基本計画(令和3～7年度)事業要求書」掲載事業であること

学力向上対策事業費
特定教科集対策事業費

遠野わらすこ「夢の教室」事業費
令和・南部藩寺子屋交流事業費

学校教育事務費

特別支援教育推進事業費

2) 事業・具体的取組・関連事業等 全体像

知・徳・体のバランスのとれた人間形成と、ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成

「生きる力」の育成（学習指導要領の理念）

Table with 2 columns: Target (e.g., 確かな学力, 豊かな心) and Key Initiatives (e.g., 1) 学校経営の質的向上, 2) 確かな学力の育成, 5) 特別支援教育の充実, 3) 豊かな人間性の育成, 4) 健やかな体の育成).

学校に向けた具体的取組

Table detailing implementation measures across five categories: 1) Quality of School Management, 2) Solid Basic Academic Competence, 5) Enhancement of Special Support Education, 3) Cultivation of Rich Human Nature, and 4) Cultivation of Healthy Bodies.

取組の重点に関する指標等

Table listing key indicators and goals for the implementation measures, such as 'Number of students achieving high academic performance' and 'Development of community-based activities'.

岩手県教育委員会 (中部教育事業) 主な関連事業

Table listing related programs and organizations, including 'Sports and Cultural Activities Promotion Project' and 'Career Education'.

Ⅱ 主要事業

i 学校経営の質的向上

1 魅力ある学校づくり推進事業

(1) 目的

学校が、地域の特性や児童生徒の実態に応じて、創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。

(2) 内容

- ① 自然を愛し共生する心を育む学習の推進
- ② 「健やかに人が輝くまちづくり」に関する学習の推進
- ③ 「活力を創意で築くまちづくり」に関する学習の推進
- ④ 「ふるさとの文化の継承・創造」に関する学習の推進
- ⑤ 「みんなで考え支えあうまちづくり」に関する学習の推進

(3) 実施期日等

令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 学校懇談会（次年度の研究指定予定校）

(1) 目的

教育委員等が学校を訪問し、授業参観や施設見学等をとおして、学校の実態を把握するとともに、学校における教育上の諸問題について懇談し、教育活動の充実及び教育行政の推進に役立てる。

(2) 内容

授業参観、施設視察、懇談会

(3) 期日

令和5年 6月29日（木） 遠野中学校

令和5年 9月28日（木） 鱒沢小学校

令和5年 10月20日（金） 上郷小学校

(4) 出席者

教育長 教育委員 教育部長 学校教育課長 学校総務課長 当該校教職員 指導主事等

3 教務主任会議

(1) 目的

令和6年度の岩手県・遠野市の教育行政についての理解を深め、教育課程編成及び実施に役立てる。

(2) 内容

- ① 次年度の岩手県教育委員会、中部教育事務所、遠野市教育委員会事業について
- ② 教育課程の編成・年間計画について

(3) 期日 令和6年2月19日（月）13：30～16：30

(4) 会場 東館庁舎3階大会議室

(5) 対象 市内小中学校教務主任

ii 確かな学力の育成 [※]は教育研究所事業

1 授業力向上のための「一人一授業」 [※]
(1) 目的 学級担任、教科担任をもつ教師が1年に1度、原則として助言者を位置付けた研究授業を実施することにより、授業技術、教師としての資質向上を目指す。
(2) 取組内容 ・ 単元指導デザインシートを作成する。 ・ 単位時間における授業改善に終わらず、単元構想に基づく実践を推進する。
2 授業力向上のための「相互研修」(含 研究員部会) [※]
(1) 目的 校内での授業研究会等に他校の教員が参加することにより、授業実践交流会（公開研究会）などと同様に教員研修の場を広める機会を提供する。併せて、校内研修会の活性化の一助とする。
(2) 取組内容 ・ 校内研修会等を実施する期日、教科・単元、学年を学区内の各学校へ連絡する。 ・ 校長は、事業の趣旨を判断し、教員の校内研修会等への参加を奨励する。(計画的)
3 外国語指導助手招へい事業
(1) 目的 国際化の進展に対応し、次代に生きる日本人を育成するために、児童生徒の国際的視野を広げ、国際理解を深め、国際協調の精神を養うとともに、国際社会に貢献できる資質と能力の育成を図る。又、各国の文化を正しく理解し、互いに尊重し合うために外国語伝達能力の向上を図る。
(2) 勤務内容及び訪問計画 ① 勤務内容は、中学校英語及び小学校外国語活動の指導の助手を主とする。 ② 学級数に応じて訪問計画を立てることとする。
4 特定教科集中対策事業 [※]
特定教科支援員事業 (1) 目的 各種調査結果に基づき、特定の教科の授業において、教科担任を補助する役割として、学習支援員を配置し、形成的評価時・達成目標評価時に支援を要すると評価された生徒を支援することにより、授業において「わかった」という生徒を増やすことを目的とする。
(2) 内容 ・ 授業中の学習支援及び家庭学習における支援。
英検を活用した英語力向上事業 (1) 目的 英語力を客観的に計ることができる英語検定を利用し生徒一人ひとりが目標や目的意識をもって英語の学習に取り組めるようにすることを目的とする。
(2) 内容 ・ 中学校3年生の10月に行なわれる第2回の英検の受験費用を全額助成し全員が受験 ・ 英検3級受験対策学習会(3回) ※1次試験前(2回) 2次試験前(1回) ・ 中学1年生 英検 IBA (テストE)・中学2年生 英検 IBA (テストD)

5 ICTを活用した学習環境の整備 [※]

(1) 目的

国のGIGAスクール構想に基づき、学校でICTを活用するためのハード・ソフト・指導体制の環境を整えることで、子どもたち一人ひとりに個別最適化された学びを提供し、全ての児童生徒の学力向上を図る。

(2) 内容

- ・校内への高速大容量のネットワーク整備
- ・一人一台端末の整備
- ・ICT教育部会による活用方法等の検討・提案・収集

iii 豊かな人間性の育成

1 道徳地区公開講座

(1) 目的

保護者はもとより地域に広く道徳の授業を公開することを通して、道徳教育についての理解を得るとともに、道徳教育の要としての「道徳の時間」の充実を図る。

(2) 実施校

市内全小中学校

2 生徒指導主事会議

(1) 目的

生徒指導に関する情報交換及び指導に係る研修等により、市内の生徒指導の充実に資する。

(2) 期 日

（第1回生徒指導推進協議会 令和5年5月23日（火）13:30～14:30

生徒指導主事会議 令和5年6月19日（月）14:00～16:30

（第2回生徒指導推進協議会 令和5年11月9日（木）13:30～14:30

※ 生徒指導推進協議会の事前において実施

3 JFAこころのプロジェクト — 遠野わらすっこ「夢の教室」

(1) 目的

公益財団法人日本サッカー協会（JFA）によって運営されている「JFAこころのプロジェクト」を活用し、人格形成において重要な時期である小学校高学年の児童及び中学校の生徒が、指導講師（夢先生）の授業を通し、夢や目標を持ち、自律及び共同の精神や規範意識に基づき主体的に生きていく心情や態度等、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深めさせ、キャリア教育（人生設計力の育成）の一助とする。

(2) 令和5年度の実施校

遠野小学校（5学年） 遠野北小学校（5学年）

綾織小学校（5・6学年） 土淵小学校（5・6学年）

上郷小学校（5・6学年） 達曾部小学校（5・6学年）

※ 実施日は各校と協議の上決定

4 文化行事奨励事業

(1) 目的

各種文化行事を実施することにより、芸術に親しみながら感性や表現力を高めるとともに、作品制作を通して目標に向かって努力する心と向上心などを養い、もって心の教育の充実に資する。

(2) 内容

- ① 小中学校児童生徒作品展 : 令和5年12月21日(木)～令和6年1月12日(金)
※ 会場: 遠野市役所本庁舎1階
- ② 小中学校児童生徒文集 : 応募締切 令和5年10月26日(木) 予定

5 幼稚園・保育園・小学校交流研修会

(1) 目的

市内の幼稚園・保育園(所)・小学校の教職員が、授業や保育を参観し交流を深めることにより、それぞれの実態や改善点を理解し合い、幼・保・小の連携を深めるとともに、幼児期及び少年期の教育の充実に資する。

(2) 対象 遠野市内幼稚園・保育園(所)・小学校教職員

(3) 期日及び会場(各小学校区で主体的に実施する。)

6 令和・南部藩寺子屋交流事業

(1) 目的

根城南部氏の縁でつながる八戸市との児童交流を通じ、日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。

(2) 事業内容

- ① 交流事業 児童交流会等
- ② 派遣事業 表敬訪問、市内見学、児童交流会等

(3) 実施期日等

- ① 八戸市小学生使節団との交流事業(以下「交流事業」という。)
令和5年7月27日(木)～7月28日(金)(交流は27日(木))
- ② 遠野市少年使節団派遣事業(以下「派遣事業」という。)
令和5年8月3日(木)～8月4日(金)【1泊2日】

(4) 参加者

- ① 児童
遠野市内小学校5、6年生に在籍する児童とする。学校または地域におけるリーダー的存在であり、学校長の推薦を受けた者
- ② 令和5年度引率者
引率者 団長: 遠野小学校長、救護: 附馬牛小養護教諭、引率教諭: 遠野北小、土淵小

(5) 参加者数

小学生 26名(予定) 遠野小と遠野北小は男女2名ずつ、他の小学校は男女1名ずつ
引率教員 4名 教育委員会事務局員 2名

7 教育相談員による学校訪問 [※]

(1) 目的

市内各小中学校を訪問し、児童生徒等の状況について情報共有を図り、適切な支援・指導につなげる。

(2) 内容

- ・遠野市教育研究所 教育相談員 上野 晶美 による各校年間2回訪問
- ・対応は各小中学校副校長、訪問日は後日

iv 特別支援教育の充実

1 特別支援教育推進事業

(1) 特別支援教育支援員（19名）の配置

① 目的

通常学級に在籍している教育上特別の支援を必要とする児童生徒(以下「要支援児童生徒」という)に対して、学校生活上の介助、学習活動上の支援等を行う特別支援教育支援員を配置し、一人一人の教育的ニーズに応える。

② 内容

- ・要支援児童生徒の学校生活上の介助
- ・要支援児童生徒の学習活動上の支援
- ・その他目的達成のため所属長が必要と認めた事項で所属長の承認を得たもの

③ 配置校

遠野小3名、遠野北小3名、綾織小1名、小友小1名、附馬牛小1名、土淵小1名、青笹小1名、上郷小1名、宮守小1名、達曽部小1名、遠野中2名、遠野東中1名、遠野西中2名

(2) 学習指導講師（1名）の配置

① 目的

通常学級に在籍している教育上特別の支援を必要とする児童生徒(以下「要支援児童生徒」という)に対して、学習活動上の支援及び発達上の課題改善に向けた支援等を行う学習指導講師を配置し、一人一人の教育的ニーズに応える。

② 内容

- ・要支援児童生徒の学習活動上の支援
- ・要支援児童生徒の抱える発達上の課題改善に向けた支援
- ・その他目的達成のため所属長が必要と認めた事項

(3) 特別支援教育コーディネーター連絡会議

① 目的

各校の特別支援教育コーディネーターに対して、市の就学指導の流れを周知するとともに、支援を要する児童生徒への取組み、支援員の活用等、特別支援教育の推進について共通確認の場とする。

② 期 日 令和5年4月18日（火）15：30～16：30

2 就学指導委員会

(1) 目的

障がいのある児童生徒の適切な就学指導を推進するために、様々な分野の専門家が個々の児童生徒の障がいの種類や程度について調査や審議を行い、市教育委員会に対して助言を行う。

(2) 期 日

第1回遠野市就学指導委員会	令和5年 5月15日(月)	15：00～16：30
第2回遠野市就学指導委員会	令和5年10月17日(火)	13：30～16：30
第3回遠野市就学指導委員会	令和5年11月14日(火)	15：00～16：30
第4回遠野市就学指導委員会	令和6年 1月11日(木)	15：00～16：30

(3) 委 員

①医師 ②識見を有する者 ③関係教育機関の職員 ④関係行政機関の職員

(4) 調 査 員

遠野市立小中学校に在籍又は就学する児童生徒の適切な就学指導(支援)を行うために、専門的事項を調査することを目的として派遣する。

V 健やかな体の育成

1 部活動指導員

(1) 目的

遠野市立中学校において、中学校の教育計画に基づき、生徒の自主的、自発的な参加により行われるスポーツ、文化、科学等に関する教育活動である部活動の適切な指導体制を構築するとともに、校長の監督の下で部活動に関する技術的な指導を行うことにより、生徒の健全な体の育成に資するために部活動指導員をおく。

(2) 内容

部活動に関する技術的な指導を行うため、次に掲げる職務を行う。

- ① 実技指導に関すること。
- ② 安全・障がい予防に関すること。
- ③ 学校外での活動（大会及び練習試合等）の引率に関すること。
- ④ その他学校長が部活動指導のために必要と認めること。

(3) 配置校及び人数

遠野中学校 2名
遠野東中学校 1名
遠野西中学校 2名

2 部活動の地域移行（遠野市部活動検討委員会）

(1) 目的

公立中学校の運動部及び文化部活動の改革を検討するスポーツ庁並びに文化庁で公表した、令和7年度を目標に休日の部活動を地域のスポーツクラブ等に委ねる「地域移行」について、当市においても、公立中学校の部活動の望ましい環境を構築する観点から、学校における持続可能な部活動のあり方や、部活動の地域移行など子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を確保しつつ、部活動における教員の負担軽減も実現できる部活動のあり方を検討することを目的として、関係団体による検討委員会を設置し検討している。

(2) 今年度の取組について

部活動の地域移行においては、少子化等による社会背景の変化の中でも、子どもたちにとって、多様なスポーツ・文化活動が選択できる持続可能な活動の環境を整備していくことが何よりも大切。

そのため、現在、部活動の指導に関わっている部活動指導員や外部指導者だけでなく、指導を希望する教員、スポーツ・文化団体など、地域の様々な方に関わっていただくことが不可欠。

スポーツ・文化活動の実情によって様々な違いがある現状から、すべて同じように移行するというやり方ではなく、競技や地域の特性に応じて可能な範囲からできるものを実施していく。

学校部活動の地域移行については、受皿（連携）団体として考えている団体について、団体の意向をふまえ試行的に地域移行へ向けた体制を構築していく。

【遠野市 授業づくりスタンダード(R05)】

授業までに	<p>□ この時間にどんな力をつけるのかを明確にする。↔ 目標と評価規準の明確化</p> <p>※この時間は、児童生徒にとって何が出来る(分かる)ようになるるとよいのか、教師自身が一言で言い表せるよう 明確にしてから授業に臨む。</p> <p>□ 児童生徒同士が学び合う時間を構想する。 育成を目指す資質・能力(指導事項)を児童生徒の姿で具体化する。</p> <p>※児童生徒同士が学び合うためには、発問が大切である。 やってみたい、考えてみたいと思わせる発問を考えてみる。 (知識や経験のギャップ、必要感、驚きや疑問、学習者の自己選択、きっかけを生む資料提示)</p>
導入	<p>□ 何を考えるのか、何を学ぶのかを明確にした導入を心がける。 課題意識の持続(遠中区)</p> <p>(例)・単元の学びや前時までの学習と本時の学習を関連づける。 ・児童生徒の気付きや考え、興味・関心、知識や経験のギャップ、必要感、驚きや疑問、学習者の自己選択、きっかけを生む資料提示から問いを引き出していく。</p> <p style="text-align: center;">課題につなげる!</p> <p>いわでの授業づくり 視点1 学習の見通し をもたせる。 学習意欲の持続(東中区)</p> <p>(例)・課題解決に向けて、用いるもの(既習事項)や用い方(考え方)を確認し、児童生徒が、課題解決の方法や過程についての見通しをもてるようにする。 学習意欲の向上(西中区)</p>
学習過程・展開	<p>いわでの授業づくり 視点2 学習課題を解決するための学習活動 に取り組む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【児童生徒の学習活動例】</p> <p>□ 自分の考えをもつ。 【柱2】①</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを書き表す。 根拠となる部分にサイドラインを引く。 <p>※「書くことは考えること」</p> <p>言語活動の充実(西中区)</p> <p>□ 学び合う。 【柱2】③</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアやグループ、全体で考えたことを交流する。 <p>児童生徒が主体となる学び合い(東中区)</p> <p>※交流の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを出し合う。 ○同じ点、異なる点を比較する。 ○補足し、よりよい考えにする。 </div> <div style="width: 48%;"> <p>【教師の留意点】</p> <p>□ 一人一人の思考、つまずきを把握する。 【柱2】④</p> <ul style="list-style-type: none"> 机間指導では、一人一人の状況を確認しながら、称揚して自信をもたせる。 支援が必要な子には、既習内容に立ち返らせるなど、具体的な解決法を示す。 <p>達成状況の把握(遠中区)</p> <p>□ 発問(指示)を吟味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ発問は繰り返さない。 <p>□ 児童生徒が主体となる交流(対話)にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師は支援者として、発言をつなげるなど、学び合いをコーディネートする。 大事なことは児童生徒の気付きから引き出すようにする。 </div> </div> <p style="text-align: center; border: 1px dashed red; padding: 5px;">「主体的・対話的で深い学び」の実現</p> <p>□ 学習したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の課題をまとめ、「何ができるようになったのか、何がわかったのか」考える。 <p>□ 構造的な板書を心がける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1時間の学習の足跡を残す。 <p>□ 児童生徒の考え(発言)をもとにして、本時の課題をまとめる。(整合性を図ること)</p>
終	<p>□ まとめた考えを活用して個人で問題に取り組む。 達成状況の把握(遠中区)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人でできるかやってみる。 できないとき、分からない時は質問して、できるまで、わかるまでやってみる。 自分の言葉で言い表す、書き表す。 <p>□ 最後は、個人で問題に取り組みせ、児童生徒一人一人に、「できた」「わかった」を実感させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> <p>この問題が一人でできるようになったよ！ 〇〇になるには、〇〇だったからね。理由がよくわかったわ！</p> </div>
末	<p>いわでの授業づくり 視点3 学習の振り返り をさせる。 【柱2】② ※自分の言葉で記述したり、発表したりすることが大切。</p> <p>(振り返りの視点例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【学習方法】どんな学び方(学習方法、プロセス、他者の考え)をしたか ・【学習内容】何を学んだか(できた、分かった、できなかった) ・【学ぶ態度】自分の変容(粘り強さ、試行錯誤、興味・関心、充実感、達成感) <p>※教師は、振り返りを意図的に次時の授業にいかす。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #fff9c4;"> <p>授業でできたことを、家庭学習でやってみよう。明日の問題にもチャレンジしてみようかな。</p> </div>

【柱2】⑤

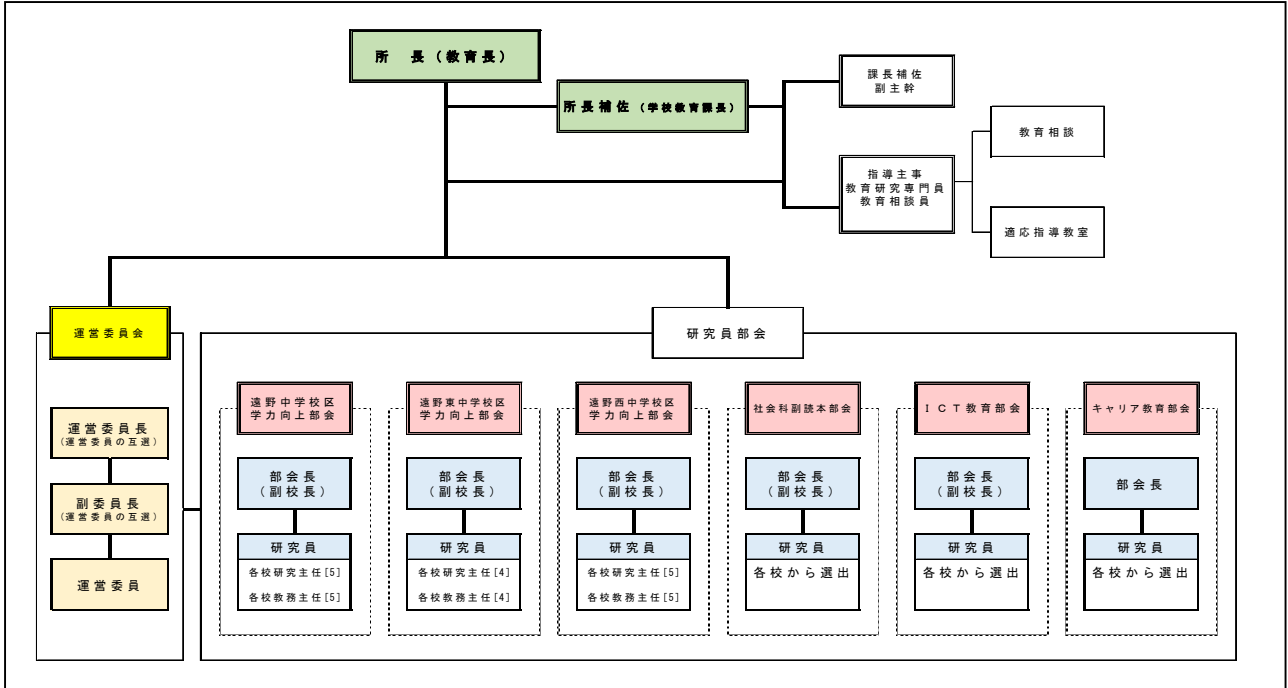
□ 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出し、学習内容の確実に定着させる。

(3) 遠野市教育研究所

1 目 的

遠野市学校教育の諸問題について調査・研究し、その成果を教育研究発表会や教育研究所の諸事業で発表することにより、本市学校教育の向上に資する。また、他地区教育研究所との情報交換を通して教育研究についての研修を深める。

2 教育研究所組織図



研 究 推 進	学力向上対策会議	学力向上対策会議（年2回開催）
	研究員部会	各中学校区学力向上部会 （年4回開催：中学校区ごと3回、一斉1回） 社会科副読本部会 ※R5は部会設置無し ICT教育部会（年3回程度開催） キャリア教育部会（年3回程度開催）
	研究発表会等	全体研修会 教育研究発表会 市内環境・科学研究発表会
	教育研究指定校 （主任）指導主事	毎年度各中学校区から2校研究指定（1校実践交流会） 校内研等学校訪問による指導・助言等
	学力実態調査	標準学力検査（NRT）及び知能検査の実施 ・N R T：小学校2年生～中学校3年生対象 ・知能検査：小学校2、4、6年、中学校2年対象
	先進校視察研修	研究員部会の研究員等を派遣
教 育 相 談	まごころ教育相談	教育上の問題点や悩みの相談 学校不適応児童生徒の支援
	適応指導教室	不登校児童生徒の学校復帰支援
事 務 局	事務局	予算・決算、連絡・調整 運営委員会等の資料準備 他の研究機関との連携

【令和5年度の事業予定について】

1 学力実態調査(知能検査・標準学力検査)

- (1) 目的：個々の学力の実態を把握して、年間を通じて、個に応じた学習支援・指導の資料とする。
- (2) 実施期間：令和5年4月10日(月)～5月2日(火)
- (3) 対象：小2～小5(国語 算数)
- (4) 内容：小6～中1(国語 算数・数学 社会 理科)
中2～中3(国語 社会 数学 理科 英語)
小2、小4、小6、中2(知能検査)
- (5) その他
 - ・標準学力検査と知能検査でバッテリーを組み、個々の学力を義務教育期間、継続して把握する。
 - ・中学校進学時に引継ぎを確実にを行うこと。

まちづくり指標	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
小学校標準学力検査偏差値	53.9	53.9	52.1	52.1	52.2	52.2	52.3
(実数値)	51.2	50.8	50.1	49.5			
中学校標準学力検査偏差値	48.6	48.6	48.8	48.8	48.9	48.9	49.0
(実数値)	48.8	47.8	48.6	48.1			

【みんなで取り組むまちづくり指標】(第2次遠野市総合計画 後期基本計画)

2 特定教科集中対策事業

- (1) 中学校数学の個別支援を行う。各中学校へ1名ずつ配置予定。
- (2) 遠野市中学生英語検定支援
 - ・中学校3年生に対する実用英語技能検定受検料の全額助成(1回分)
 - ・英検3級受験対策学習会の設定(3回)※4級対策は実施しない
1次試験前に2回、2次試験前に1回を予定。
 - ① 令和5年8月26日(土) ② 令和5年9月18日(月)
 - ③ 令和5年10月28日(土)(2次対策)
 - ※会場は東館庁舎3階大会議室
 - ・英検I B Aの実施(2月下旬頃に実施)
 - ① 中学校2年生：英検I B A(テストD)(英検3～5級程度)
 - ② 中学校1年生：英検I B A(テストE)(英検4～5級程度)

3 運営委員会・各部会

- (1) 運営委員会
 - ・運営委員長1名(校長)、中学校区運営委員3名(校長)
ICT教育部会、キャリア教育部会運営委員各1名(校長)
 - <R5年度の運営委員>
運営委員長→中学校長による輪番(R3:西中 R4:遠中 R5:東中)
副委員長→各中学校区による輪番(R3:遠中学区 R4:東中学区 R5:西中学区)
運営委員→次年度(R6)公開校長：附馬牛小、青笹小、宮守小
ICT教育部会：土淵小校長 キャリア教育部会：遠野小校長

- ・年3回会議を実施
 - ①令和5年 4月18日（火）9：00～10：30
 - ・事業及び運営について
 - ②令和5年11月13日（月）9：00～10：30
 - ・各中学校区の学力向上の取組について中間総括
 - ・課題や改善点についての協議
 - ③令和6年 2月22日（木）9：00～10：30
 - ・年間の取組についての総括
 - ・次年度の方向性の確認

（2）学力向上研究員部会

- ・令和5年度の組織

遠野中学校区	：運営委員	附馬牛小校長
	部会長	綾織小副校長
	研究員	遠野中学校区各校研究主任
遠野東中学校区	：運営委員	青笹小校長
	部会長	遠野東中副校長
	研究員	遠野東中学校区各校研究主任
遠野西中学校区	：運営委員	宮守小校長
	部会長	小友小副校長
	研究員	遠野西中学校区各校研究主任
- ・部会長会議 令和5年 4月18日（火）9：00～10：30
 - ※第1回運営委員会との合同会議として開催。
- ・年4回の部会
 - ※（概要版）の項目に沿って、部会を進めていく。
 - ①第1回授業交流会 実施時（中学校区ごとの設定） ※交流会会場校
 - ・学区2つの視点、目指す授業像、重点取組の確認
 - ・本学区の課題について確認
 - ・学校の組織的な取組についての交流
 - ・次回日程の確認と校内研日程の交流
 - ②第2回授業交流会 実施時（中学校区ごとの設定） ※交流会会場校
 - ・NRTの結果を踏まえ、学区の課題の見直し
 - ・ここまでの実践で明らかになったことの交流
 - ・「UAをゼロに！」取組についての交流
 - ・学区アンケートについての協議
 - ③令和5年11月17日（金）14：00～16：40 ※一斉会場開催
 - ・今年度の成果と課題を検討
 - ・ここまでの実践で明らかになったことの中間総括
 - ・諸調査結果の分析
 - ・課題解決のための具体的取組についての協議
 - ・教育研究発表会に向けた役割分担及び作業
 - ④令和5年12月25日（月） ※部会長所属校
 - ・今年度の成果と課題をまとめる
 - ・次年度の方向性をまとめる
 - ・諸調査結果の考察
 - ・教育研究発表会に向けた準備

(3) 社会科副読本部会

- ・R5 は部会を設置しない

(4) ICT教育部会

- ・令和5年度の組織
運営委員：土淵小校長 部会長：達曾部小副校長 研究員：6名
- ・令和5年度の主な活動予定
ICT利活用の具体検討・提案
実践事例の収集と蓄積
- ・年3回程度の活動

(5) キャリア教育部会

- ・令和5年度の組織
運営委員（兼部会長）：遠野小校長 研究員：小中高副校長8名
- ・令和5年度の主な活動予定
キャリアパスポート活用状況の共有・推進
地域との協働によるふるさと教育の推進
小小連携、小中連携、中高連携事例の積み上げ
- ・年3回（4・7・12月）の活動

※ 各部会とも内容と回数を吟味したうえで実施する。
場合によってはオンラインでの実施も検討する。

4 学力向上対策会議

- ・運営委員（第1回のみ）、部会長、学力向上研究員に教務主任を加えての会議。
①令和5年4月24日（月）13：30～16：30
 - ・今年度の授業改善の進め方について、研究主任とともに共通確認する。
 - ・昨年度の諸調査の状況について確認し、課題の焦点化を図る。
 - ・中学校区取組（授業改善2つの視点、授業交流会）について確認、計画する。
- ②令和6年2月13日（火）13：30～16：30
 - ・今年度の総括と次年度の取組について協議する。

5 中学校区部会ごとの授業交流会

(1) 開催期日及び会場

授業交流会・遠野中学校区	①	5月24日（水）	遠野中学校
	②	9月～10月	各小中学校（拡大研究会）
授業交流会・遠野東中学校区	①	6月1日（木）	遠野東中学校
	②	9月5日（火）	青笹小学校
授業交流会・遠野西中学校区	①	5月25日（木）	遠野西中学校
	②	11月10日（金）	鱒沢小学校

(2) 内容

- ・各中学校区で定めた授業改善のための「2つの視点」に基づく授業研究会

6 授業力向上のための「一人一授業」

- ・学級担任、教科担任をもつ教師が1年に1度、原則として助言者（校長、副校長でも可）を位置付けた研究授業を実施する。
 ※実施後は様式（単元指導デザインシート）を随時指定フォルダに提出。（最終は2月中旬まで。全員が格納したことを確認し、研究主任は事務局に報告）
 ※活用について、学力向上対策会議等で周知し、各校において共通理解を図る。

7 教育研究発表会

- ・令和6年1月10日（水）13：20～16：45
- ・全体会と分科会で構成する予定。
 前半（全体会）：各中学校区学力向上取組の発表、他2部会の報告 等
 後半（分科会）：中学校区ごとに今年度の研究のまとめ等の意見交流

8 教育研究指定校

- ・2年目（公開）：遠野北小学校（算）、達曾部小学校（社、生）
- ・1年目：附馬牛小学校、青笹小学校、宮守小学校
- ※指定校連絡協議会 令和5年5月8日（月） 15：00～16：30

【研究指定校一覧】

遠野中学校区	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09
研究指定校(1年目)	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小
研究指定校(公開校)	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小
運営委員(校長)	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小
部会長(副校長)	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小

遠野東中学校区	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09
研究指定校(1年目)	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	
研究指定校(公開校)		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中
運営委員(校長)	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	①	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	③
部会長(副校長)	遠野東中		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	②	青笹小	上郷小	土淵小

遠野西中学校区	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09
研究指定校(1年目)	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小
研究指定校(公開校)	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小
運営委員(校長)	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小
部会長(副校長)	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中

- ◎ 部会長は、研究指定校（2年目）の副校長が翌年度担当することを原則とする。
 → 前年度の公開課題を当該年度の研究員に伝えることができ、課題解決の連続性が図られる。
- ◎ 運営委員は、研究指定校（1年目）の校長が当該年度担当することを原則とする。
- ◎ 遠野東中学校区は、学校数が4校であるため、授業実践交流会を実施しない年度がある。
- ◎ 表中の①②③を担当する学校は、当該学校間で協議して決定する。

9 指導主事、アドバイザーの派遣

- ・校内研等学校訪問による指導、助言
※講義等も対応。
※個別指導（授業参観、教材研究等）も対応。
- ・「遠野市指導力パワーアップ講座アドバイザー」（市内指導教諭及び専門的知見や優れた指導技術をもつ教諭等）の積極的活用

10 環境・科学研究発表会

- ・令和6年2月3日（土）9：00～12：00
- ・市教研理科部会に後援依頼。（運営委員の推薦、部会の運営）
- ・環境・科学発表会運営委員会議 令和6年1月30日（火）15：30～16：30

11 先進校視察研修

- ・中学校区ごとに同一の視察先を選定し、令和6年2月までに実施。
（1日又は1泊2日）

	遠野中学校区	遠野東中学校区	遠野西中学校区
H28	【3中学校区合同】秋田県東成瀬村の小中学校		
H29	青森県八戸市の小中学校	【2中学校区合同】秋田県横手市の小中学校	
H30	【3中学校区合同】岩手町立一方井小学校・一方井中学校 学校公開研究会		
R01	宮古市立千徳小学校 宮古市立宮古西中学校	【2中学校区合同】 秋田県大館市立南小学校 大館市立南中学校	
R02	なし	なし	なし
R03	なし	なし	なし
R04	なし	なし	なし

- ・旅費は、市教委から支出。
※視察先の具体的選定(候補)、視察先との連絡調整等については市教委事務局で対応する。（詳細は、要項に記載）

12 教育研究所全体研修会

- ・令和5年7月26日（水）14：00～16：00
- ・分科会及び講師：講師について内諾済
分科会：①道徳 ②復興教育 ③特別支援教育 ④教育相談 ⑤言語活動

13 教育相談員の配置（中学校配置）・（教育研究所配置）

- ・中学校配置：各1名配置
- ・教育研究所：上野晶美教育相談員

14 ジョイントスクール（遠野市教育支援センター）の開設

- ・様々な理由で学校に通うことが出来ない児童生徒を対象に、教育相談や学習指導を行うジョイントスクール（遠野市教室支援センター）を中学校区毎に開設。
- ・遠野中学校区（かりん教室）、遠野東中学校区（しらかば教室）、遠野西中学校区（ぎんが教室）にジョイントスクール支援員を配置し、不登校児童生徒の学校復帰を支援。

15 読解力向上プロジェクト

- ・新聞教材を活用したワークシートに取り組み、児童生徒の読解力向上を図る。
- ・活用教材 「よむ YOMU ワークシート」
- ・対象学年 小学校5、6年生（4年生の実施も可）、中学校1、2、3年生
- ・取組実施期間 令和5年4月から令和6年2月頃まで

16 教員の資質向上のための学習会

- ・教職の専門性の維持向上及び教員として必要な能力や資質を高めるため、現職研修の機会として学習会を行う。
- ・6月～12月までに、4回程度実施する予定。
- ・内容は、「特別支援教育」「学級づくり」「授業づくり」「複式指導」などで調整中。

(4) 学校保健

① 学校保健関係事業

児童・生徒の健康

- ・児童・生徒の健康診断（年1回）
- ・生活習慣病予防健診（小4、中1）
- ・尿検査（年1回）
- ・貧血検査（中1、中2）
- ・脊柱側弯検査（小5、中1）
- ・心臓検診（小1、小4、中1）
- ・就学時健康診断（入学予定者）
- ・全児童・生徒（希望者）を対象としたフッ素化合物洗口（週1回）

② 児童生徒の身長・体重の平均値（男女別・年齢別、県・全国との比較）

性別	年齢	身長			体重				
		人数	遠野市 (R4)	岩手県 (R3)	全国 (R3)	人数	遠野市 (R4)	岩手県 (R3)	全国 (R3)
男子平均	6	80	117.8	117.2	116.7	80	22.2	22.2	21.7
	7	61	123.7	123.2	122.6	61	25.1	25.2	24.5
	8	95	129.7	129.2	128.3	95	28.5	29.4	27.7
	9	94	134.6	134.2	133.8	94	33.6	32.2	31.3
	10	91	139.7	139.9	139.3	91	37.4	36.1	35.1
	11	97	147.1	147.2	145.9	97	42.8	41.9	39.6
	12	102	153.5	153.6	153.6	102	47.5	45.9	45.2
	13	111	159.8	160.6	160.6	111	51.3	50.3	50.0
	14	99	166.0	166.2	165.7	99	58.7	56.8	54.7
女子平均	6	71	116.8	116.8	115.8	71	21.6	22.2	21.2
	7	83	122.7	122.5	121.8	83	25.7	25.0	23.9
	8	95	129.0	128.1	127.6	95	28.4	27.3	27.0
	9	89	135.2	134.7	134.1	89	30.9	32.0	30.6
	10	85	141.5	142.0	140.9	85	36.8	36.6	35.0
	11	88	148.9	147.9	147.3	88	43.1	41.3	39.8
	12	88	152.3	152.1	152.1	88	46.2	45.5	44.4
	13	88	154.9	155.4	155.0	88	47.5	49.1	47.6
	14	83	155.5	156.5	156.5	83	52.2	51.6	50.0

③ 令和5年度 学校医師及び学校薬剤師分担表

(令和5年4月1日現在)

学 校 名		学 校 医 師				学校薬剤師
		内 科	耳鼻咽喉科	眼 科	歯 科	
小 学 校	遠 野	熊坂康二	遠野病院と 委託契約	宮本博之	田中勝	奥寺徹
	遠野北	守口尚	同 上	同 上	打越岳	奥寺徹
	綾 織	千葉純子	同 上	同 上	佐藤圭士郎	菊池佳代
	小 友	大野和範	同 上	同 上	深澤範子	菊池優子
	附馬牛	高橋倫子	同 上	同 上	飯高哲	奥寺徹
	土 淵	川上格	同 上	同 上	佐々木慶子	田中博子
	青 笹	熊坂幸絵	同 上	同 上	田中昭彦	田中博子
	上 郷	山口淳	同 上	同 上	沼崎琢也	田中博子
	宮 守	柏原紀文	同 上	同 上	深澤範子	谷地千明
	鱒 沢	柏原紀文	同 上	同 上	深澤範子	菊池優子
達曾部	柏原紀文	同 上	同 上	柏原宏則	谷地千明	
中 学 校	遠 野	菊池俊彦	同 上	同 上	田中昭彦 佐藤圭士郎	奥寺徹
	遠野東	川上格	同 上	同 上	田中俊	田中博子
	遠野西	柏原紀文	同 上	同 上	深澤範子	菊池優子

(5) 奨学資金

①制度の目的

教育の機会均等の精神に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学が困難である方に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。

②奨学生の資格等

遠野市に住所を有する方の子弟で、高等学校、大学又はこれと同程度の学校に入学を予定している、又は在学している優秀な学生であって、経済的事由により修学が困難と認められる者

③奨学金の貸与額

ア 高等学校又はこれと同程度の学校に在学する者 月額15,000円以内

イ 大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者 月額40,000円以内

④奨学金の貸与期間

正規の修学期間とする。ただし、休学した期間については貸与しない。

⑤奨学金の返還

貸与期間が満了し、又は貸与を廃止した月の翌月から起算して6月を経過した月から15年以内に返還するものとする。

⑥貸与実績

(単位 人)

年度	申請者数			貸与決定者数		
	大学生等	高校生	計	大学生等	高校生	計
H24	39	0	39	31	0	31
H25	31	0	31	31	0	31
H26	28	0	28	28	0	28
H27	31	5	36	31	5	36
H28	23	4	27	23	4	27
H29	20	3	23	20	3	23
H30	25	1	26	25	1	26
R元	28	3	31	28	3	31
R 2	19	1	20	19	1	20
R 3	15	0	15	15	0	15
R 4	18	0	18	18	0	18

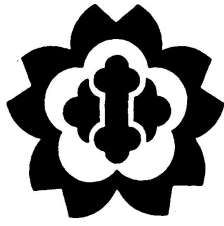
(6) 学校一覧

令和5年5月調べ 注：()内は特別支援学級再掲

学校名	学級数	児童数 (人)	所在地	電話	創立年月	校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)				屋内運動場(㎡)		屋外運動場 (㎡)		教室数(室)			プール(㎡)	
							鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	計	面積	構造	面積	構造	普通	特別	計	面積	構造
遠野小学校	13(3)	239(7)	遠野市東館町11-28	62-3231	明治6年5月	25,669	5,340			5,340	1,092	木造	14,588	16	19	35	325	RC	
遠野北小学校	12(2)	248(8)	遠野市松崎町白岩字薬研淵43	62-2030	昭和46年4月	21,069	3,263	147	276	3,686	1,273	木造	8,948	12	16	28	400	AL	
綾織小学校	6(2)	49(3)	遠野市綾織町下綾織13-13-5	62-2803	明治6年12月	19,039			2,348	2,348	860	鉄骨造	9,003	8	8	16	400	ST	
小友小学校	5(2)	30(3)	遠野市小友町16-133	68-2220	明治7年12月	18,652	1,854	34		1,888	715	鉄骨造	9,693	5	8	13	400	ST上屋有	
附馬牛小学校	4(1)	32(1)	遠野市附馬牛町下附馬牛11-43-1	64-2220	明治7年10月	17,307	206		1,351	1,557	861	鉄筋コンクリート造	10,424	4	9	13	350	AL上屋有	
土淵小学校	8(2)	74(3)	遠野市土淵町土淵6-1	62-2804	明治10年10月	24,269	2,316	64	14	2,394	699	鉄骨造	11,427	8	9	17	350	AL	
青笹小学校	8(2)	132(5)	遠野市青笹町青笹11-1	62-2802	明治8年2月	24,705			2,936	2,936	890	鉄筋コンクリート造	10,354	8	9	17	350	AL上屋有	
上郷小学校	7(2)	45(2)	遠野市上郷町佐比内46-56-1	65-2031	明治7年11月	17,127			3,107	3,107	900	木造	9,995	7	10	17	350	AL	
宮守小学校	8(2)	68(3)	遠野市宮守町下宮守26-6	67-2135	明治7年	20,363	2,422	64	42	2,528	711	鉄筋コンクリート造	5,462	8	8	16	350	ST	
達曽部小学校	5(1)	42(2)	遠野市宮守町達曽部15-10	67-6133	明治7年	32,083	886		1,474	2,360	600	鉄骨造	15,245	5	8	13	400	RC	
鱒沢小学校	3(0)	14(0)	遠野市宮守町下鱒沢17-5	66-2270	明治7年	15,491	1,354	40		1,394	708	鉄骨造	6,602	3	7	10	425	RC	
計		973(37)				235,774	17,641	349	11,548	29,538	9,309		111,741	84	111	195	4,100		
学校名	学級数	生徒数 (人)	所在地	電話	創立年月	校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)				屋内運動場(㎡)		屋外運動場 (㎡)		教室数(室)			プール(㎡)	
							鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造	計	面積	構造	面積	構造	普通	特別	計	面積	構造
遠野中学校	15(4)	343(15)	遠野市松崎町白岩11-30	62-2814	平成25年4月	42,638	3,456		2,202	5,658	1,738	鉄筋コンクリート造	18,814	16	14	30	400	RC	
遠野東中学校	8(2)	134(8)	遠野市青笹町青笹10-16	62-2816	平成25年4月	30,353	485		2,033	2,518	854	木造	25,111	8	9	17	325	ST	
遠野西中学校	6(2)	99(5)	遠野市宮守町下宮守39-65	67-2139	平成25年4月	30,104	2,779	375	10	3,164	975	鉄骨造	14,385	6	12	18	325	ST	
計		576(28)				103,095	6,720	375	4,245	11,340	3,567		58,310	30	35	65	1,050		

※ 青笹小学校及び遠野中学校の屋内運動場の面積は、地域学校連携施設分の面積を含む。

(7) 市立小・中学校、県立高等学校要覧 ※ 児童生徒数、職員数は令和5年5月1日現在。



遠野市立 遠野小学校

所在地 〒028-0515 遠野市東館町11-28
電話 0198-62-3231 FAX 0198-62-8922

校長 佐々木 美 紀 児童数 239名
副校長 及 川 雅 洋 職員数 26名

●主な沿革

明治6年 瑞応院に横田村第一小学校として創設
昭和23年 遠野小学校と改称
昭和36年 遠野東小学校が分離創設
昭和43年 遠野東小学校火災
昭和44年 遠野小学校と遠野東小学校が名目統合
昭和45年 新校舎に引っ越し
昭和46年 遠野北小学校設置に伴い、一部名目分離、
遠野北小学校遠野校舎を設置
昭和48年 遠野北小学校遠野校舎が廃止
遠野北小学校として分離
遠野小学校創立百周年記念式典挙行
昭和49年 ことばの教室開設
昭和57年 全校音楽集会活動「遠野の里の物語」発表
昭和58年 きこえの教室開設
昭和62年 情緒障害児学級開設
平成4年 遠野小学校創立120周年記念式典挙行
平成5年 校舎大規模改造事業開始
平成8年 校舎大規模改造事業完成
平成13年 西体育館解体
ことばの教室増設（通級）
平成14年 遠野小学校創立130周年並びに全校表現活
動20周年記念講演会開催
平成16年 東体育館屋根修理
平成18年 全校表現活動25周年
平成19年 岩手県立花巻養護学校（現・岩手県立花巻
清風支援学校）分教室開室
平成21年 特別支援学級増設（自閉症・情緒障がい）
耐震化工事完成
平成22年 全校表現活動 県芸術祭開幕フェスティバルで発表
平成23年 全校表現活動 文化による復興シンポジウムin東京
全校表現活動30周年
平成24年 体育館完成
平成28年 特別支援学級増設（聴覚障がい）
平成29年 遠野小森林愛護少年団発足
平成30年 全校表現活動市民センター大ホール発表
令和3年 全校表現活動「遠野の里の物語」
第40回記念発表会
令和4年 創立150周年記念事業実行委員会設立

●地域の状況

本校は、遠野市の行政、文化関連施設のある中心市街地に位置している。

学区は商業住宅地域であるが、中心地域の児童数が減少。宅地整備に伴い南側地域の児童数が増加してきている。父母や地域住民の教育に対する理解と関心が高い。遠野町地域教育協議会など各種団体や地区に支えられている。

町民運動会、河川一斉清掃、遠野まつり、地区子ども会等への参加を通して、子ども達は地域の中で育てられている。

●教育目標

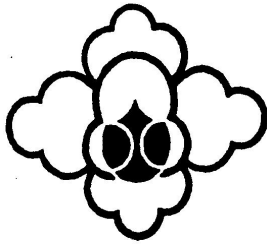
- 1 本気で自ら学ぶ子ども（知育）
- 2 心豊かでやさしい子ども（徳育）
- 3 たくましく丈夫な子ども（体育）

●本年度の研究主題

「児童が自ら学び、達成感をもてる授業」
—国語科・算数科における、主体的に学び合う学習活動の工夫を通して—

●魅力ある教育活動

- 1 郷土に対する誇りと自信を育て、国語科・音楽科・体育科・総合学習で培った力を集結した全校表現活動「遠野の里の物語」の展開
- 2 「いきいきタイム」を活用した多様な活動
・集会活動
・全校表現活動
・パワーアップテスト（国語・算数）等の学力向上
- 3 花巻清風支援学校遠野分教室との交流
・学習や学校行事での交流（運動会・学習発表会・修学旅行・宿泊学習）
・休み時間・児童会活動の交流
- 4 体力向上をめざした取組
・運動会での高学年リズムなわとび
・体力向上運動「チャレラン」



遠野市立 遠野北小学校

所在地 〒028-0541 遠野市松崎町白岩字薬研淵43
電話 0198-62-2030 FAX 0198-62-2031

校長 浅沼 寿典 児童数 248名
副校長 八幡 ますみ 職員数 31名

●主な沿革

- 昭和46年 遠野市立遠野北小学校名目統合（松崎・駒木・遠野校舎）
- 昭和47年 校舎新築工事竣工
- 昭和48年 屋内体育館竣工・校庭整備完了
- 昭和53年 プール並びに白岩児童館落成式
- 昭和55年 校舎増築工事（4教室）竣工
開校10周年記念式典（校旗・校章旗披露）
- 昭和56年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
- 平成2年 文部省指定「社会科」学校公開
開校20周年記念式典（薬研太鼓編成・緞帳設置他）
- 平成7年 ことばの教室開設
- 平成9年 コンピュータ室設置
遠野市教育委員会指定「社会科・生活科」学校公開
- 平成12年 創立30周年記念式典（薬研沼造成）
- 平成14年 岩手県教育委員会・遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
- 平成15年 交通安全優良校として全国表彰受賞
- 平成16年 学力向上フロンティアスクールとして学校公開
- 平成20年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
校舎改造工事竣工
- 平成21年 プール・体育館完成
- 平成22年 太陽光パネル発電設備・多目的ホール棟完成・屋外環境整備工事完成
情緒障がい児学級開設
創立40周年記念式典・教育環境整備完成
- 平成23年 職員室拡張工事・給食搬入口移設工事・薬研沼移設工事等完成
- 平成24年 ことばの教室開設20周年記念式典
- 平成25年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
岩手県算数教育研究大会会場校
岩手ユネスコ賞文化賞受賞「薬研太鼓」
- 平成27年 優良少年消防クラブ消防庁長官受賞
再生可能エネルギー等設備設置工事完成
- 平成28年 岩手県交通安全模範校表彰
- 平成30年 特に優良な少年消防クラブ 総務大臣賞受賞
遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
- 平成31年 病弱学級開設
- 令和2年 創立50周年記念式典・教育環境整備完成
- 令和4年 「検証改善サイクルモデル校」指定（～R5）
- 令和5年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開

●地域の状況

本校は、早瀬川の北寄りから清流猿ヶ石川に沿った遠野盆地の中央に位置し、松崎町全域と遠野第12区、第13区を学区としている。バイパスの開通に伴い、住宅化と商業地域としての再開発が進み、ますます市街化が拡大している。

文化的には、横田城跡、松崎観音、母也神社など遠野物語にまつわる史跡も多く、訪れる人も多い。

本校は、昭和46年、遠野小学校の一部と松崎小学校、駒木小学校の3校の統合により設置され、令和2年に創立50周年を迎えた。

地域住民、保護者の教育に対する理解と関心が高い地域である。

●教育目標

『豊かな心を持ち 心身ともに健康な子ども』の育成

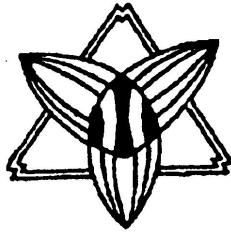
- ・よく学びよく考える子ども
- ・明るく思いやりのある子ども
- ・心身ともに健康な子ども
- ・進んで仕事をする子ども

●本年度の研究主題

自分の考えをもち表現する児童の学びをめざして
～算数科における授業改善を通して～

●特色ある教育活動

- 1 目指したい資質能力を明確にした授業改善
(1) 互見授業や読解力向上の取組の実践
(2) GIGAスクール構想の実現
(3) 地域教材を生かしたふるさと学習の充実
- 2 豊かな人間性を育てる心の教育の充実
(1) 基本的な生活習慣の確立（挨拶・言葉遣い等）
(2) 学校不適應への組織的な対応と共通理解
- 3 薬研太鼓を中心とした表現力を高める教育活動の推進
- 4 たくましい心身を育てる健康教育の充実
- 5 自主性・主体性を育む教育の充実
- 6 学校運営協議会の機能を生かした地域連携



遠野市立 綾織小学校

所在地 〒028-0532 遠野市綾織町下綾織13-13-5
電 話 0198-62-2803 FAX 0198-62-2803

校 長 菊 池 国 子 児童数 49名
副校長 松 浦 英 明 職員数 14名

●主な沿革

- 明治6年 光明寺庫裡に綾織小学校開校
明治45年 綾織尋常小学校校舎、新崎尋常小学校校舎、山口尋常小学校校舎改築落成式を3校合同で挙げる
大正6年 綾織尋常小学校となる
昭和13年 綾織、新崎、山口の3校を合併し、綾織尋常小学校と称する
昭和22年 綾織小学校と改称、綾織中学校を創設し、本校内に併置
昭和28年 小学校創立80周年記念式典を挙げる
昭和33年 校歌制定式典を挙げる
多田邦子作詞、千葉了道作曲
昭和38年 学校プール完成
昭和42年 若竹鼓笛隊結成
昭和47年 新校舎に移転完了、校舎鉄筋2階建屋内体育館完成、落成式、校章制定
昭和48年 創立100周年記念式典並びに祝賀会、記念誌発行、記念造園を実施
平成5年 綾織小学校創立120周年並びにプール落成記念式典及び祝賀会を挙げる
平成10年 コンピュータ室設置
平成14年 校歌碑建立
平成16年 運動大好き岩手っ子育成事業実践校県指定文科省「体力向上実践校」指定
平成17年 岩手県学校安全優良校賞受賞（県教委）
平成21年 校舎改築工事開始
平成22年 新校舎完成
平成23年 校舎供用開始、落成記念式典挙げる
平成24年 市教委指定学校公開研究会「国語科」
平成25年 多年にわたる「水生生物による水質調査」に感謝状（県）
旧綾織中学校校舎を小学校特別教室に改造
平成27年 特別支援教育学級を設置
平成28年 石上の園20周年 本校への感謝状受賞
プール床塗装工事
平成29年 市教委指定学校公開研究会「算数科」
岩手県よい歯の学校表彰「優良校」
令和2年 特別支援学級開設（知的1、情緒1）
令和3年 情報通信ネットワーク環境整備工事終了
県P連よりPTA団体表彰受賞
令和4年 市教委指定学校公開研究会「算数科」

●地域の状況

綾織町は、遠野盆地の西部に位置し、南部及び北部、西部と山地に囲まれている。中央部の平野は水田として開け、米が主要産物となっている。

最近では兼業農家が大半であるが、国道283号沿いの道の駅「風の丘」では、地元農家の野菜直売が人気を集めている。「遠野物語」に関わる観光名所も多く、縄文後期の遺跡も注目されている。

各家庭は共稼ぎが多く、ほとんどの児童が下校後は児童館で過ごす。保護者の学校への協力がとても良く、学校行事や参観日、PTA作業などには、ほぼ全家庭が参加する。

●教育目標

豊かな心を持ち、自ら学び続けるたくましい子ども

○心をあわせすすむ子ども [やさしく]

○すすんで勉強する子ども [かしこく]

○たくましく生きる子ども [たくましく]

●本年度の研究主題

「自分ごととして学びをとらえ、
学び続ける子どもを目指して」
～主体的に思考し、表現する力を高める
算数科の授業づくり～

●特色ある教育活動

◇地域に根ざした「ふるさと綾織学習」

① 水生生物調査…環境学習/居住地の汚染調査

② さき織り…地域人材活用

/タペストリーの制作

③ 子ども語り部/昔話を題材とした表現活動

④ 交流学習/石上の園、祖父母との交流

⑤ 農業体験学習/勤労体験（畑の作物）

⑥ ふるさと地域探訪学習/遠足、地域探検

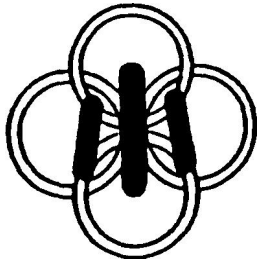
⑦ 郷土料理学習/郷土料理の学習と調理

⑧ 復興学習/遠野市の後方支援、綾織の支援

◇ 徳・知・体のバランスのとれた教育推進

◇ 「まなびフェスト」達成に向けた取組

◇ 生命の尊重と安全教育の推進



遠野市立 小友小学校

所在地 〒028-0481 遠野市小友町16-133
電 話 0198-68-2220 FAX 0198-68-2220

校 長 菊 池 春 夫 児童数 30名
副校長 佐 藤 泰 之 職員数 12名

●主な沿革

- 昭和58年 鮎貝小学校、小友小学校、長野小学校、鷹鳥屋小学校の4校の統合により遠野市立小友小学校創立
(在校児童数 152名、教職員数11名)
- 昭和59年 校章、校歌を制定
- 昭和61年 校旗作成委員会から校旗を寄贈
- 昭和63年 プール完成、築山設置(喜輪山と命名)
遠野市立小友小学校落成式挙行
- 平成元年 学校花壇設置(P T A奉仕活動)
- 平成3年 かぜの子学級(特殊学級)新設
- 平成4年 生活科実践推進協力校指定(岩手県)
開校10周年記念式典
- 平成6年 教員住宅(公舎)1棟2世帯竣工
- 平成8年 スポーツ活動推進校指定(岩手県)
- 平成9年 人権教育開発実践校指定(遠野市教育委員会)
人権教育研究指定(文部省)
- 平成10年 「人権教育」学校公開
- 平成13年 第51回県へき研久慈大会において研究発表
第17回東北地区へき研山形大会において研究発表
- 平成14年 プール上屋落成式
開校20周年記念式典
- 平成15年 わかる授業創造(国語)授業公開
- 平成16年 青少年赤十字加盟20周年表彰受賞
- 平成17年 F M F 米国教育者学校訪問受入れ
- 平成21年 道徳教育研究指定(遠野市教育委員会)
遠野物語発刊 100周年記念ステージに
全校児童参加
スクールバス更新
- 平成22年 道徳学校公開研究会
- 平成24年 財団法人遠野市教育文化振興財団「教育文化奨励賞(団体の部)」受賞
岩手県教育委員会より復興教育推進校に指定
- 平成25年 岩手県教育委員会より道徳教育推進事業実施校に指定
開校30周年記念式典
- 平成26年 岩手県教育研究発表会にて道徳教育実践発表
- 平成29年 学校公開研究会(算数)
- 平成30年 遠野市観光協会より昔話まつり感謝状受賞
- 平成31年 鷹鳥屋森林愛護少年団に移行
- 令和3年 「子ども語り部活動」第26回いわてユネスコ文化賞受賞
- 令和4年 屋内運動場長寿命化改修工事完成
岩手県教育委員会表彰受賞「子ども語り部活動」

●地域の状況

小友町は、遠野市の南西端に位置し、西部は奥州市、南部は住田町に接しており、総面積は102km²である。

集落は、長野川に沿った長野地区、鷹鳥屋川と山谷川に沿った鷹鳥屋地区と山谷地区、長野川と鷹鳥屋川の合流点を中心とした小友地区、小友川の下流に沿った鮎貝地区の5地区で形成されている。各地区は、それぞれ険しい山に囲まれた寒冷地である。

交通路は、国道107号が南北に縦断し、町の中心部小友地区から遠野・江刺線が西方に横断している。

地区内の生産状況は、米づくりを主体とする山地農業であり、他に、畜産、ハウス野菜栽培が盛んである。

小友は、慶長年間に長野に金鉱が発見されて大きく発展を遂げた。金鉱景気は明治から昭和初期まで続いた。広大な面積を占める山林の仕事に従事している人もいるが、第2種兼業農家が大方を占めており、夫婦共稼ぎの家庭が多い。各地区には郷土芸能や伝統行事があり、小・中学生が伝承活動を行っている。学校の教育活動とタイアップした活動は、地域の教育の源泉となり、子どもの健全育成の大きな力となっている。

●教育目標

- 「進んで学びよく考える子ども」
 - ① 学習習慣を身につけ、進んで学習に取り組みます。
 - ② 自分の考えを磨き表現します。
- 「明るくて思いやりのある子ども」
 - ① 相手のことを考えて行動します。
 - ② 人の役に立つよう進んで行動します。
- 「健康でねばり強い子ども」
 - ① めあてを決めて、進んで運動します。
 - ② 規則正しく生活し、健康な体をつくります。

●本年度の研究主題

「主体的に学ぶ児童を育てる指導のあり方」
－複式指導や少人数における意欲をもって、学び合う授業づくりを通して－

●特色ある教育活動

- ・伝承活動
「小友の話っこ聞きたいな」の表現活動
小友地区に伝わる昔話やしし踊りや歌で構成されており、全校児童一体となって取り組んでいる。
- ・ふれあい活動
ふれあいホーム小友への訪問交流
地域の独居老人宅へ手作りカレンダーや年賀状を届ける活動
- ・子ども語り部認定児童による市や地域活動における「語り」の披露



遠野市立 附馬牛小学校

所在地 〒028-0663

遠野市附馬牛町下附馬牛11-43-1

電話 0198-64-2220 FAX 0198-64-2220

校長 高橋 淳 児童数 32名

副校長 高橋 伸 幸 職員数 11名

●主な沿革

- 昭和51年 遠野市立附馬牛小学校（明治7年創立）、
遠野市立東禅寺小学校（明治9年創立）
及び同小出分校の3校を統合して遠野市立
附馬牛小学校とする
- 昭和52年 新校舎、屋内運動場、プール並びに地区
センター庁舎完成による合同落成式挙
行
- 昭和54年 遠野市教育委員会指定「理科」学校公開
- 昭和58年 遠野市教育委員会指定「国語」学校公開
- 昭和59年 教育の森造林
- 昭和60年 遠野市教育委員会指定「学校林実験校」
- 昭和62年 遠野市教育委員会指定「勤労体験推進校」
- 平成3年 ノースロップ賞受賞（学校林緑化推進活動）
- 平成4年 岩手県指定「自然保護モデル校」
- 平成5年 遠野市教育委員会指定「特別活動」学校公開
- 平成6年 創立120周年記念式典挙
行
- 平成8年 県・市指定「環境教育推進校」
- 平成9年 授業実践交流会「作文指導」自主公開
- 平成10年 プール上屋完成
- 平成11年 森林ボランティアのぞみの森調整事業
第48回全国へき地教育研究大会会場校
- 平成13年 岩手県教育表彰学校教育賞受賞
- 平成14年 授業実践交流会「総合的な学習の時間」
自主公開
- 平成16年 第47回岩手県造形教育研究大会遠野地区
大会会場校
- 平成17年 遠野地区小規模・複式学校教育研究会授業
研究会（3学年算数）
- 平成19年 大出小中学校閉校（3月）に伴い、学区が
7区となる
- 平成23年 遠野市教育委員会研究指定学校公開研究会
（小中連携・算数）
- 平成24年 日航財団スカラシップ交流事業
（12ヶ国との交流会）
- 平成26年 遠野市教育委員会指定「国語・算数」学校公開
旧附馬牛中学校校舎に校舎移転
- 平成27年 校庭に築山設置
- 平成30年 いわてユネスコ活動奨励賞受賞
（遠野コロニー永年交流）
- 令和元年 市教育委員会指定学校公開研究会（国語）
- 令和2年 青少年赤十字活動30年継続感謝状授受
- 令和3年 第37回東北地区へき地教育研究大会兼第61回岩手県小規模
・複式学校教育研究会岩手中部大会附馬牛会場
- 令和4年 学校運営協議会附馬牛小部会発足（CS）

●地域の状況

本校は、遠野市の市街地から北に約12km、猿ヶ
石川に沿ってバスで約30分のところに位置し、周
囲は自然美に恵まれ、遠くに霊峰早池峰を望む景
勝の地にある。

学区は7区からなり、その中心部は上柳集落及
びその周辺で、保育所、地区センター、郵便局、
お寺、商店街があり、人家も密集している。

その他の地区は、20戸～30戸位の集落を形成し、
各地に点在している。

この地は、遠野郷文化発祥の地ともいわれ、早
池峰山信仰を中心に早くから山岳信仰、仏教、神
道の拠点ともなった地域でもある。

●学校教育目標

郷土の誇りを胸に未来へ向けてたくましく生
きる児童の育成

- 1 まなび合う子ども
- 2 心かよい合う子ども
- 3 きたえ合う子ども

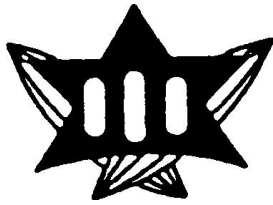
●本年度の研究主題

小規模・複式指導において学び続ける児童の
育成

～交流を工夫した算数の授業づくりを通して～

●特色ある教育活動

- 1 附馬牛の郷に学ぶ
地域の人材を活用しながら地域を素材とし
た学習を進めていく中で、先人の生き方を学
び、郷土愛を高めるとともに、自分の生き方
を考える。
- 2 小規模校の特性を活かした活動
たてわり班遊び・体力づくり（マラソン・
長縄跳び）
- 3 ふれあいホームや障害者支援施設遠野コロ
ニーとの交流



遠野市立 土淵小学校

所在地 〒028-0555 遠野市土淵町土淵6-1
電話 0198-62-2804 FAX 0198-62-2804

校長 日影 館 亨 児童数 74名
副校長 澤 藤 雅 彦 職員数 16名

●主な沿革

明治10年 土淵常堅寺に創立
明治14年 公立土淵小学校と改称
明治23年 土淵町留場内に位置変更
明治37年 校舎新築落成式
大正5年 飯豊分教場、山口分教場開設
昭和7年 琴畑分教場開設
昭和22年 土淵村立土淵小学校と改称
昭和26年 栢内分校が土淵第二小学校に独立
昭和29年 遠野市立土淵小学校と改称
昭和50年 遠野市交通安全研究指定校
昭和53年 現在地に新校舎建築・山口分校閉校
昭和54年 創立 100周年記念式典挙行
水泳用プール完成
昭和58年 岩手県道徳教育研究会大会会場
昭和59年 土淵第二小学校本校に統合
平成元年 校庭拡張
平成4年 IBC作文学校賞
平成7年 県学校安全優良校表彰
道徳教育公開、県道徳研究会大会会場
平成8年 昔語り伝承活動テレビ放映
平成9年 創立 120周年記念式典
平成10年 文部省教育映画「生涯学習」に出演
民放テレビ「ドキュメント'98」で全国放送
平成11年 県学校環境衛生優良校
「子ども語り部」の発表（教振運動）
平成12年 市民憲章運動推進協議会から「実践活動」受賞
平成13年 県歯科医師会優良校表彰
平成15年 学校公開（国際理解教育）
平成16年 岩手県学校歯科保健優良校表彰
平成19年 日本赤十字社「青少年赤十字金色有功章」受章
平成20年 児童会資源回収等で遠野市から環境表彰
子ども語り部活動でふるさと公社から感謝状
平成21年 いわてユネスコ文化賞受賞（2回目）
教育文化奨励賞受賞（2回目）
遠野市教育委員会指定小中連携教育研究公開
特別支援学級設置
平成25年 20年間にわたる水生生物調査の功績により
平成27年 県から感謝状、教育文化奨励賞受賞（3
回目）
平成28年 遠野市教育委員会指定学校公開（国語科、
算数科、社会科、特別支援教育）
平成29年 140周年記念ステージ幕一式購入
青少年赤十字加盟継続30年表彰
平成30年 「早寝早起き朝ごはん」運動文部科学大臣賞受賞
平成31年 校舎大規模改造第1期工事完了
令和2年 校舎大規模改造第2期工事、体育館大規模改造工事完了
岩手県教育表彰受賞
教育文化奨励賞受賞（4回目）
令和3年 遠野市教育委員会指定授業実践交流会（算数科）
岩手県PTA広報コンクール最優秀賞受賞（2回目）
岩手県PTA広報コンクール優秀賞受賞

●地域の状況

本学区は、遠野市の北東部に位置し、国道 340号
をはさんで南北にやや細長く非常に広い。南部は平
坦で比較的水田が多い。北部は傾斜地で畑地の割合
が高い。集落は、国道 340号沿いと、それから入っ
た枝道に点在している。

産業の中心は農業で、水稻、たばこ、ハウレンソ
ウ、ホップ等が栽培されている。近年は、副業とし
て誘致企業やスーパー等への就業が増えてきている。

また、土淵町は、柳田國男の「遠野物語」の生み
の親である民俗学者佐々木喜善の生まれ育った地で
あり、それを語り継ぐ子ども語り部の活動が行われ
ている。地域においては郷土芸能としてしし踊りや
神楽、さんさ踊り等が継承されている。

●教育目標

自らの未来を切り拓く主体的・創造的な子ども
の育成

- ・よく考える子〔知〕
- ・心ゆたかな子〔徳〕
- ・たくましい子〔体〕

●本年度の研究主題

分かった喜び、できた楽しさを感じる児童の育成
～数学的な見方・考え方を働かせ、能動的に学び合うた
めの教師のコーディネート～

●特色ある教育活動

- 1 学習意欲、思考力、判断力、表現力の向上を
目指す教育活動の推進
- 2 地域の人的・物的教育資源を活かし、地域へ
の理解を深めるふるさと教育の推進
（子ども語り部活動・ホップ学習・稲作体験・
琴畑水源林植樹・伝承園訪問・土淵保育園訪問
など）
- 3 保護者と教育目標を共有し、まなびフェスト
達成に向けた日常取組の充実（家庭学習、早ね
・早起き・朝ごはん、もく読みなど）



遠野市立 青 笹 小 学 校

所在地 〒028-0503 遠野市青笹町青笹11-1
電 話 0198-62-2802 FAX 0198-62-2802

校 長 鈴 木 久美子 児童数 132名
副校長 榊 原 正 弥 職員数 16名

●主な沿革

明治8年 青笹小学校創立
昭和41年 青笹小学校名目統合発表（2校1分校）
昭和42年 統合校舎新築工事落成
青笹しし踊りの伝承活動開始
昭和43年 体育館工事落成
昭和46年 上閉伊管内国語教育研究会開催
昭和48年 市指定国語教育研究公開開催
昭和50年 放送教育研究（国・社・理）公開開催
昭和51年 創立100周年並びに学校統合10周年記念行事挙
行
昭和55年 市教委指定国語（作文）研究公開
昭和57年 飯豊地区学区変更（土淵小学校へ）
昭和58年 博報賞受賞（国語教育）
昭和59年 教育文化奨励賞受賞（国語教科）
昭和60年 よい歯の学校表彰受賞
交通安全模範校の学校表彰受賞（県知事）
昭和61年 教育文化奨励賞受賞（交通安全）
昭和63年 日本赤十字岩手支部青年赤十字加盟
平成3年 健康優良学校奨励賞受賞（県教育委員会）
平成5年 交通安全学校表彰（東北管区警察局長賞、東北交通協会会長賞受賞）・遠野市功労者表彰（交通安全）
平成8年 市教委指定国語（作文）研究公開開催
平成11年 体育館完成
平成13年 新校舎・上屋付きプール完成
平成18年 市教委指定小中連携教育研究公開
平成19年 日本赤十字社「青少年赤十字金色有功章」受章
平成21年 県学校環境衛生「優良校」受賞
平成20年～22年「地球温暖化を防ごう隊」県表彰
平成24年 青笹小学校PTA県教育表彰
平成25年 青笹小学校PTA優良PTA文部科学大臣表彰
平成26年 市教委指定算数研究公開
平成28年 青笹小創立50周年記念行事挙
行
平成29年 日本赤十字社加盟30年表彰
平成30年 全国学校図書館協議会「学校賞」受賞
令和元年 遠野市教委指定学校公開（国語）
岩手県学校図書館研究会遠野大会
令和2年 子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰
「どんぐり・花を育てようin遠野」開催
岩手県PTA連合会表彰

●地域の状況

本校学区は、遠野市の中心市街地から東方約5kmに位置し、学区の中央を国道283号が走り釜石市へ通じている。周囲は東に六角牛山、北に早池峰山、西に石上山のいわゆる遠野三山を眺めることができる自然に恵まれた静かな農村地帯である。

ここ数年、児童数に大きな変化は見られない。農家の家庭も多いが、保護者は会社員として市内や近隣地域に働きに出ている。

また、学区内には遠野運動公園野球場、陸上競技場などのスポーツ・レクリエーション施設や遠野市総合防災センターが整備され、将来の発展が期待されている。

●教育目標

- ・よく考え本気で学ぶ子（知）
- ・豊かな心で思いやりのある子（徳）
- ・強い体でたくましい子（体）

●本年度の研究主題

見通しをもち、主体的に学ぶ子どもの育成
～国語科「読むこと」における学習を深める指導の工夫～

●特色ある教育活動

- 1 中学校区小中連携による教育活動の推進と学力向上に結び付く授業改善の取組
- 2 郷土の誇りを育てる無形文化財「青笹しし踊り」の伝承活動
- 3 地域を知り、地域に学ぶ体験活動
（青笹森林愛護少年団活動、稲作体験、昔遊び、豆腐作り）
- 4 通年の体力づくり（マラソン・縄跳び）と健康安全教育の推進（早寝・早起き・朝ごはん、う歯改善への取組）



遠野市立 上郷小学校

所在地 〒028-0771 遠野市上郷町佐比内46-56-1
電 話 0198-65-2031 FAX 0198-65-2031

校 長 沖 舘 玲 子 児童数 45名
副校長 赤 塚 知 秋 職員数 14名

●主な沿革

明治7年 上郷小学校の前身である板沢小学校を曹源寺内に開校
明治8年 平倉に平倉小学校開校
明治10年 来内に来内小学校開校
明治13年 佐比内・細越に佐比内小学校、東細越小学校、西細越小学校開校
昭和24年 校歌を制定
昭和29年 町村合併による遠野市の誕生で遠野市立上郷小学校と改称
昭和41年 統合校舎新築落成記念式典挙行
完全給食開始
昭和49年 開校 100周年記念式典挙行
校庭等に体力づくり施設設置
昭和56年 プール完成落成式
昭和57年 校舎大改装工事完了
平成6年 開校 120周年記念式典挙行
平成7年 健康推進学校県代表として全国表彰
平成11年 学校安全優良校
平成12年 日本赤十字から銀色有功章受章
平成13年 県小学校国際理解（英会話）調査研究校（平成13・14年）指定
平成14年 国際理解教育（英語活動等）公開授業
平成16年 ジョイント・スクール推進事業（小・中連携・県指定）
校舎改築工事開始
平成17年 小・中連携教育公開研究会（平成15～17年市指定、平成15・16年県指定）
平成18年 校舎、体育館改築工事完成
平成19年 校舎落成記念式典並びに創立 130周年記念式典挙行
平成21年 外国語活動研究推進校（文科省指定）
平成22年 管内外国語中核教員研修会公開授業
平成24年 学校環境優良校表彰
平成26年 特別支援学級1学級（知的）設置
開校140周年記念事業実施（航空写真撮影・講演会）
平成27年 市教委指定「算数科」学校公開
平成28年 特別支援学級1学級（情緒）設置
平成31年 複式学級設置
令和2年 市教委指定授業実践交流会（算数科）
令和5年 特別支援学級（肢体不自由）設置

●地域の状況

本校は、昭和29年の町村合併以前における「上郷村」全域を学区としている。本校学区は市の東部に位置し、北東には六角牛山、東部には大開山がある。

町内を早瀬川と猫川が流れ、その川沿いの低地では米、野菜、葉たばこ、ホップ等が生産されている。

上郷は、昔から遠野盆地と三陸沿岸地方とを結ぶ交通及び物資流通上の要路に当たり、さらに釜石製鉄所の創業や大峰鉱山の開山により農産物を中心とした物資や労働力の供給地として栄えていた。しかし、昭和46年の大峰鉱山閉山以降、人口は減少し、高齢化が進んでいる。

●教育目標

- ・すすんで「学ぶ」子ども
- ・美しい心で「表現する」子ども
- ・つよい体に「きたえる」子ども

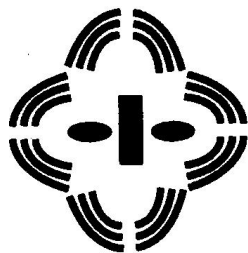
●本年度の研究主題

児童の主体性と課題解決力を高める授業作り
～算数科における「学習意欲の持続」と「児童主体の学び合い」の工夫を通して～

●特色ある教育活動

～豊かな心と丈夫な体を培う教育の推進～

- ◎ 心を育てるふれあい活動
 - ・縦割り班活動等を通じた異年齢児童との交流
 - ・上郷しし踊りを通じた地域文化の伝承
 - ・「なでる牧場」や「農業と販売体験」、「語り部」「国際理解教育」等の地域素材や人材との体験学習
- ◎ 体をきたえる実践活動
 - ・徒歩通学の奨励や休み時間や授業中でのマラソン、サーキット、縄跳び等による体力づくり
 - ・食育の推進等による健康教育の推進
 - ・保健安全意識と基本的生活習慣の定着をめざした取組



遠野市立 宮守小学校

所在地 〒028-0304 遠野市宮守町下宮守26-6
電 話 0198-67-2135 FAX 0198-67-2135

校 長 菊 池 和 恵 児童数 68名
副校長 小田島 真 弓 職員数 14名

●主な沿革

明治7年 公立下宮守小学校を開校
明治8年 公立上宮守小学校を開校
明治9年 宮守小学校第1分校を開校（塚沢小学校）
宮守小学校第2分校を開校（鹿込小学校）
昭和52年 宮守・塚沢・鹿込・上宮守の4小学校統合
により宮守村立宮守小学校となる
校歌・校章を制定
昭和54年 学校公開研究会（国語科）
昭和58年 新校舎完成
昭和59年 新体育館完成
昭和59年 学校公開研究会（国語・算数科）
昭和60年 学校公開研究会（国語・算数科）
昭和63年 学校公開研究会（国語科）
平成3年 開校15周年記念で校訓を制定
平成4年 学校公開研究会（国語科）
平成6年 学校安全優良校表彰（県教委）
平成8年 学校公開研究会（国語科）
平成10年 学校安全優良校表彰（県教委）
平成12年 学校公開研究会（総合）
平成15年 体育館と校舎東1階・2階トイレ水洗化
平成16年 学校公開研究会（算数科）
平成17年 市村合併で遠野市立宮守小学校と改称
平成18年 創立30周年 事業遊具設置・記念誌発行
伝統芸能継承活動「さんさ踊り」導入
優良少年消防クラブ全国表彰
平成19年 伝統芸能継承活動「宮小さんさ踊り」を
開始し、遠野まつりに参加
平成20・21年 農山漁村におけるふるさと生活体験
推進校として、5年生が宿泊体験活動
平成23年 少年消防クラブが岩手県幼少婦人防火委
員会長表彰
平成24年 岩手県学校歯科保健優秀校受賞（～27年）
平成26年 学校公開研究会（算数科）
平成27年 いわてユネスコ文化賞受賞
平成28年 創立40周年事業（記念誌発行）
平成29年 新プール完成
令和元年 学校公開研究会（算数科）
令和2年 少年消防クラブ総務大臣賞受賞
令和4年 最優良交通団体として県警察本部長より表彰
令和4年 水生物調査の継続について知事より表彰

●地域の状況

学区は、四方を山に囲まれた農村地帯である。北側に国道396号、南側に国道283号とJR釜石線が走る内陸部と沿岸部とを結ぶ交通の要所でもある。

父母や地域の教育に対する理解、関心は極めて高く、学校への協力、支援は大きい。社会教育、就学前教育、健康教育にも大きな力が注がれている。

●教育目標

心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成

- 1 明るく、思いやりのある子
- 2 よく考え、学習する子
- 3 健康で、たくましい子

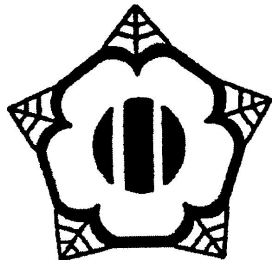
●本年度の研究主題

思考力・判断力・表現力を育てる国語指導のありかた

～意欲をもって学び合う授業づくりを通して～

●特色ある教育活動

- 1 ともりっ子を育てる「かがやき学習」
・宮守の地域探検・観察・調査（郷土食づくり）
・「生きること」「かかわること」を考える体験学習
- 2 異年齢の交流により、協力や思いやりの心を育む縦割り班活動
- 3 さんさ踊りの伝承芸能活動
- 4 朝読書・ブックボランティアの読み聞かせ等の読書活動



遠野市立 達曾部 小学校

所在地 〒028-0305 遠野市宮守町達曾部15-10
電 話 0198-67-6133 FAX 0198-67-6133

校 長 高 橋 弘 寿 児童数 42名
副校長 加 藤 貴 之 職員数 15名

●主な沿革

- 明治7年 第七大学第十九中学区第十一番小学校として開校
- 昭和53年 達曾部小学校と中斉小学校の2校が統合して宮守村立達曾部小学校が創立
- 昭和55年 体育館落成式、旧達曾部中学校に移転
- 昭和57年 県学校環境緑化コンクールで入選
- 昭和62年 学校統合10周年記念式典を挙（トランペット鼓隊披露）
- 平成5年 文部省・村教委指定「道徳」の公開研究会
- 平成9年 村教委指定「国語」の公開研究会
- 平成10年 県へき地・小規模教育研究大会で実践発表
村立小中学校統合20周年記念式典開催
- 平成12年 新校舎落成式典、祝賀会挙
- 平成13年 体育館改修工事開始
校庭及び遊具完成
- 平成14年 プール完成
宮守村教育委員会指定「総合・生活科」の公開研究会実施
- 平成15年 県グリーンスクール研究校指定（～16年度）
- 平成17年 市村合併で遠野市立達曾部小学校と改称
- 平成18年 学校安全優良校として受賞（県教委）
- 平成19年 統合30周年記念事業実施
- 平成20年 中国地域保健研修視察団来校
- 平成21年 県小規模・複式学校教育研究大会実践発表
- 平成23年 岩手県学校歯科保健優良校受賞
- 平成24年 岩手県学校歯科保健優良校受賞
- 平成25年 市教委指定「国語」の公開研究会
岩手県学校歯科保健優良校受賞
- 平成26年 第19回いわてユネスコ文化賞受賞
（湯屋神楽芸能の保存活動）
- 平成27年 地球温暖化防ごう隊県表彰
- 平成28年 読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰
- 平成29年 創立40周年記念誌発行
- 平成30年 市教委指定学校公開研究会「聞く・話す」
- 令和元年 達曾部小学校ホームページ開設
- 令和2年 観察園の木を剪定、校庭整地
- 令和3年 遠野市環境保全実践校表彰
- 令和4年 屋内運動場改修工事

●地域の状況

本校学区は遠野市の北西部に位置し、盛岡市・花巻市と遠野中心市街地をつなぐ西の玄関口となっている。達曾部という地名は「樺の木が多くある沢」を意味するアイヌ語に由来する。周りには水田が広がり、達曾部川と里山に囲まれたのどかなこの地は、昔は盛岡と遠野・沿岸部を結ぶ交通の要地となっていた。

また、豊かな清流を生かしたわさびが特産物となっていて、いろいろな食品に加工されている。

●教育目標

未来を創る「自立と共生」

～自ら学び 共によりよく生きようとする子ども～
かしこく やさしく たくましく

●本年度の研究主題

主体的に学び、自分の考えを表現できる児童の育成
～社会科・生活科の導入と
表現活動の工夫を通して～

●特色ある教育活動

5つの分野により自立と共生を目指す学校経営

- まなび（学びの自立）
 - ・個に応じた指導の推進
 - ・読書活動の充実
- こころ（他者との共生）
 - ・道徳指導、教育相談の充実
 - ・一人一役、異学年活動の充実
- からだ（生活の自立）
 - ・基本的生活習慣の確立
 - ・メディア指導
- P T A（未来への自立）
 - ・学校と家庭の共通理解に立った協働活動
 - ・家族の一員としての意識づくり
- 地域連携（地域との共生）
 - ・保育園、児童クラブ、中学校との連携
 - ・キャリアパスポートを活用した「ふるさと教育」の充実（人、文化、歴史）



遠野市立 鱒 沢 小 学 校

所在地 〒028-0303 遠野市宮守町下鱒沢17-5
電 話 0198-66-2270 FAX 0198-66-2270

校 長 栃 内 秀 茂 児童数 14名
副校長 小 原 由 理 子 職員数 8名

●主な沿革

明治7年 上鱒沢小学校創立
下鱒沢小学校創立
明治32年 下鱒沢小学校迷岡分教場開始
昭和22年 上鱒沢小学校を鱒沢村立上鱒沢小学校と改称
下鱒沢小学校を鱒沢村立鱒沢小学校と改称
昭和23年 鱒沢村立迷岡小学校独立昇格
昭和30年 鱒沢村立上鱒沢小学校、同鱒沢小学校、同迷岡小学校をそれぞれ宮守村立上鱒沢小学校、同鱒沢小学校、同迷岡小学校と改称
昭和46年 宮守村立鱒沢小学校、同上鱒沢小学校を統合し、宮守村立鱒沢小学校創立
昭和46年 水泳プール完成
昭和47年 鉄筋3階建統合校舎完成
昭和49年 創立100周年記念式典挙行
昭和52年 宮守村立鱒沢小学校、同迷岡小学校を統合し、宮守村立鱒沢小学校創立
昭和58年 「よい歯の学校」全国表彰
昭和61年 屋内運動場落成
平成3年 屋外運動場拡張工事竣工
平成6年 特別教室（図工室・図書室）竣工
平成10年 文部省地域指定研究「エイズ教育」学校公開研究会開催
平成13年 スキーゲレンデ完成
平成17年 市村合併で遠野市立鱒沢小学校と改称
平成18年 統合30周年記念誌発刊
平成19年 遠野市指定研究「算数」学校公開研究会
鱒沢児童クラブ併設
平成20年 防火扉の改修工事
平成21年 耐震補強工事完成
県特別支援教育研究大会・授業公開
平成22年 緊急雇用対策事業による遊具の塗装
平成23年 特別支援学級設置
校庭南側雑木林（本校及びJR東日本の敷地）大規模伐採
平成24年 岩手県PTA連合会広報コンクール最優秀賞受賞
平成25年 本校PTA岩手県教育表彰
平成26年 優良PTA文部科学大臣表彰
平成27年 遠野市指定研究「国語」学校公開研究会
平成28年 統合40周年記念誌発刊
平成29年 いわてユネスコ文化賞受賞
令和2年 遠野市教委指定授業実践交流会（国語科）
令和3年 「交通安全優良学校」（全日本交通安全協会）

●地域の状況

鱒沢は、宮守町南部に位置し、猿ヶ石川の両岸に広がる農山村地域である。

学校は、この猿ヶ石川、国道283号と107号の分岐点、JR釜石線鱒沢駅を見下ろす高台にある。

学区民の教育に寄せる関心は高く、学校教育に対しても協力的である。

●教育目標

- ・ 進んで学ぶ子
- ・ 思いやりのある子
- ・ 体のじょうぶな子
- ・ ねばり強い子

●本年度の研究主題

主体的に学びに向かう子どもの育成
～国語科における確かな読みの力を育てる
指導の在り方～

●特色ある教育活動

- 1 地域の人、もの、ことに学ぶ活動
 - ・ 郷土芸能しし踊りの伝承活動
 - ・ ふるさと学習活動
 - ・ 地域の文化を学び発信する
「ふるさとクラブ」「鱒沢祭」
- 2 全校児童が心をつなげて表現する合唱奏
「故郷の詩」の伝承活動
- 3 業間や放課後を活用した諸活動
 - ・ はきはき広場
 - ・ ハッスルタイムやとことんタイム
- 4 図書ボランティアによる読書活動の推進
 - ・ 読み聞かせ



遠野市立 遠野中学校

所在地 〒028-0541 遠野市松崎町白岩11-30
電 話 0198-62-2814 FAX 0198-60-2433

校 長 堀 村 克 利 生徒数 343名
副校長 西 田 牧 恵 職員数 38名

●主な沿革

- 平成25年 2月 校舎改築第一期工事完成
4月 遠野市立中学校再編成計画に基づき、遠野中学校、綾織中学校及び附馬牛中学校を閉校し、遠野市立遠野中学校を開校（生徒数413名、職員数32名）
4月 遠野中学校開校式並びに第一回入学式
8月 サッカー部 全国大会出場（ベスト8）
平成26年 8月 サッカー部 東北大会 第3位
陸上部東北大会男子の部総合第2位
9月 校舎改築第二工期工事完成
平成28年 2月 体育館改修工事完成
平成29年 8月 サッカー部 東北大会 準優勝
サッカー部 全国大会出場
9月 県防災スクール指定事業（避難所運営訓練）
平成30年 8月 サッカー部 東北大会出場（6年連続）
11月 文科省国立教育政策研究所
研究指定校事業 中学校外国語 公開研究会
令和元年 8月 サッカー部 東北大会出場（7年連続）
陸上部東北大会出場
全日本春季軟式野球大会県予選優勝
11月 県中文祭スローガン部門最優秀賞
令和2年 9月 市教育委員会指定授業実践交流会
10月 陸上部女子 県駅伝大会 第2位
サッカー部 県新人大会 優勝
11月 剣道部女子 県新人大会 第3位
令和3年 4月 盛岡市内一周継走大会
男子・女子ともに第3位
8月 サッカー部 東北大会第3位
サッカー部 全国大会出場
10月 東北女子駅伝大会 第9位
令和4年 4月 盛岡一周継走大会
男子17位 女子1位（初優勝）
8月 サッカー部 東北大会第2位
サッカー部 全国大会出場
9月 県駅伝大会女子2位 東北大会出場
10月 東北中学校女子駅伝大会 第4位
11月 遠野市環境保全活動で表彰
令和4年11月 岩手研中学校総合文化祭
演劇「河童のやん太郎」3年上演

●地域の状況

本校は、遠野盆地の中央部に位置し、学区は市街地（遠野町）と遠野バイパス周辺の新興住宅地（松崎町）、西に広がる田園地帯（綾織町）、北に伸びる農村地帯（附馬牛町）から構成されており、それぞれが交通の要路をなし、文化や産業交流の中心となっている。

学区民の教育に対する関心は高く、学校教育に対しても熱心で協力的である。

●学校目標

「知性を磨き 支え合い 夢拓く遠中生」
（勤勉） （協働） （開拓）
ふるさと ふるさと とおのびと
遠野に学び、遠野を語れる遠野人の育成

●本年度の研究主題

主体的に学ぶ生徒の育成
～「関わり合い」を育てるICT活用の
場面を探りながら～

●特色ある教育活動

- 「関わり合い、支え合い、育つ、育てる」
（生徒同士、教師と生徒、地域と生徒等豊かな関わりから、感性を磨き自己を高める）
- 1 「共感的・協働的な学び合い」のある授業と自ら計画して取り組む家庭学習の推進
 - 2 遠中SDGsを要とした生徒会活動の充実と自治的な集団の育成
 - 3 自他の命を大切にする安全・安心な学校生活
 - 4 一人ひとりを大切にする生徒指導
 - 5 必要な生徒への適切な支援と関係機関との連携および学習室の活用
 - 6 特別支援教育の充実と共通理解
 - 7 保護者・地域と連携・協働する教育活動
 - 8 コミュニティスクールと協働して展開するキャリア教育の充実
 - 9 花巻清風支援学校分教室との日常的な交流・連携



遠野市立 遠野東中学校

所在地 〒028-0503 遠野市青笹町青笹10-16
電 話 0198-62-2816 FAX 0198-62-2816

校 長 佐々木 誠 生徒数 134名
副校長 桐 越 綾 職員数 22名

●主な沿革

平成25年 校舎増築、大規模改造工事完成
遠野市立中学校再編成計画に基づき、土淵
中学校、青笹中学校及び上郷中学校を閉校
し、遠野市立遠野東中学校を開校（生徒数
163名、職員数20名）

遠野東中学校開校式並びに第一回入学式

平成29年 遠野市教育委員会指定学校公開研究会
体育館改修完了

平成30年 岩手県中学校総合文化祭最優秀賞を受賞

令和元年 全国中学校総合文化祭富山大会出場

令和4年 遠野市教育委員会指定学校公開研究会

●地域の状況

本校の学区は、遠野市の南東部に位置する上郷地域と北東部に位置する土淵地域と東部に位置する青笹地域の3地域で構成されている。純農村地帯であるが、ほとんどが兼業農家であり、米作・葉たばこ・ホップ等の栽培に従事し共働きの家庭が多い。

古くから沿岸との交通の要所であったが、最近では沿岸部復興の物資輸送のための道路網の整備が進み、交通量も増えてきている。

土淵地域は「遠野物語」の中心地であり、観光資源が豊富である。また、学区全体を通して、伝承活動が盛んであり子供たちも重要な担い手となっている。教育文化に関わる地域の関心は高く保護者は教育熱心であり、地域で子供を育てようという風土がある。

●教育目標

「知・徳・体を鍛え

未来を拓く人間性豊かな生徒の育成」

●本年度の研究主題

学び合い、考えを深める生徒の育成

～主体的で協働的な活動を通して～

●特色ある教育活動

- 1 地域の歴史、文化、産業等を理解する。
 - ・地域人材やそれぞれの専門分野の知識が豊富な方から学ぶ機会を通し、郷土への理解を深める学習をする。
 - ・伝承活動に参加し、地域文化の継承者としての自覚を高める学習をする。
- 2 地域の人々とのつながりを深める。
 - ・地区行事などへの参加を通して交流を深めるとともに、地域社会の構成者としての役割を果たす学習をする。
 - ・地域の施設設備の清掃やボランティア活動を行い、奉仕の精神を身につける学習をする。
- 3 東日本大震災からの復興の状況を理解する。
 - ・復興事業に取り組んでいる方からのお話により、その状況を理解する。
 - ・災害復興に向けて、自分ができることを考え今後の活動に対する学習を深める。



遠野市立 遠野西中学校

所在地 〒028-0304 遠野市宮守町下宮守39-65
電話 0198-67-2139 FAX 0198-67-3513

校長 菊池 一洋 生徒数 99名
副校長 菊池 真紀子 職員数 24名

●主な沿革

- 平成25年 遠野市立中学校再編成計画に基づき、小友中学校及び宮守中学校を閉校し、遠野市立遠野西中学校を開校（生徒数 145名、職員数18名）
- 平成27年 給食センター跡に多目的ホール完成
太陽光発電システム稼動
全国いじめ問題子供サミットに岩手代表として参加
- 平成28年 プール落成式
- 令和3年 岩手県PTA連合会広報コンクール最優秀賞
全国中学校文化祭出場(氷口御祝)
岩手県中学校新人大会軟式野球優勝

●地域の状況

本校は、平成25年、宮守町に設置されていた宮守中学校と小友町に設置されていた小友中学校が統合し、遠野西中学校として新設された。

遠野市の西部に位置する小友町と宮守町の全体が学区となっており、北は花巻市大迫町、西は花巻市東和町、奥州市江刺区、南は住田町と隣接している。

小友町、宮守町ともに米作りを主体とする農業が盛んである。水がきれいで県内有数のワサビの産地でもある。また、御祝や神楽などの伝統芸能も各地区で大切に伝承されてきた。

保護者や学区民の教育に対する関心は高く、たいへん協力的である。また、学校に対する地域の期待も大きい。

●教育目標

「郷土を愛し、新しい時代をたくましく生き抜く
人間の育成」

- ・表現力を大切にし、主体的に学ぶ生徒（知）
- ・行動力を大切にし、豊かな人間性を身につけた生徒（徳）
- ・命を大切にし、心身ともに健康な生徒（体）
- ・思いを大切にし、地域や社会と関わり頑張りぬく生徒（志）

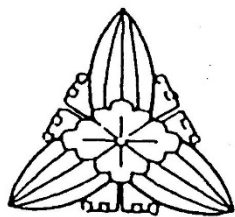
●本年度の研究主題

「深い学び」を実感できる生徒の育成
～自主的に学ぶ自学システムの構築を目指して～
〈研究の目標〉

生徒にとって「深い学び」を実感できる授業を教師が追求し、実践を重ねることにより、生徒に成就感や達成感を味わせ、学ぶことに対する自主性や主体性をさらに高める。

●特色ある教育活動

- 1 「あいさつ」「合唱」「応援」を柱とした校風づくり
(1) 常に互いにあいさつが交わされる学校
(2) 日常的に歌声が響き合う学校
(3) 小友中と宮守中の伝統を生かした応援を創り出し、お互いを励まし合える学校
- 2 地域の教育力を生かした学校づくり
(1) 地域の講師による「銀河ドリーム教室」
(ふるさとの達人に学ぶ)の実施
(2) 伝統芸能、ふきとり、全校写生会
(3) 学校通信「西中 文の風」の学区内全戸配布
- 3 生徒が「深い学び」を実感できる授業づくり
(1) 3つの視点を大切にしたい授業研究と実践
視点1 学習意欲の向上
視点2 言語活動の充実
視点3 「ふり返り」の充実
(2) 学習サイクルの定着（家庭学習との連動）
(3) 「互見授業」の実施
(4) 小中連携による学力向上実践



岩手県立 遠野高等学校

所在地 〒028-0525 遠野市六日町3-17
電話 0198-62-2823 FAX 0198-62-2805

校長 伊藤 正則 生徒数 301名
副校長 安藤 智彩保 職員数 40名

●主な沿革

明治34年 岩手県立遠野中学校として六日町（現地）に開設
大正14年 創立25周年記念式典を挙行
昭和5年 創立30周年記念式典を挙行
昭和15年 創立40周年記念式典を挙行
昭和23年 岩手県立遠野第一高等学校と改称
昭和24年 遠野第一高等学校と第二高等学校が統合、岩手県立遠野高等学校となる
昭和26年 創立50周年記念式典を挙行
昭和33年 農業科設置
昭和35年 創立60周年記念式典を挙行
昭和38年 商業科設置
昭和39年 農業科が県立遠野農業高等学校として独立
昭和39年 3期に分けて新校舎竣工
～45年
昭和45年 鋼板高床式プール完成
昭和46年 創立70周年記念式典を挙行
昭和49年 城西会館竣工
昭和56年 創立80周年記念式典を挙行
昭和59年 商業科産振棟、第2体育館、格技場竣工
平成元年 グラウンド改修工事竣工
平成3年 創立90周年記念式典を挙行
平成4年 商業科閉科
平成8年 新校舎改築工事着工
平成10年 新校舎竣工（県立高校初の瓦屋根校舎）
平成12年 セミナーハウス（城西会館）竣工
平成13年 創立100周年記念式典を挙行
平成14年 創立100周年記念事業「哲学の庭」竣工
平成19年 第1体育館竣工
平成22年 情報ビジネス校閉校
平成23年 創立110周年記念式典を挙行
令和元年 文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」（地域魅力化型）アソシエイト校指定
～3年
令和3年 創立120周年記念式典を挙行

●地域の状況

鍋倉城址の西、旧桜馬場に位置し、武家屋敷跡や愛宕神社が近くにある落ち着いた環境で、威風堂々とした瓦屋根の校舎が、勉学に相応しい雰囲気醸し出している。遠野地域の教育の中核としての歴史と伝統を持ち、学業はもとより部活動や様々な活動において活躍し、有為なる人材を数多く輩出している。

●教育目標

次のような人材の育成を目標とした教育実践を行っている。

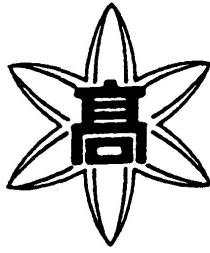
- 1 豊かな知性と人間愛をもつ人
- 2 高い徳性と美を求める心をもつ人
- 3 強い体力と自主・自律の精神をもつ人

●校訓 「修徳尚武」徳を修め、武を尊び、心身ともに豊かになること

●校是 「師弟一如」先生と生徒が一つとなって、真理を探究し校訓を実践すること

●スクール・ポリシー（三つの方針）

- 1 グラデュエーション・ポリシー
本校で学び卒業までに身につける力（本校が育成を目指す資質・能力）は次の通り。
 - ・人間形成能力ー他者共感力と他者理解力を養い人間尊重の精神を身につける。
 - ・社会形成能力ー協働性と主体性を養い新たな社会を創造していく能力を高める。
 - ・自己理解力ー自己肯定感を高め自分らしい生き方を決めていく力を身につける。
 - ・自己管理能力ー計画性とキャリアプランニングスキルを養いながら自己自身を律する生活力を身につける。
 - ・課題対応能力ークリティカルシンキングと創造的思考力に満ちた柔軟な適応性を身につける。
- 2 カリキュラム・ポリシー
本校の教育の三本柱ー生徒の主体的な学びの支援と地域連携を基盤に置く教育活動ーは次の通り。
 - ・新しい時代を見据えた授業改善に取り組む。
 - ・新しい『遠野物語』を創るプロジェクトに取り組む。
 - ・対外交渉事業への積極的参加を促進する。
- 3 アドミッション・ポリシー
本校の特色及び校訓、校是を理解して積極的に挑戦する次のような生徒を求める。
 - ・豊かな知性を求め、自ら進んで学ぼうとするー志を高く持ち、自分を磨く生徒
 - ・遠野を舞台に、対話を通じて徳性を養い共感できる美を求めようとするー地域に学び他者と協働して、自己の考えを広める生徒
 - ・「生きる力」を高め、自主的・自律的な生活を営むための経験を積もうとするー先生と一丸となって、精神力を磨き体力を鍛え文武両道を目指す生徒



岩手県立 遠野緑峰高等学校

所在地 〒028-0541 遠野市松崎町白岩 21-14-1
電話 0198-62-2827 FAX 0198-62-2828

校長 高橋 堅 生徒数 116名
副校長 小山 智弘 職員数 37名

●主な沿革

昭和 23 年 県立遠野第一高等学校土淵分校として開校
昭和 31 年 普通科から農業科に学科変更
昭和 32 年 現在地に新校舎落成移転
昭和 33 年 全日制課程農業科設置
昭和 39 年 県立遠野高校より分離独立、県立遠野農業
高等学校となる
昭和 55 年 新校舎落成並びに創立 30 周年記念式典
昭和 63 年 創立 40 周年記念式典挙行
平成 2 年 情報処理科新設（1 学級募集）
校名を岩手県立遠野緑峰高等学校と改称
平成 3 年 アメリカ・テネシー州チャタヌーガ C S A
S 校に生徒派遣（第 1 回）
平成 4 年 総合農業科・生活科学科各 1 学級を募集停
止し、生産技術科を新設（1 学級募集）情
報処理科 2 学級募集
平成 10 年 創立 50 周年記念式典挙行、第 49 回日本学
校農業クラブ連盟全国大会プロジェクト発
表 B の部 最優秀賞農林水産大臣賞受賞
平成 12 年 第 51 回日本学校農業クラブ連盟全国大会
プロジェクト発表 B の部 最優秀賞農林水産
大臣賞受賞
平成 13 年 岩手県教育表彰（実績顕著者学校教育）
情報処理科 1 学級募集
平成 14 年 第 12 回全国産業教育フェア意見・体験発表
大会 文部科学大臣奨励賞受賞
平成 20 年 創立 60 周年記念式講演会
第 59 回日本学校農業クラブ連盟全国大会
畜審査競技の部最優秀賞・農林水産大臣賞
受賞
平成 22 年 第 40 回岩手県高等学校生徒商業研究発表大
会第 1 位
平成 23 年 岩手県高等学校珠算・電卓競技大会新人
大会電卓団体の部優勝
平成 24 年 岩手県高等学校珠算・電卓競技大会電卓団
体の部優勝、新人大会電卓団体の部優勝
平成 26 年 草花研究班 内閣総理大臣賞、文部科学大
臣賞、環境大臣賞受賞
平成 28 年 岩手県教育表彰受賞
第 3 回高校生ビジネスプラン・グランプリ
全国大会 優秀賞受賞
第 67 回日本学校農業クラブ全国大会
プロジェクト発表分野「Ⅲ類」優秀賞受賞
平成 29 年 平成 29 年度文部科学大臣優秀教職員表彰受
賞
第 3 回全国ユース環境活動発表大会
環境大臣賞受賞
低炭素杯 2018 環境大臣グランプリ受賞
平成 30 年 創立 70 周年記念式典挙行
第 18 回環境甲子園最優秀賞受賞
第 8 回毎日地球未来賞次世代応援賞受賞
令和元年 第 70 回日本学校農業クラブ全国大会
プロジェクト発表部門「Ⅲ類」優秀賞受賞
漬物グランプリ 2019 グランプリ受賞
経済産業省情報処理技術者試験 IT パスポ
ート試験合格
令和 4 年 第 73 回日本学校農業クラブ全国大会プロ
ジェクト発表会「Ⅲ類」最優秀賞受賞
岩手県高校商業教育協会ビジネス高度資格
GoldAward 受賞

●地域の状況

市内を一望できる松崎町白岩の高台に位置し、遠野
郷八幡宮など歴史的建造物にも隣接した風光明媚な環
境の中、東京ドーム 5 個分を超える広大な校地で、小
鳥のさえずりや四季の移ろいを身近に感じながら、生
徒は学習、部活動や特別学習に励んでいる。

●教育目標

- 1 未来を切り拓く感性と創造性豊かな人間を育てる
- 2 農業・商業を中心に幅広い産業に対応した実践力
を育てる
- 3 郷土・地域社会に貢献する積極的な態度と実践力
を育てる

●今年度の重点目標

- 1 基本的な生活習慣の確立と規範意識を持って行動で
きる生徒の育成
- 2 いじめ対策委員会の取組みを中核としたいじめの
防止
- 3 わかる授業・魅力ある授業の実践と個に応じた指
導
- 4 主体的に学ぶ態度の育成と専門研究活動の充実

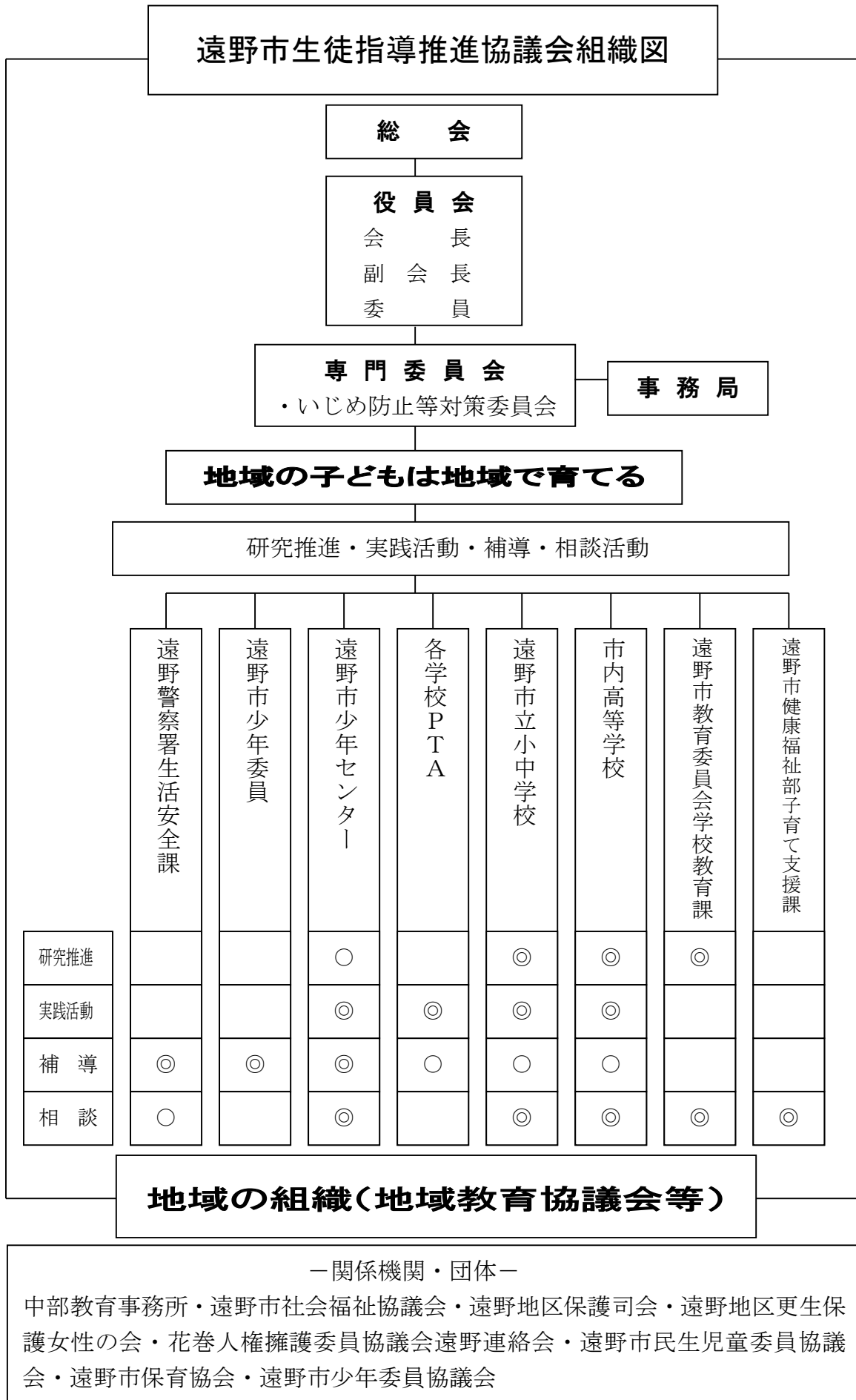
●学科の目標

- 1 生産技術科
教科「農業」と「家庭」の各分野の学習を通し
て、自ら課題を見つけ解決できる能力と実践力を
育てると共に、地域産業界に対応できる人材を育
成する。
- 2 情報処理科
教科「商業」の各分野の学習を通して、ビジネ
スについての知識と技術を習得させ、社会人とし
て適切に対応できる能力と態度を育てると共に、
地域産業界に貢献できる人材を育成する。

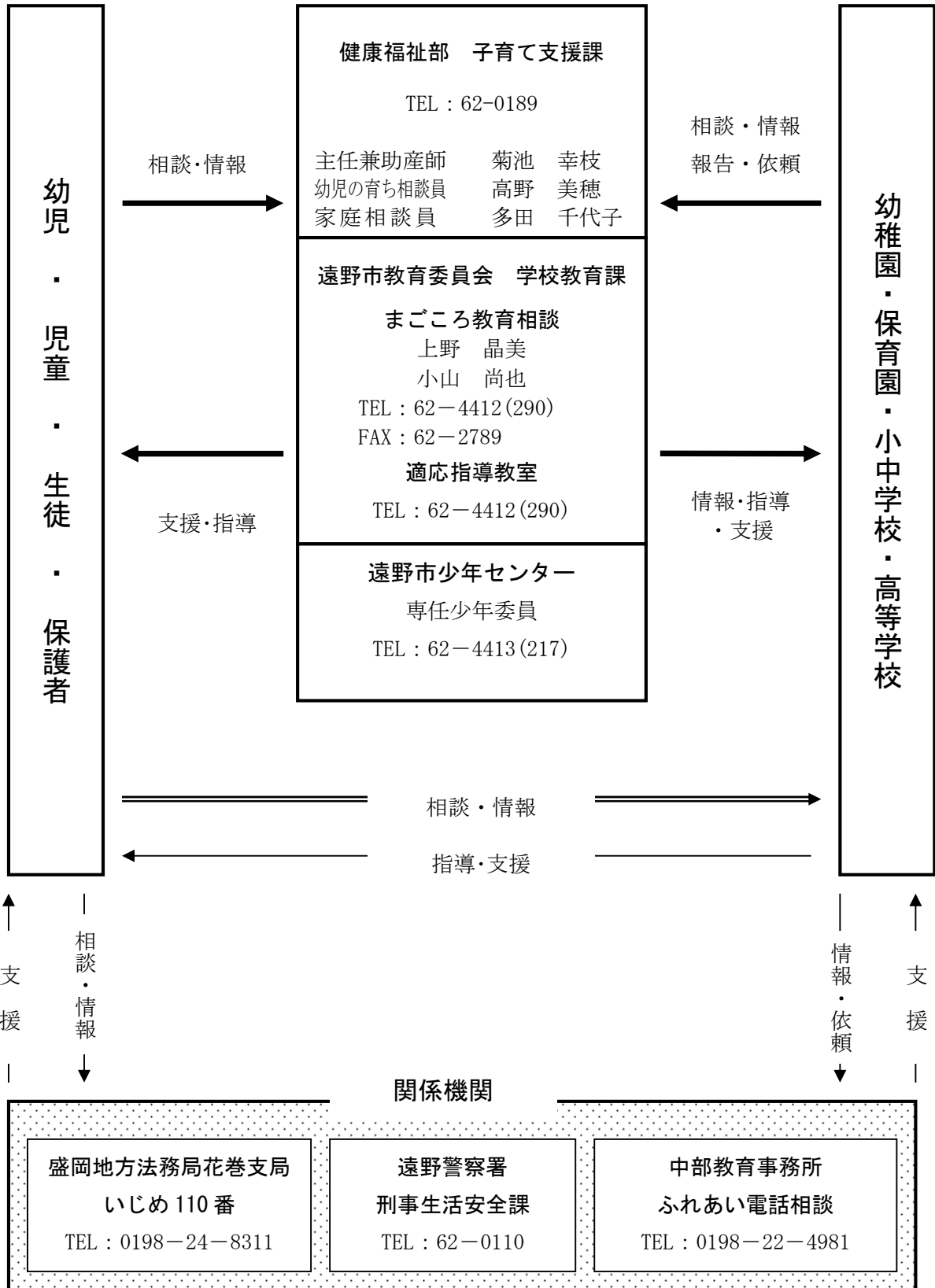
●特色ある教育活動

- ・農業クラブ、商業クラブの自主的活動
（プロジェクト発表会、農家研修、校内意見発表
会、チャレンジショップ、各種競技会等）
- ・総合的探究の時間
（「遠野ゼミナール」郷土をみつめる学習活動、田
植え稲刈り実習、農商連携授業等）

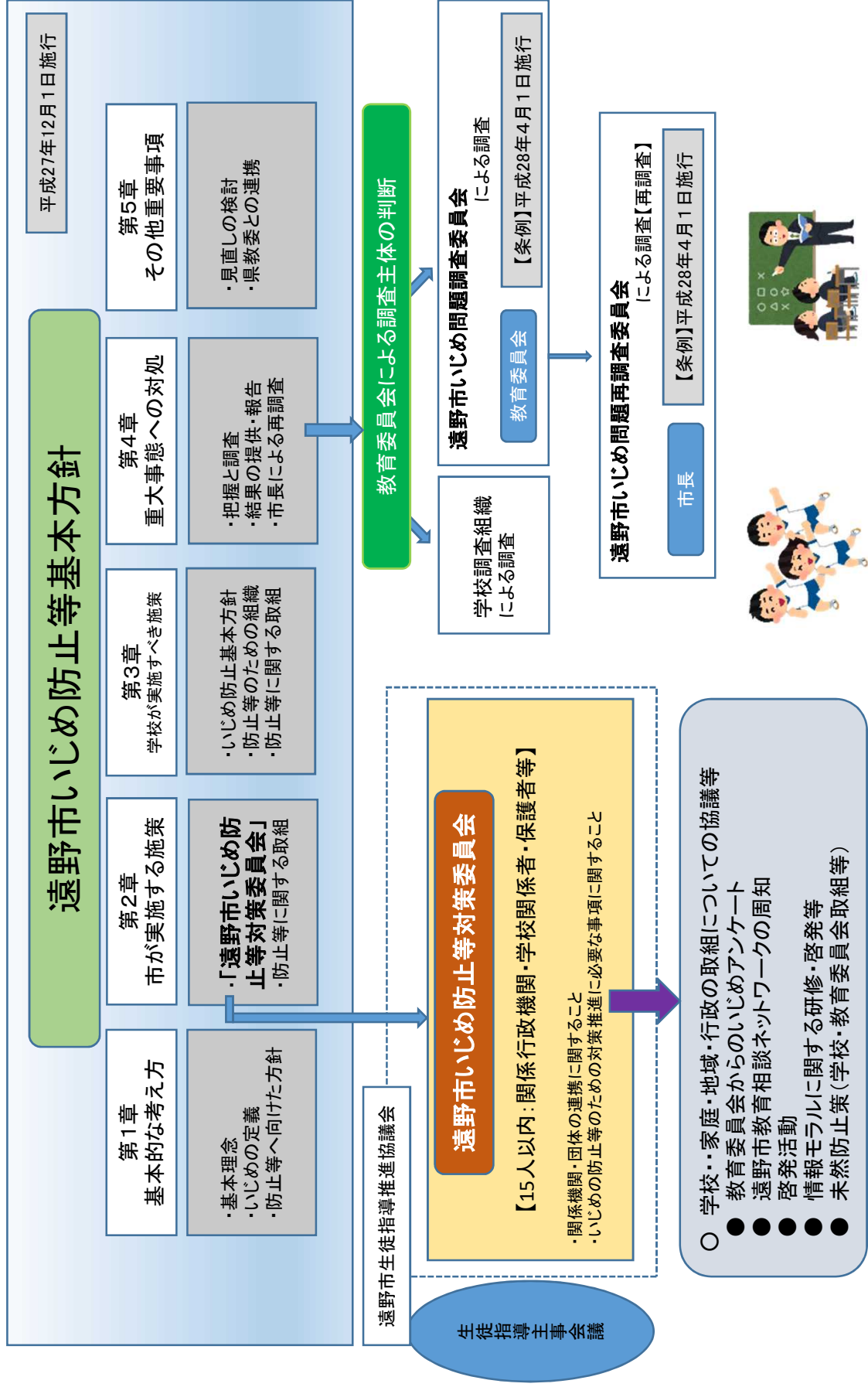
遠野市生徒指導推進協議会組織図



【 遠野市教育相談ネットワーク 】



③ いじめ問題への対応について



PTA 学校・家庭・地域・行政 みんなで取り組みいじめ防止対策

4 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）

学校運営協議会は、法に基づき教育委員会により任命・委嘱された委員が、学校の課題や運営の状況について正しく理解し、その解決や改善、一層の充実にに向けた方策を協議する合議制の機関のことであり、学校運営協議会を設置した学校のことを「コミュニティ・スクール」という。

(1) 導入までの経緯

学校運営協議会は、平成16年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」によって創設され、校長が作成する学校運営に関する基本方針の承認等を通じて、対象学校の運営について協議することをその役割とし、任意に設置できることとされていた。

岩手県教育委員会では、このことを受け、「いわて型コミュニティ・スクール」と称し、学校経営の客観的な評価ができるよう、可能な限り数値目標を設定した「まなびフェスト」を作成する取組を進めてきた。

本市においては、平成14年度から各町に地域教育協議会を設立し、小・中学校の地域教育を推進するとともに、開かれた学校づくりや外部評価の役割を担うなど、本市の教育に大きな役割を果たしてきた。

国においては、従来の学校運営に加え、学校に必要な支援に関する事項等を協議することにより、「開かれた学校づくり」から一歩進んだ「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校運営協議会制度の移行を促すことをねらい、平成29年に法改正を行い、任意設置から努力義務化したことから、本市では令和4年度から、全ての市立小・中学校において学校運営協議会制度を導入した。

(2) 目的と設置

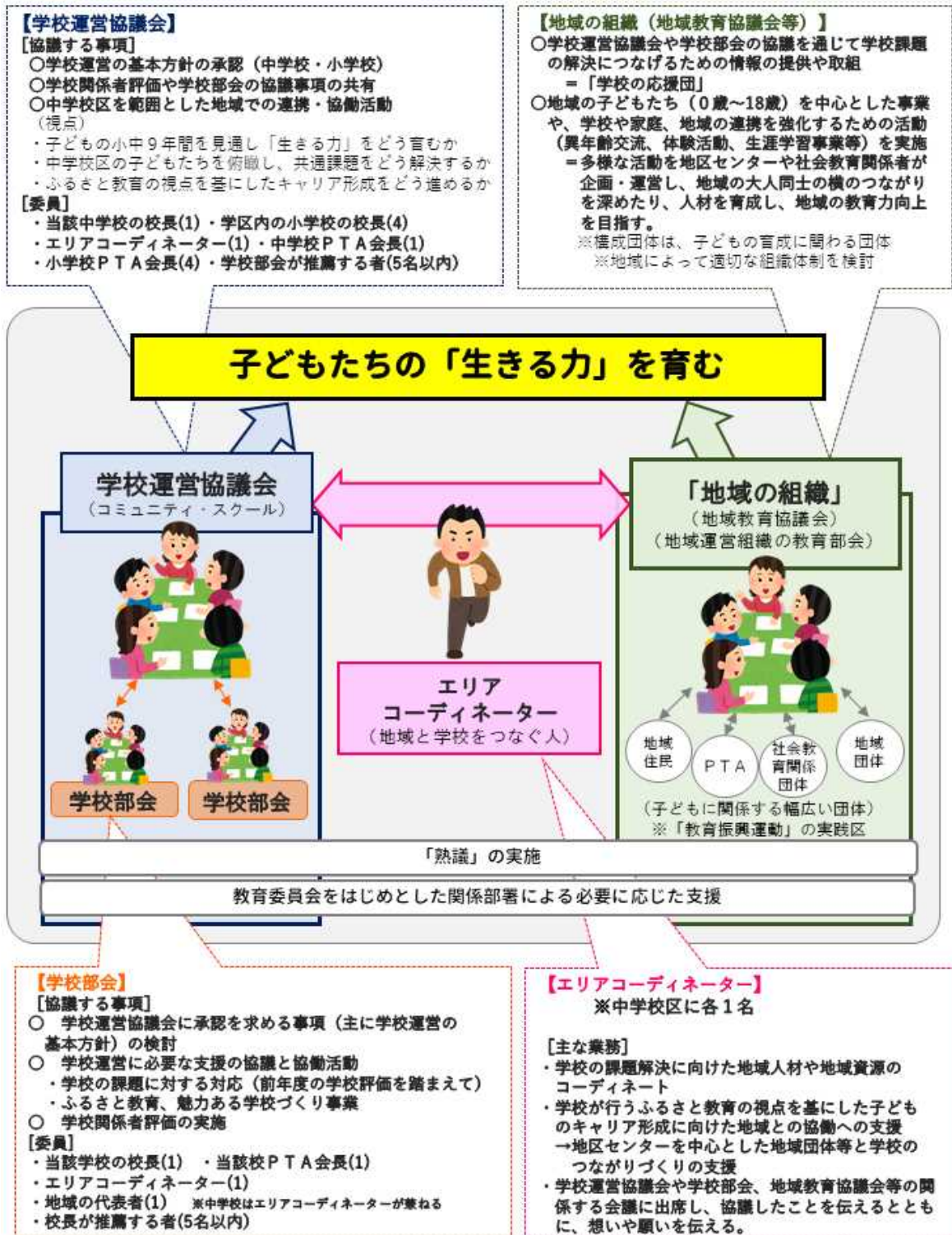
本市は、地域住民の学校運営への参画により、学校や地域を取り巻く諸課題の対応と「遠野のふるさと教育」を推進し、遠野の宝である子どもたちの「生きる力」を地域とともに育む学校づくりについて今までよりも一歩進んだ取組を進めるため、学校運営協議会を各中学校区で設置した。

これは、法において「小学校に在籍する児童のうち多数の者が進学する中学校において、これらの学校が相互に密接に連携し、その所在する地域の特色を生かした教育活動を行う場合は、二つ以上の学校について、一つの学校運営協議会を置くことができる」という規定があることから、これまで本市において取り組んできた中学校区での学力の向上に係る取組及び、「キャリア教育」の視点で作成した「キャリア・パスポート」に係る取組を踏まえ、義務教育9年間の取組を地域と共有し、学校経営に参画できる体制としたものである。

また、各学校独自の取組や子どもたちの地域理解、文化継承意識の醸成などについては、学校単位での協議により実行に移すことができるよう、学校運営協議会の中に学校部会を併せて設置した。



(3) 推進体制と役割



(4) 導入によって期待される主な効果

学校運営協議会制度の導入によって、児童・生徒においては、学びや体験活動の充実により、自己肯定感や他人を思いやる心が育ち「生きる力」が生まれ、学校では、教職員が地域を知ることにより、教育活動や働き方の改善が図られ、地域住民は、自らの知識や経験を子どもたちに伝えることにより、自己有用感を感じるとともに、地域課題の解決につながることを期待される。

令和5年度は、昨年度の成果を伸ばすとともに、「トライ&エラー」を繰り返しながら、課題解決に向けて多様な関係者同士のコミュニケーションを図り、PDCAサイクルのもと、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していく。

5 学校教育課の運営方針と計画

(1) 運営方針

Society5.0時代の到来やグローバル化の進展など、社会が大きく変化する中、児童生徒が安全で安心な学校生活を送りながら個の能力に応じた指導の充実により生きる力を身に付け、ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材を育成する教育の実現を目指す。

(2) 重点施策

○ 教育内容の充実

遠野市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」の目標達成に向け、次の5項目に重点を置き教育内容の充実を図る。

- ① 学校経営の質的向上 ② 確かな学力の育成 ③ 豊かな人間性の育成
④ 健やかな体の育成 ⑤ 特別支援教育の充実

(3) 施策の概要

施策の重点	施策の内容
学校経営の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた教育課程の実現を目指し、学校運営協議会及び学校部会による活動を推進し、地域と共にある学校経営の質的向上を図る。 ・地域人材及び地域資源を教育活動に積極的に取り入れ、地域の特色を生かした魅力ある学校づくりの実現に努める。 ・「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、教職員の働き方改革を実践し、必要な改革の推進を図る。
確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区単位の小中連携した学力向上の取組を継続し、全国標準学力検査等諸調査の分析を児童生徒一人ひとりに反映した学力向上に取り組む。 ・授業や家庭学習において、児童生徒の学びの個別最適化を図り、一人ひとりに応じた学力を身に付けさせる取組を推進する。 ・GIGAスクール運用に伴いICTを活用した児童生徒の個々の状況に応じた学習の推進と教職員の研究実践の充実を図る。 ・実用英語技能検定の活用と外国語指導助手の配置等により、外国語教育の充実を図る。
豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重する心の育成、「特別の教科 道徳」を要としたあらゆる教育活動を通じて豊かな心を育む教育を推進する。 ・「令和・南部藩寺子屋交流事業」「魅力ある学校づくり事業」での郷土の歴史や文化の理解「遠野市キャリア・パスポート」による「ふるさと教育」を柱としたキャリア形成と未来を創造していく人材の育成に取り組む。 ・生徒指導上の諸問題への対応として、教育相談体制と指導体制の強化と専門的知見を有する専門家等の人材の積極的活用と配置を図る。
健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診による疾病の早期発見や望ましい生活習慣を目指し、肥満の予防、う歯罹患率改善に向け、家庭や遠野市学校保健会と連携した児童生徒の健康づくりを推進する。 ・体力・運動能力向上を目的とした学校体育や部活動の意義を大切にしながら、部活動指導員を配置し子どもたちの健康を損なうことなく、心身の健全な発達に資する取組に努める。
特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育の理念に基づき合理的配慮が必要な子どもたちやその発達特性の把握に努めるとともに、児童生徒の一人ひとりのニーズに応じた教育を進められるよう指導や支援の充実に努める。 ・通常学級に在籍する個別の支援が必要な児童生徒への対応として、特別支援教育支援員の継続配置と研修の充実を図り、支援体制の充実を図る。 ・「聴こえの障がい」がある児童には、障がいに応じた支援システムを導入し、「言葉の障がい」には、ことばの教室の設置や巡回指導を継続する。

(4) 主な事業**(事業費は令和5年度当初予算額)**

事業名	事業の内容	事業費(千円)
学校教育事務費	部活動指導員の配置 中部地区教科用図書採択協議会負担金 岩手県ことばを育む親の会遠野支部事業費補助 遠野市特別支援教育研究会事業費補助	6,291
体育・文化行事奨励費	児童生徒作品展 児童生徒文集「遠野」発行 中総体サッカー競技開催地負担金 小学校・中学校体育及び文化団体への補助 中総体等選手派遣費補助	3,954
魅力ある学校づくり事業費	魅力ある学校づくり事業 / 実施学校数 14校 遠野わらすっこ「夢の教室」 / 実施学校数 6校	2,723
令和・南部藩寺子屋交流事業費	令和・南部藩寺子屋交流事業実行委員会負担金 八戸市への派遣児童数 26名	700
特別支援教育推進事業費	特別支援教育支援員の配置 13校 / 19名 学習指導講師 / 1名	24,663
学力向上対策事業費	標準学力検査及び知能検査の実施 / 1回 教育相談員の配置 / 4名 教育研究所全体研修会及び発表会の開催 / 2回 4研究部会による研究活動 ①学力向上研究員部会 ②社会科副読本部会 ③ICT教育部会 ④キャリア教育部会 授業実践交流会の開催 / 3校各1回 指導主事の学校支援	21,246
特定教科集中対策事業費	特定教科学習支援員の配置 / 数学学習支援員 4名 外国語指導助手派遣 / 14校 / 3名 / 延べ550回 英検受験対策学習会の開催 / 4回 英検I B Aテストの受験 / 対象：中学1・2年生 実用英語技能検定2～4級の受験 / 対象：中学3年生	22,536
地域教育サポート事業費	教育研究専門員の配置 / 1名	3,001
新型コロナウイルス感染症予防対策事業費	遠野市新型コロナウイルス感染症対策スクール・サポート・スタッフの配置 / 12名	34,136

6 学校総務課の運営方針と計画

(1) 運営方針

子どもたちが安心して学び、個性や能力を発揮することができる環境づくりを進めるとともに、時代の変化に適切に対応した教育環境の整備を推進し、明日の遠野を担う子どもたちが郷土に誇りを持ち、夢を育むことができる教育行政の実現をめざす。

(2) 重点施策

- 児童生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送ることができるよう、計画的に学校施設を整備するとともに、公共施設ロングライフ事業により、施設の維持補修を適切に実施する。
- 老朽化により使用できない児童生徒用の机と椅子が増えているため、計画的な更新を進め、安全な学習環境の整備を図る。
- スクールバスの運行について、児童生徒及び運行業者への安全指導を徹底する。
- G I G Aスクール構想により整備をした通信ネットワーク環境及び学習用コンピュータなど、I C T機器の効果的な運用方法について教職員へ支援を行う。

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
学校施設の整備	児童生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送ることができるよう、施設的环境整備、維持を適切に実施
学校設備の整備	木の温もりに触れ、快適な環境で学習に取り組むことができるよう、木製の机と椅子の整備を実施
通学対策の整備	スクールバス運行について、児童生徒及び運行業者への安全指導の徹底
教材の充実	教材備品、図書、理科教材の充実及びI C T機器の活用支援
教育費の支援	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の世帯への援助

(4) 主な事業

(事業費は令和5年度予算額)

事業名	事業の内容	事業費(千円)
学校管理	【小学校】 学校施設管理費等	113,813
	【中学校】 学校施設管理費等	46,641
(R4からの繰越) 学校管理	【小学校】 ○青笹小学校、上郷小学校、宮守小学校の樹木伐採業務委託 ○綾織小学校及び宮守小学校除雪機購入費	4,768
	【中学校】 ○遠野東中学校樹木伐採業務委託	1,402
木の温もりに触れる環境づくり事業	遠野北小学校の木製机・椅子の製作業務委託 ※ 令和5年度は令和4年度更新分の残りを更新	13,341
小学校校舎長寿命化改修事業	小友小学校校舎長寿命化改修 工事請負費、業務委託料、備品購入費ほか	264,125

通学対策費	【小学校】 ○附馬牛小学校スクールワゴンの更新 ○スクールバス等の運行・車両管理 ※ 中型バス 2台 マイクロバス 2台 ワゴン 3台 タクシー 1台 ○通学費助成…等	26,434
	【中学校】 ○スクールバス等の運行 ※ 中型バス 3台 マイクロ 7台 ワゴン 8台	56,036
(R4からの繰越) 通学対策費	【小学校】 車内置き去り防止安全装置設置業務委託	924
	【中学校】 車内置き去り防止安全装置設置業務委託	2,376
教材整備費	【小学校】 ○教材備品、児童用図書 ○G I G Aスクール端末等借上料 ○デジタルドリルソフト使用料 ○電子黒板賃借 ○指導用教材等 ○理科教育備品購入費（小友、附馬牛、土淵、青笹）	53,829
	【中学校】 ○教材備品、生徒用図書 ○G I G Aスクール端末等借上料 ○デジタルドリルソフト使用料 ○電子黒板賃借 ○指導用教材等 ○理科教育備品購入費（3校）	22,372
就学援助費	経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、学校給食費等の援助 令和4年度からオンライン学習通信費の支給要件を拡充して支給	小学校 21,665
		中学校 21,008
育英事業	経済的な事由により修学が困難と認められる優秀な学生に対し、奨学資金を貸与 ○継続分（35名） 16,800千円 大学生等35名、高校生0名 ○新規分（27名） 12,360千円 大学生等25名、高校生2名 ○その他事務費等	29,278

「学びのプラットフォーム特区」の廃止により、令和4年度まで総務企画部管財課が所管していた下記業務は、学校総務課が所管。

- ① 市立学校の管理に関すること（設置及び廃止に関するものを除く。）
- ② 市立学校の設備の整備に関すること
- ③ 教職員住宅の管理に関すること
- ④ 児童及び生徒の通学対策に関するもののうち、通学バスの車両管理に関すること

7 未来づくりサポート室の運営方針と計画

(1) 運営方針

「だれ一人取り残さず、一人ひとりが輝く教育」を目指し、遠野で育ち、遠野で学び、遠野で暮らしてよかったと思える教育を推進するとともに、学校と家庭と地域と行政の4者が連携協力し、「こどもまんなか社会」を目指す。

また、就学前から高等学校まで学びを止めない教育の推進として、学校の教育力、家庭の教育力、地域の教育力の3つの力をもって子どもの健全育成を目指す。

(2) 重点施策

学力向上とグローバル社会で活躍する人材の育成のため、未来づくりサポート大作戦に掲げる次の4項目に取り組む。

- ① 学力向上 ② 不登校対策 ③ 高校魅力化サポート ④ グローバル人材育成

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ボランティア等の活用による小学校の「放課後学習教室」の実施 ・中学校の学習支援に向けた事業の企画など授業以外の学習サポートの実施
不登校対策	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校への対応：東中学校区及び西中学校区にジョイントスクールの設置
高校魅力化サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・「高校魅力化アクションプラン」や令和4年8月に締結した市と市内2つの高校との3者による「人材育成に向けた連携協定」に基づき、市部局や関係機関、団体と連携しながら、両校の更なる魅力向上に取り組みを実施 ・生徒一人ひとりの進路選択と未来の可能性をさらに広げ、支援するための高校生を対象とした「学習支援センター」の開設に向けて、調査及び研究を実施
グローバル人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の協力を得て、国際理解や楽しく英語に接するイベントを実施 ・重層的な指導体制の下、英語によるコミュニケーション能力の育成

(4) 主な事業

(事業費は令和5年度予算額)

事業名	事業の内容	事業費(千円)
地域教育サポート事業	<p>○遠野市の将来を担う市内2校の高校生の自学学習環境を整備しサポートすることで、生徒一人ひとりの選択肢と未来の可能性をさらに広げ後押しするため高校生専用の公営塾設置の検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営塾開設調査・企画業務委託料 <p>○公立の小中学校の学力向上や学習習慣の定着を図るため、放課後の時間を活用し、学習ボランティア及び学習アドバイザーによる児童生徒への学習サポートを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習ボランティア報償費…等 	21,261
高校魅力化サポート事業	<p>市内の県立高校2校体制の維持に向けた高校魅力化に係る活動及び県外入学者募集に係る活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校魅力化推進事業費補助金…等 	9,653

8 学校給食センターの運営方針と計画

(1) 運営方針

成長期にある児童生徒に栄養バランスとれたおいしい給食を提供し、健全な心と体、生きる力を育む。また、地産地消を進めるとともに、郷土の食文化や地域の農産物への理解を深め、生産者や給食に関わる人たちに感謝の心を育む食育の推進を図る。

(2) 重点施策

- 安全安心な学校給食の提供
- 給食メニューの充実
- 食に関する指導の実施
- 地産地消と食育の推進
- 給食食材費(賄材料費)の一部を市が負担

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
安全安心な学校給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校給食衛生管理基準」に基づき、衛生管理の徹底を図る。 ・調理配送業務受託業者、食材納入業者、学校などの給食関係者と連携し、安全衛生管理の徹底と、安全安心な給食の提供に努める。 ・学校給食で使用している野菜の残留農薬検査を実施する。 ・学校給食摂取基準に基づいた給食の提供に努める。
給食メニューの充実と食に関する指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた遠野産の食材を使用した給食メニューや児童生徒の希望メニューの提供など、学校給食メニューの充実を図る。 ・旬の果物やデザートなど、子どもたちが楽しく、季節を感じる献立の提供に努める。 ・市における食物アレルギー対応マニュアルに基づき、主菜の食物アレルギー代替食の提供を行う。 ・栄養教諭が学校を訪問して、食に関する指導を実施する。 ・「給食だより」の充実を図るとともに、ホームページや遠野テレビを活用した情報発信に努める。 ・保護者や市民に給食試食会や施設見学を通して、学校給食への理解を深めてもらうよう努める。
地産地消と食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市産直連絡協議会等と連携し、地元の農畜産物や食材を積極的に使用するとともに、食材の安全・安定確保を図る。 ・学校給食を支える人たちとの共食を通じて食育の推進を図る「交流すまいる給食」を実施する。
学校給食費の収納対策	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の期限内納付の促進や滞納保護者に対して、訪問等により納付を促すとともに、長期滞納者には児童手当からの支払方法等の相談など、学校との連携のもと、滞納解消に努める。

(4) 主な事業

(事業費は令和5年度当初予算額)

事業名	事業の内容	事業費(千円)																											
学校給食事業費	<ul style="list-style-type: none"> 給食供給人員 <table border="1"> <tr> <td>小学生</td> <td>979人</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>581人</td> </tr> <tr> <td>教職員等</td> <td>265人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,825人</td> </tr> </table> 年間給食回数 <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td rowspan="2">168食 (米飯128回、パン40回)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> </tr> </table> 年間給食費 <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>児童</td> <td>42,840円 (255.00円/食)</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>49,220円 (293.02円/食)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>生徒</td> <td>50,150円 (298.52円/食)</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>58,880円 (350.52円/食)</td> </tr> </table> 年間賄材料費 <table border="1"> <tr> <td>小学校</td> <td>児童</td> <td>47,370円うち4,530円 (27円/食)を市が負担</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>生徒</td> <td>58,880円うち8,730円 (52円/食)を市が負担</td> </tr> </table> <p>※教職員については、給食費の額と同じ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主菜の食物アレルギー代替食の提供 希望メニューの実施 各学校年1回 地場産物の使用割合目標 66.0% 	小学生	979人	中学生	581人	教職員等	265人	合計	1,825人	小学校	168食 (米飯128回、パン40回)	中学校	小学校	児童	42,840円 (255.00円/食)	教職員	49,220円 (293.02円/食)	中学校	生徒	50,150円 (298.52円/食)	教職員	58,880円 (350.52円/食)	小学校	児童	47,370円うち4,530円 (27円/食)を市が負担	中学校	生徒	58,880円うち8,730円 (52円/食)を市が負担	214,814
	小学生	979人																											
	中学生	581人																											
	教職員等	265人																											
	合計	1,825人																											
	小学校	168食 (米飯128回、パン40回)																											
	中学校																												
	小学校	児童	42,840円 (255.00円/食)																										
		教職員	49,220円 (293.02円/食)																										
	中学校	生徒	50,150円 (298.52円/食)																										
教職員		58,880円 (350.52円/食)																											
小学校	児童	47,370円うち4,530円 (27円/食)を市が負担																											
中学校	生徒	58,880円うち8,730円 (52円/食)を市が負担																											
<ul style="list-style-type: none"> 交流すまいる給食の実施 (3回実施) 児童生徒が生産者及び給食にかかわる関係者と一緒に給食を食べ、対話を通じて郷土の食文化や農産物への理解を深める。 ※新型コロナウイルス感染症対策により中止の場合あり。 																													
新型コロナウイルス感染症経済対策事業費	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食物価高騰対策 市が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用等により、賄材料費の物価高騰分を負担し、給食の質の保持と保護者負担の軽減を図る。 	9,756																											

9 社会教育行政（市民センター生涯学習スポーツ課）の運営方針と計画

(1) 運営方針

第2次遠野市総合計画後期基本計画のもと、生涯学習や国際交流の推進、スポーツの振興と共生社会の実現に向け、市民一人ひとりが、「いつでも、どこでも、だれもが」自ら進んで学び、芸術文化に触れ、生涯スポーツに取り組むなど心豊かで健康的な生活を送るための支援に当たるとともに、郷土を愛し支えていく人材の育成を推進し、夢と誇りを育む学びのまちの実現を目指す。

(2) 重点施策

- 社会教育の充実
- 学校と地域の連携・協働
- 国際交流の推進
- 芸術文化活動の推進
- スポーツの推進と共生社会の実現

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実	・市民センターや地区センターを拠点として、社会教育・生涯学習講座を始めとする「学び・つながる場」において、地域の資源を活用しながら「集い、楽しみながら学ぶとともに、行動し、変えていく」プロセスを通じ、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に向けた取組を進めるとともに、家庭における教育力の向上を図るため、家庭教育の課題に即した学習機会に努める。
学校と地域の連携・協働	・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動の一体的な推進に向けた支援に当たり、地域の宝である子どもたちの「生きる力」を地域総掛かりで育む。
国際交流の推進	・グローバルに活躍できる人材の育成を図るため、関係機関や団体との連携のもと、姉妹都市交流を始めとした国際交流と、文化や語学等の学びを基盤とした交流のもとで未来を見据えた人材育成に努める。
芸術文化活動の推進	・芸術文化活動の推進を図るため、市民協働による芸術の振興や地域に根差した団体の支援のほか、幼少期を始めとした幅広い年代で芸術文化に親しむ場を創出し、潤いのある豊かな市民生活の実現に努める。
スポーツの推進と共生社会の実現	・市民がいつでも、誰でも、どこでも体力や年齢、目的に応じて気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツの推進とともに、ジュニアアスリートの育成に努める。また、パラスポーツを通してパラリンピアンとの交流等、障がい理解を深める場を提供し、「心のバリアフリー」の推進による共生社会の実現を図る。

(4) 主な事業

（事業費は令和5年度当初予算額）

事業名	事業の内容	事業費(千円)
学びのまちづくり推進事業	・市民センター（中央公民館）、地区センター（地区公民館）をはじめとした社会教育施設を会場とした社会教育及び生涯学習講座の開催の支援（資質向上に向けた研修等） ・社会の要請に対応する社会教育活動の検討（障がい者の生涯学習、社会教育のICT活用等）	51,700

事業名	事業の内容	事業費(千円)
学びのまちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・広報遠野や市ホームページ等を活用した生涯学習情報の提供と、市民との協働講座（マナビィクラブ）及び学びの出前講座の開催 ・社会教育関係団体の支援 ・家庭教育ゼミナールの開催 ・生涯学習、芸術文化振興業務の一部を民間（（一財）遠野市教育文化振興財団）へ委託 ・遠野・花巻連携「まナビキャンパスカード」事業 	
若者と女性の活躍推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次男女共同参画基本計画「と・お・の いきいき参画プラン」の推進 ・女性団体の支援と地域における女性リーダーの育成 ・「はたちのつどい」の開催と実行委員会の運営支援 ・若者の活躍推進と青少年団体の活動支援 	1,596
芸術文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の舞台「遠野物語ファンタジー」の事業費補助 ・芸術文化協会の事業費補助 	2,100
高齢者元気アップ活動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・老人スポーツ大会支援 ・市老人クラブ連合会活動支援 	2,565
青少年健全育成活動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・少年委員を中心とした、青少年の健全育成・環境浄化活動の実施 ・再犯や非行の防止に向けた活動の支援 	3,351
学校と地域の連携・協働推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会及び学校部会の開催 ・エリアコーディネート業務の実施 ・地域学校協働活動の支援 ・学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進に資する研修の実施 	5,651
国際交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市等交流事業実行委員会の活動支援（中高生海外派遣交流事業への支援等） ・外国人生活文化教育支援事業 	6,940
生涯スポーツ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の活動支援 ・学校施設開放事業（スポーツ団体等の活動場所） ・エクササイズ教室の開催 ・キッズ元気アップ応援隊事業（就学前児童を対象とした運動教室） ・各町体協による健康づくり、町民交流を目的としたイベント開催への支援（予算は市体協補助金に計上） 	7,313
アスリートスポーツ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会、スポーツイベント等への開催支援 ・スポーツ振興に係る補助金の交付（市スポーツ少年団、市体育協会、ジュニアスポーツレベルアップ事業、次世代スポーツ選手全国大会等出場補助、スポーツ等合宿支援事業） ・児童運動能力アップトレーニング事業（小学校の体育の授業への外部講師派遣） 	12,568
広域連携推進事業（花巻市との連携事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒パラスポーツ体験交流 	1,134
先導的共生社会ホストタウン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツを通じた障がい理解教室の実施 ・遠野市共生社会実践事業者研修会 	1,064
公共施設ロングライフ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習スポーツ施設の集合修繕 	500

10 文化行政（市民センター文化課 / こども本の森運営企画室）の運営方針と計画

(1) 運営方針

地域や関係団体と連携して文化資源の収集と掘り起し、調査研究に取り組むとともに、郷土の誇り得る文化の伝承・発展に努め、文化を生かしたまちづくりを推進する。また、遠野の歴史を後世に残し伝えるため、重要文化財旧千葉家住宅の整備や未来の指針となる新たな『遠野市史』の編さんを推進するとともに、積極的な市民参加を図りながら、郷土の誇りと一体感を醸成し、郷土を担う人材を育てる。

(2) 重点施策

- 図書館の利用促進を図るため、積極的な情報発信及び利便性の向上に努め、読書ボランティア団体・個人と連携し、活発な読書普及活動を推進する。また、第4次遠野市子どもの読書推進計画に基づき、読書環境の向上に努め、生涯学習の振興を図る。
- 魅力的な特別展・企画展を開催し、『遠野物語』と遠野の文化の発信に努める。
- 国指定重要文化財「旧千葉家住宅」の保存修理工事を推進する。
- 郷土芸能振興事業として郷土芸能の保存伝承を図るため、情報発信、公演等を実施する団体への支援を行う。
- 市史「資料編」「通史編」「民俗編」の編さんに向け、資料の収集、整理、研究、活用を市民と協働で進める。
- 「こども本の森遠野」からグローバルな人材が育まれるよう関係機関・団体と連携した取組を進める。

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
図書館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙、ホームページ、遠野テレビ等による積極的な情報発信により読書普及活動及び図書館利用の促進とともに、システム活用による業務の効率化を図る。図書館教室等の内容を充実し、市民に図書館業務への理解を深めてもらう。 ・ 学校図書室・読書ボランティア・児童館・福祉施設と連携し、施設貸出の充実、移動図書館車の効率的運行に努める。 ・ 関係機関と連携し、充実した企画展示等を開催する。 ・ 読書ボランティア団体等との連携及び情報共有を図り、活発な読書活動を支援し、読書ボランティアの育成を推進する。 ・ 子どもの視聴覚教育を推進するため、映画会等を開催する。 ・ 早期に乳児家族に対する図書配布を行い、家庭で本に触れる機会を提供し、乳児家族に対しての読書推進の周知・啓発を図る。
博物館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別展「遠野物語と呪術」、企画展「異界と境の神」を開催し、『遠野物語』と遠野の歴史・文化について、市内外に向けた情報発信に努める。冬季には遠野町家のひな祭りの開催に合わせ特別展「遠野のひな人形」を開催、遠野商工会と連携を図りながら中心市街地のにぎわい創出を図る。 ・ 学校教育に対応した「博物館教室」を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。 ・ 市民向けに講座を開催し、文化に親しむ機会を提供する。 ・ 資料収集、整理、保存に努め、博物館の充実を図る。

文化財保護調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・指定に向けた文化財の調査を実施し、適切な保護に努めるとともに、説明板の設置など文化財の周知に努める。 ・国指定重要文化財「旧千葉家住宅」の保護のため、保存修理工事を推進し、大工小屋、稲荷社の茅葺屋根工事などを行う。修理工事見学会を開催し進捗状況を公開する。古文書調査報告書を刊行する。 ・遠野遺産認定制度を推進する。 ・国の重要文化的景観「遠野 荒川高原牧場 土淵山口集落」の保存・活用を図る。 ・郷土芸能の保存伝承を図るため、映像等の記録・保存を継続し、備品整備、公演等に対する伝承活動の支援を行う。 ・埋蔵文化財の発掘調査等に対応する。収蔵資料の円滑な活用を目的として、出土遺物のデータベース化を推進する。企画展、体験教室を開催する。
遠野文化調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と協働して人づくりを推進するため、文化情報発信により地域文化の活性化を図る。 ・子ども語り部の認定と「語り部スポット」のこだわりの語り部によるもてなしで、中心市街地の賑わいを創出する。
「遠野市史」編さん事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん委員会、各専門部会の会議を開催しながら、「資料編」「通史編」「民俗編」の編さん作業を進める。 ・編さんに関する資料調査や収集、整理を進め、資料を適切に保管する。市史編さん講座等を開催し、人材育成を図る。
こども本の森遠野運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・安藤忠雄氏の想いを受け、本市はもとより県内外の子どもたちに本を通じて新しい世界へ興味をもつ「きっかけ」を提供し、「こども本の森遠野」からグローバルな人材が育まれるよう関係機関・団体と連携した取組を進めるため、令和5年度から人材育成に関し専門的なノウハウをもつ団体へ一括して運営を委託する。 また、全国から訪れる方々に遠野の魅力を伝えるため、市内回遊へ誘導する役割の一端を担うよう関係機関・団体と連携した取組を進める。

(4) 主な事業

(事業費は令和5年度当初予算額)

事業名	事業の内容	事業費(千円)
図書館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・館内奉仕活動、読書活動拠点としてのサービスの充実(図書資料・新聞・雑誌のニーズに沿った整備、新聞の電子縮刷版の閲覧サービス、定期的な企画展開催、多読者表彰、図書館教室、研修会等の実施)。 ・館外奉仕活動及び施設貸出図書の利用促進のための配架図書の充実(移動図書館車の効率的な運行、施設等への充実した図書資料の定期配架)。 ・企画展示等イベントの充実(他図書館・団体と連携したイベント、企画展の開催) ・学校、地域における読書ボランティア団体・個人への活動支援と育成の推進。 	34,239
視聴覚教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、児童館等での定期的な映画会等の開催、学校等への学習教材の貸出しによる映像情報の提供。 ・教材の整備と機材の利用普及。 	255
ブックスタート事業	<ul style="list-style-type: none"> ・3～5ヶ月児の親子を対象としたブックスタート事業の実施 	275

博物館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展・企画展の開催 特別公開「遠野領内図」「遠野町割図」3/25～5/14 特別展「遠野物語と呪術」7/21～9/24 企画展「異界と境の神」11/1～11/23 特別展「遠野のひな人形」2024年2/9～3/3 ・教育普及活動の実施 通年で市内小中高校生向けの「博物館教室」開催 企画展に合わせたギャラリートークを毎月1回開催 地区センター等を会場とした移動展と解説会を開催 ・寄託資料の管理、歴史・民俗学関係資料の収集、分類、整理、保管。 	11,442
文化財調査保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財調査・保護、未指定文化財調査、保護啓蒙活動。 	1,209
遠野遺産認定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野遺産認定事業の推進（募集、調査、委員会開催、認定、表示板設置、ガイドブック作成）。 	1,518
埋蔵文化財発掘調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の保護、開発に伴う埋蔵文化財包蔵地の分布調査、試掘調査の実施、発掘調査報告書の刊行。 ・調査記録、出土遺物の適正管理及び仕様台帳の整備。 ・埋蔵文化財に関する企画展、体験教室等開催。 	17,280
文化的景観保存事業	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川高原牧場、土淵山口集落の保存活用事業。 ・「遠野の景観」保存調査委員会開催。 	901
重要文化財千葉家住宅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定重要文化財「旧千葉家住宅」の保護のため、保存修理工事を推進し、大工小屋、稲荷社の茅葺屋根工事などを行う。修理工事見学会を開催し進捗状況を公開。 ・古文書調査報告書を刊行。 	226,747
重要史跡保存活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに国史跡に指定された鍋倉城跡の保存活用計画を策定するための現況図作成。 	2,497
郷土芸能振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能保存継承のための備品整備及び共演会開催への助成。 	2,635
遠野文化調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市教育文化振興財団への文化発信事業業務委託。 ・こども語り部認定、2カ所の語り部スポット運営支援。 	8,258
「遠野市史」編さん事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん委員会の開催、各専門部会（原始・古代・中世、近世、近現代、民俗）運営。 ・資料の調査、収集、整理及び市史編さん講座等開催。 	21,533
こども本の森遠野運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の教育関係機関、震災関連施設、観光関係機関等との連携 ・「こども本の森中之島」及び「こども本の森神戸」との連携 ・主催イベントの開催：月1回、連携イベントの開催：年12回 ・市内回遊への誘導 	21,984

11 少子化対策・子ども・子育て支援（健康福祉部子育て支援課）の運営方針と計画

(1) 運営方針

第2次遠野市総合計画後期基本計画の将来像の実現に向けて計画している施策を展開するとともに、「第2次遠野わらすっこプラン」の成果と課題を的確に捉え、各施策において「出産から子育てまで切目のない施策」を着実に実行するとともに、急速に変化する社会情勢や世界規模の感染症拡大など、新たな脅威に対応した施策に取り組む。

また、国において、令和5年4月1日から「こども基本法」が施行されるとともに、「こども家庭庁」が設置され、こども施策を総合的に推進する仕組みがはじまることから、国や岩手県の取組みと連携して、こどもが自立した個人として等しく健やかに成長できる社会の実現に向けた取組みの推進を図る。

(2) 重点施策

- 少子化対策・子ども・子育て支援総合計画の推進
- 子育て支援の充実
- 保育環境の充実
- 児童の健全育成
- ひとり親家庭等への支援の充実

(3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
少子化対策・子ども・子育て支援総合計画の推進	わらすっこプランに基づき、市内の子どもや保護者だけでなく、子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業所）も対象とした子育て支援施策事業の推進 令和7年度からの「第3次遠野わらすっこプラン」策定に向けて、子育て世代のニーズ調査の実施
子育て支援の充実	子育てをしているすべての人が安心してゆとりのある子育てができるよう、地域における多様な子育て支援を推進
保育環境の充実	保護者の就労や出産等のため児童を保育できないと認められる保護者等に代わって、保育所において児童の保育を実施 私立保育所、認定こども園、幼稚園機能の円滑な運営のため、運営費の助成による保育及び幼児教育の充実 老朽化した保育所等施設の計画的な整備による保育環境の充実
児童の健全育成	白岩児童センターを整備(用地造成及び新築工事)し、子どもたちが健全に育つことができる環境づくりを推進 遠野市子ども家庭総合支援拠点を運営し、市要保護児童対策地域協議会を組織する福祉、保健、医療、教育等の関係機関との連携のもと、子どもやその保護者に寄り添った継続的な支援による児童虐待の発生防止と早期対応
ひとり親家庭等への支援の充実	ひとり親家庭の現況やニーズの把握を踏まえて、関係機関との連携による総合的な支援の推進

(4) 主な事業

(事業費は令和5年度当初予算額)

事業名	事業の内容	事業費(千円)
未来へつなぐこども家庭支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援員(助産師、家庭相談員、女性相談員)の配置 ・要支援児童、要保護児童及びその保護者への支援 ・小児総合アドバイザーの活用 ・要保護児童対策地域協議会の運営(代表者会議1回、実務者会議4回、ケース検討会議随時) ・離婚・DV等に関する女性相談 ・子育て短期支援事業(児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院等へのショートステイ) ・子育て家庭ヘルパー派遣 	10,330
看護保育安心サポート事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・病児等保育施設「わらっぺホーム」運営業務委託 ・病児等保育施設「わらっぺホーム」運営巡回指導業務委託 	14,957
わらすっこの療育支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・療育教室、幼児ことばの教室の運営 ・医療的ケア児等コーディネーターの配置 ・臨床心理士による出張心理相談・施設支援等 ・難聴児補聴器購入費助成 ・障害児通所給付費等支給(放課後等デイサービス、障害児相談支援) ・のびのび子育て応援事業(日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生または特別支援学校小学部児童の自己負担分助成) ・花巻清風支援学校本校へのスクールバス運行 	48,803
わらすっこの居場所事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館指定管理委託 7カ所(遠野、綾織、白岩、上郷、青笹、宮守、附馬牛) ・児童クラブ運営業務委託 4カ所(土淵、小友、鱒沢、達曽部) 	125,117
児童扶養手当給付費	<ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当法に基づく児童扶養手当の給付 	91,293
保育所等運営事業費(保育所運営委託)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所運営委託(市内13カ所及び広域利用) ・認定こども園運営費負担(市内1カ所及び広域利用) ・子育てのための施設等利用給付 ・教育・保育施設副食費助成 	1,027,988
保育所等運営事業費(保育所設置者運営)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別保育事業業務委託(障害児保育事業、保育所地域活動事業、地域子育て支援拠点事業、延長保育事業、一時預かり事業) ・遠野市保育協会運営事業費補助 ・子育て環境育成事業費補助(企業内託児施設運営費助成) 	95,245
みんなで応援子育てのまち推進事業費(わらすっこプラン推進事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市わらすっこ条例普及啓発事業 ・遠野市わらすっこ支援委員会運営事業 ・遠野市わらすっこ基金事業 ・遠野市いきいき岩手結婚サポートセンター入会登録料補助 	4,680
みんなで応援子育てのまち推進事業費(わらすっこ基金助成)	<ul style="list-style-type: none"> ・わらすっこ基金助成事業補助 ・施設使用料サポート事業費補助 	3,300

事業名	事業の内容	事業費(千円)
みんなで応援子育てのまち推進事業費 (わらすっこ応援券交付事業)	・木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券の贈呈 (130人分)	1,843
ファミリー・サポート・センター推進事業費	・会員制による育児依頼・援助活動 ・会員向け研修会の実施	3,887
新型コロナウイルス感染症予防対策事業費	・子育て施設ヘルパー派遣(保育所、幼稚園、認定こども園、児童館、児童クラブ、放課後等デイサービス事業所)	2,228
保育施設等感染症対策事業費	・市内保育所等に対する消毒等衛生用品の配布	3,120
ひとり親家庭総合支援事業費	・母子生活支援施設入所業務委託 ・高等職業訓練促進給付金 ・高等職業訓練修了支援給付金 ・自立支援教育訓練給付金	1,256
白岩児童センター整備事業費	・白岩児童センター用地造成工事 ・白岩児童センター新築工事	291,247
幼稚園応援事業費	・私立幼稚園運営費負担(市内1カ所) ・子育てのための施設等利用給付 ・教育・保育施設副食費助成	41,182